

平成24年度

市民まちづくりアンケート

【集計結果】

まちづくりにあなたのご意見を

平成24年7月

帯広市

(政策推進部企画課)

目 次

アンケートの概要	1
アンケート回答者の属性	2
あなたの性別は？ あなたの年齢は？	2
あなたの職業は？ あなたの居住年数は？	3
お住まいの地区	4
住みごころ	5
帯広市の住みごころは？	5
定住意識	7
これからも帯広市に住み続けたい？	7
住み続けたい理由は？	9
移りたい地域は？	10
移りたい理由は？	11
まちづくりに対する市民実感	13
市民実感度順位	15
市民実感度	17
防災の取り組み	67
自由記述意見（まちづくりに対する意見・提案）	71
参考資料 市民まちづくりアンケート票	72
市民まちづくりアンケート A票	73
市民まちづくりアンケート B票	87

1

アンケートの概要

目的

このアンケートは、帯広市の住みごちやまちづくりについて、市民の皆様が「どのような実感をお持ちなのか」などを調査するために実施しています。
アンケート結果は、第六期総合計画を効果的・効率的にすすめるための政策・施策評価や市の仕事を効率的に行うための重要な情報として活用します。

内容

このアンケートは、大きく次の3区分について実施しました。

- (1) 帯広市の住みごち・定住意識について・・・(問 1～9)
- (2) 市民実感について・・・(問10～34)
- (3) 防災の取り組みについて・・・(問35～40)

アンケートは、市民実感の設問(問10～34)のみ2つに区分し、調査票をA票とB票の2つに分けて、実施しています。

- 対象地域 帯広市内
- 対象者 満20歳以上の帯広市民
- 標本数 3,000人(1,500人×2)
- 標本抽出方法 無作為抽出
- 調査方法 郵便による発送・回収
- 調査時期 平成24年5月1日(火)～5月28日(月)
(6月18日(月)受付分まで集計)

回収結果 【平成24年度 市民まちづくりアンケート】

	発送数	有効発送数	回収数	回収率(%)
H24年度	3,000	3,000	1,375	45.8
(A票)	(1,500)	(1,500)	(676)	(45.1)
(B票)	(1,500)	(1,500)	(699)	(46.6)

【経年比較 市民意向調査】

	発送数	有効発送数	回収数	回収率(%)
H23年度	3,000	3,000	1,374	45.8
H22年度	3,000	3,000	1,349	45.0
H21年度	3,000	3,000	1,194	39.8
H20年度	3,000	2,996	1,126	37.6
H19年度	3,000	2,957	1,144	38.7

アンケートの精度

本調査の回収数は、1,375件(A票676、B票699)で、信頼度95%・標本誤差を5%とした場合の統計学上の必要サンプル数383件を上回り、本調査から得られた分析結果は、帯広市全体としての意見を推定するために、十分な精度を得ています。

【必要サンプル数の算出式】

$$n = N \div [(e \div 1.96)^2 \times (N - 1) \times 4] + 1$$

N = 母集団の数(調査対象者数)(=138,883人:平成24年3月31日現在の20歳以上人口)

e = 標本誤差(=0.05)

n = 必要サンプル数

(1.96は上記の信頼係数と標本誤差を設定した場合に用いる統計上の定数)

計算の結果、n=383.103...となり、必要サンプル数は383となります。

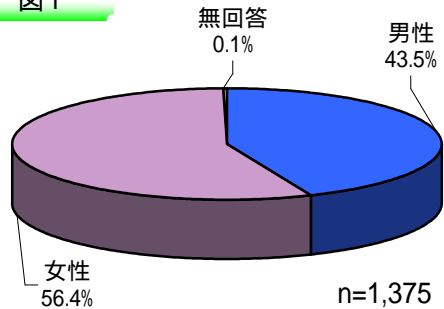
2

アンケート回答者の属性

〔 小数点以下第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100.0%にならない場合があります。 〕
 回答数を(n =)で表示しています。

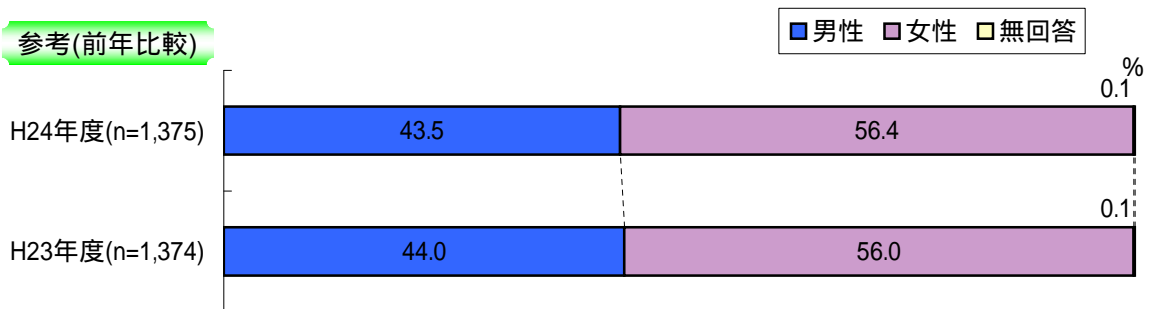
問1 あなたの性別は？

図1



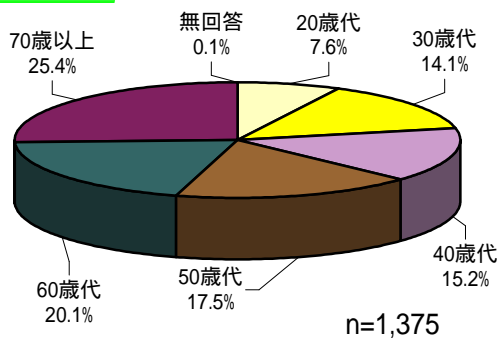
性別では、
 [男性] 43.5% (598人)、
 [女性] 56.4% (775人)、
 [無回答] 0.1% (2人)となり、
 回答者の約6割が[女性]となっています。
 (図1)

参考(前年比較)



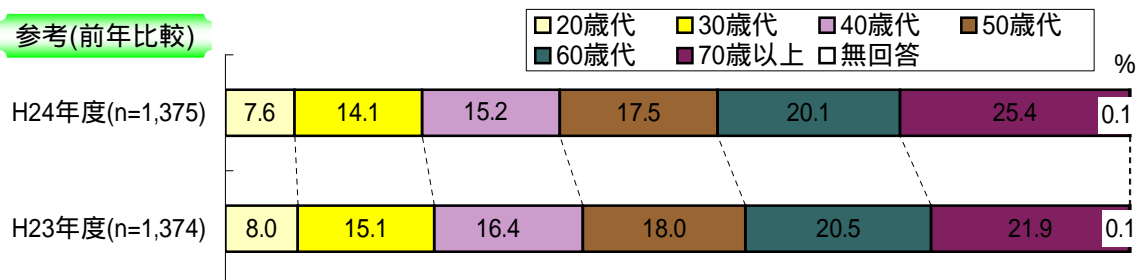
問2 あなたの年齢は？

図2



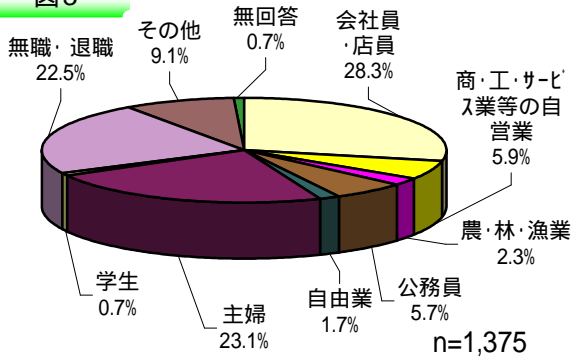
年齢別では、
 [20歳代] 7.6% (105人)、
 [30歳代] 14.1% (194人)、
 [40歳代] 15.2% (209人)、
 [50歳代] 17.5% (240人)、
 [60歳代] 20.1% (277人)、
 [70歳以上] 25.4% (349人)、
 [その他] 0.1% (1人)となり、
 総じて年代が上がるにつれて割合が
 高くなっています。(図2)

参考(前年比較)



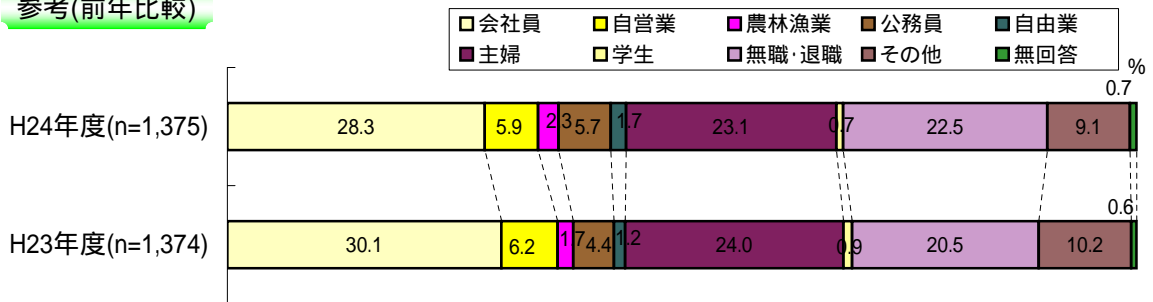
問3 あなたの職業は？

図3



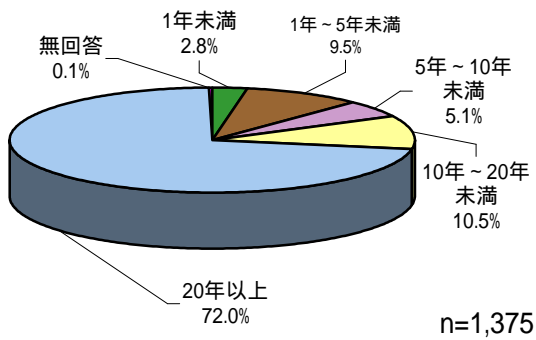
職業別では、
 [会社員・店員] 28.3% (389人)、
 [商・工・サービス業等の自営業] 5.9% (81人)、
 [農・林・漁業] 2.3% (31人)、
 [公務員] 5.7% (79人)、
 [自由業] 1.7% (23人)、
 [主婦] 23.1% (318人)、
 [学生] 0.7% (10人)、
 [無職・退職] 22.5% (309人)、
 [その他] 9.1% (125人)、
 [無回答] 0.7% (10人)となり、
 [会社員・店員]、[主婦]、[無職・退職]の
 順で多くなっています。(図3)

参考(前年比較)



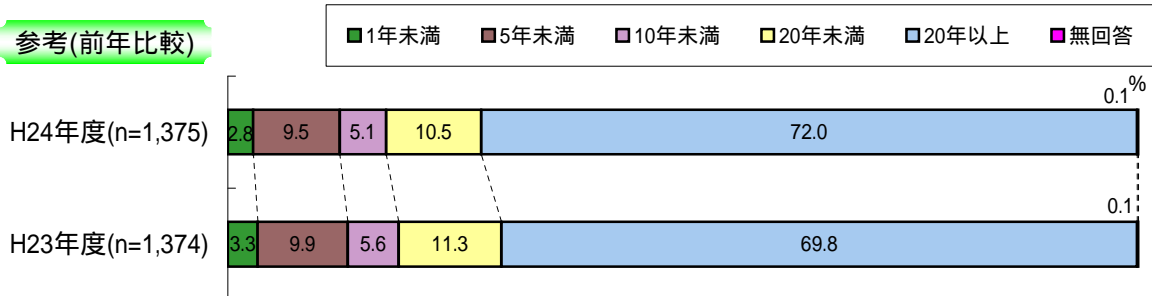
問4 あなたの居住年数は？

図4



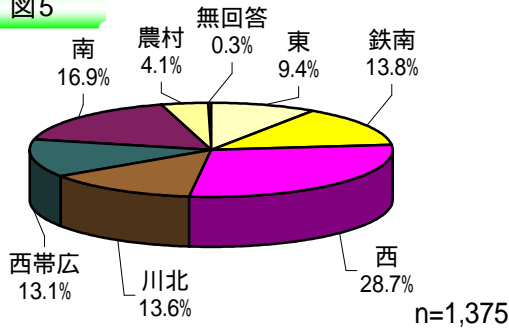
居住年数別では、
 [1年未満] 2.8% (38人)、
 [1年～5年未満] 9.5% (131人)、
 [5年～10年未満] 5.1% (70人)、
 [10年～20年未満] 10.5% (144人)、
 [20年以上] 72.0% (990人)、
 [無回答] 0.1% (2人)となり、
 [20年以上]が、全体の約7割を
 占めています。(図4)

参考(前年比較)



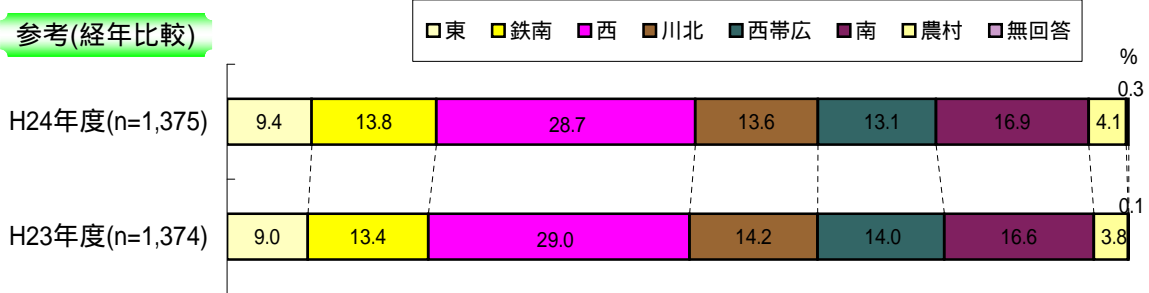
お住まいの地区

図5

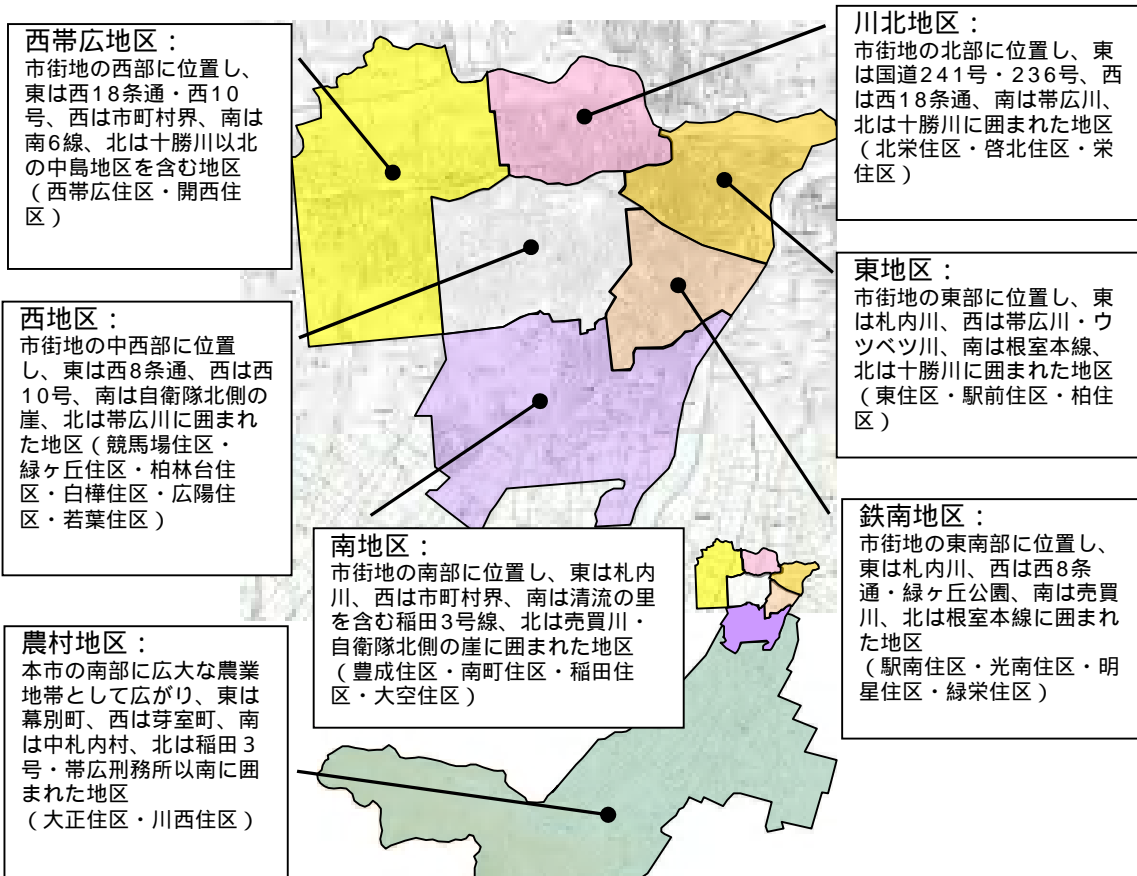


地区別では、
 [東] 9.4% (129人)、
 [鉄南] 13.8% (190人)、
 [西] 28.7% (395人)、
 [川北] 13.6% (187人)、
 [西帯広] 13.1% (180人)、
 [南] 16.9% (233人)、
 [農村] 4.1% (57人)、
 [無回答] 0.3% (4人)となっています。
 (図5)

参考(経年比較)

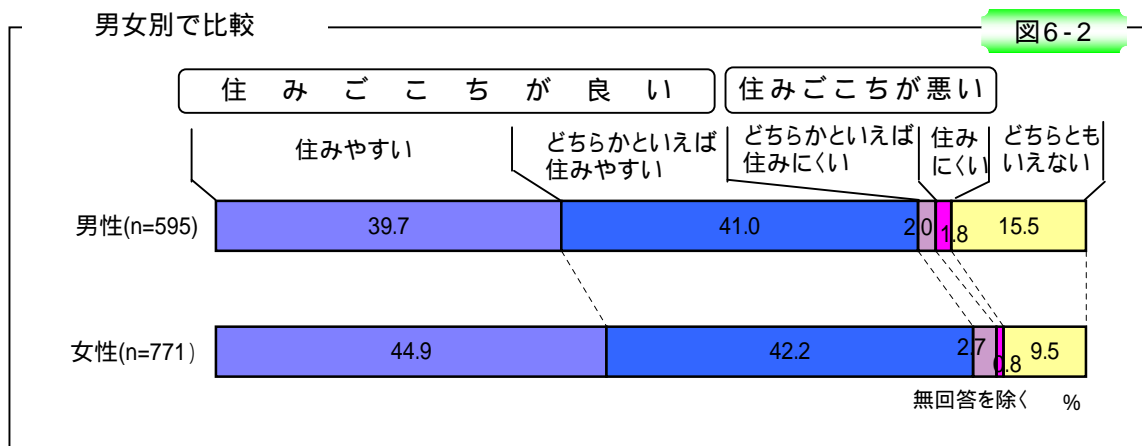
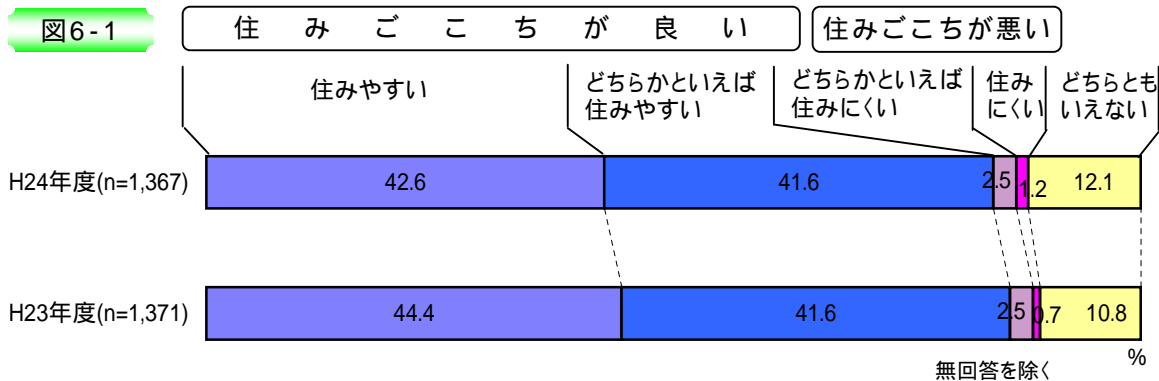


帯広市では下図のとおり7つの地区を設定しています。



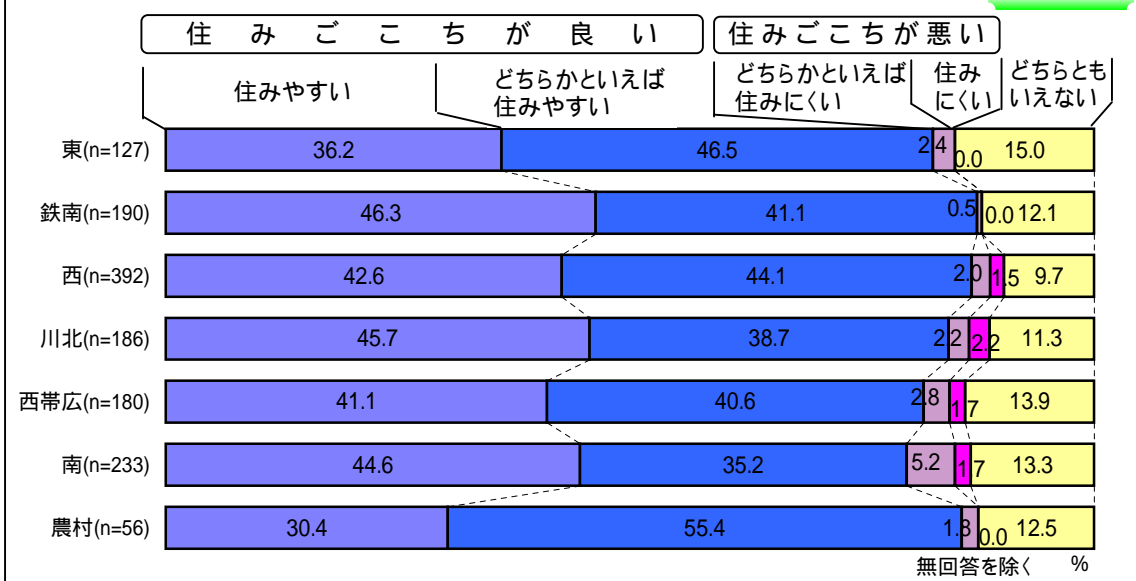
問5 帯広市の住みごこちは？

- 「住みやすい」とした割合は、昨年度と比較すると1.8%減少し、「どちらかといえば住みやすい」は同じ割合となり、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた、「住みごこちが良い」とした割合は、昨年度とほぼ変わらず84.2%（1,151人）となっています。
また、「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」を合わせた、「住みごこちが悪い」とした割合も、昨年度とほぼ変わらず3.7%（51人）となっています。（図6-1）
- 男女別で「住みごこちが良い」とした割合は、[男性]80.7%、[女性]87.1%となり、[女性]の方の割合が高くなっています。（図6-2）
- 地区別で「住みごこちが良い」とした割合は、[鉄南地区]87.4%、[西地区]86.7%、[農村地区]85.8%と、その他の地区と比べてやや高くなっています。（図6-3）
- 年代別で「住みごこちが良い」とした割合は、[70歳以上]87.6%、[50歳代]87.1%と、その他の年代と比べてやや高くなっています。（図6-4）
- 居住年数別で「住みごこちが良い」とした割合は、[20年以上]86.2%、[5年未満]82.3%と、その他の居住年数と比べてやや高くなっています。（図6-5）



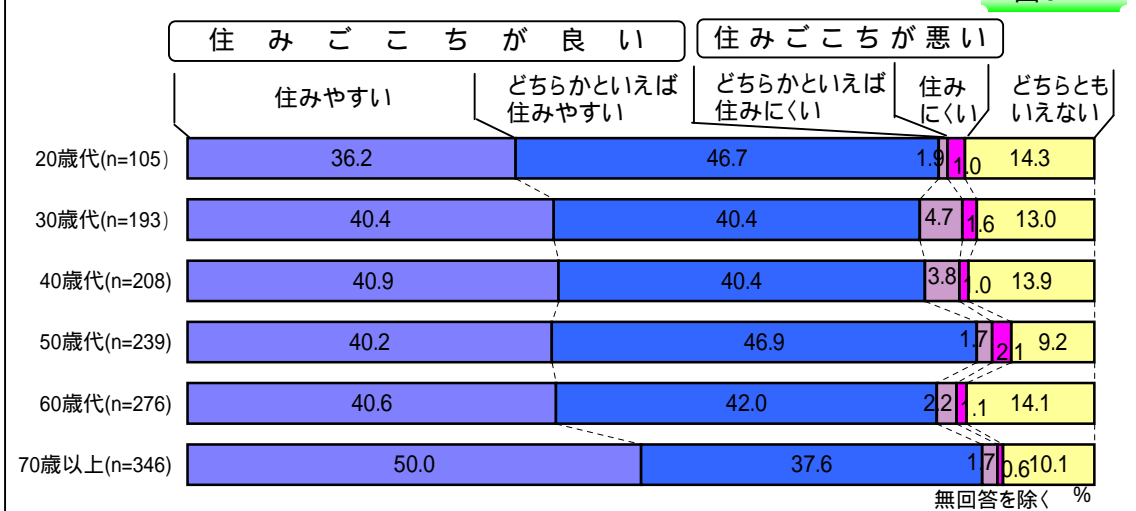
地区別で比較

図6-3



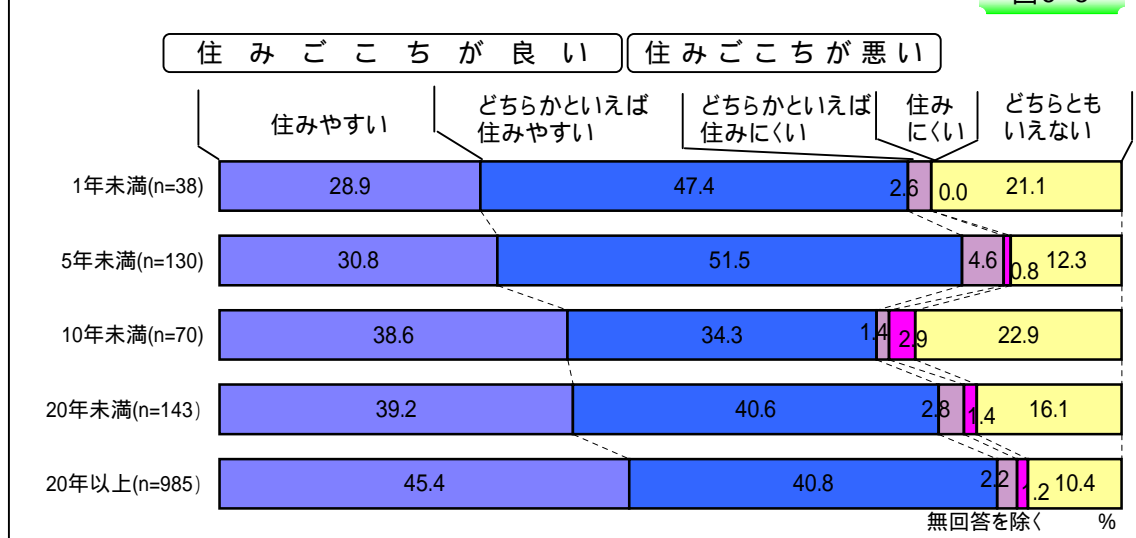
年代別で比較

図6-4



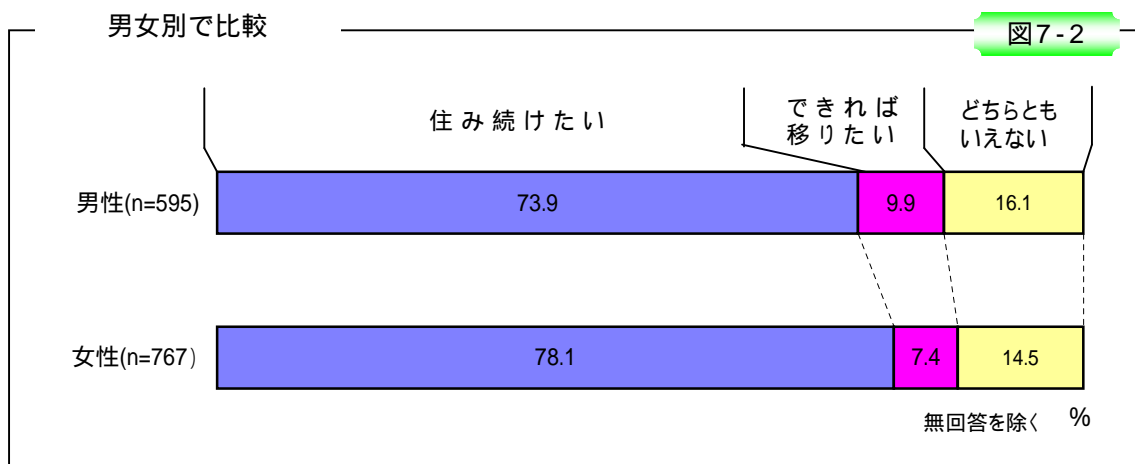
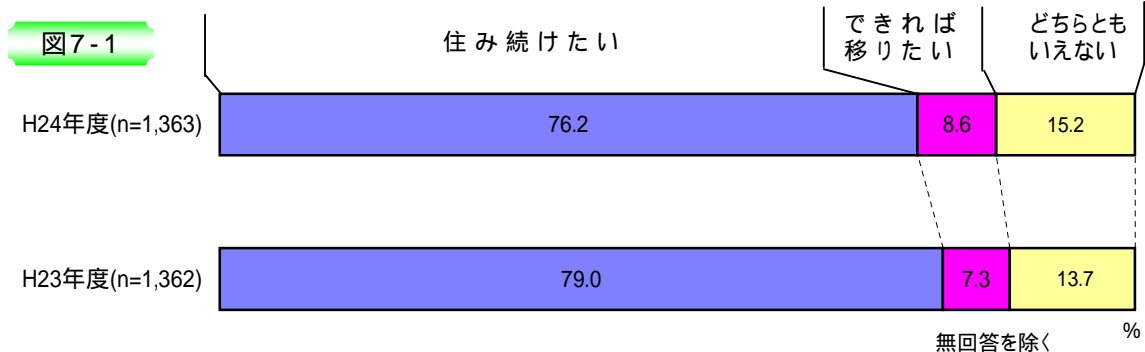
居住年数別で比較

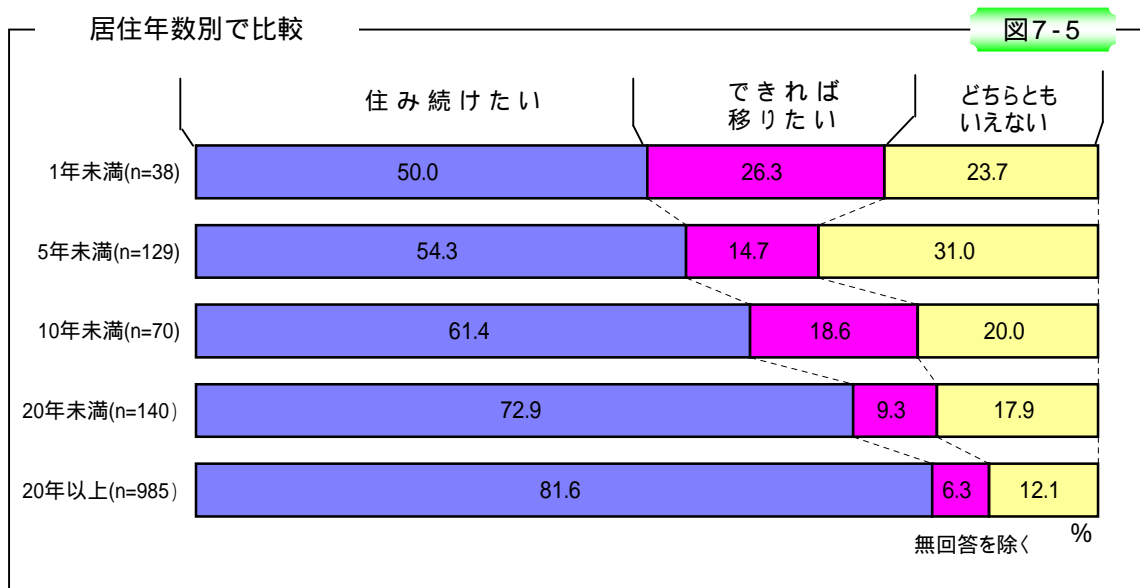
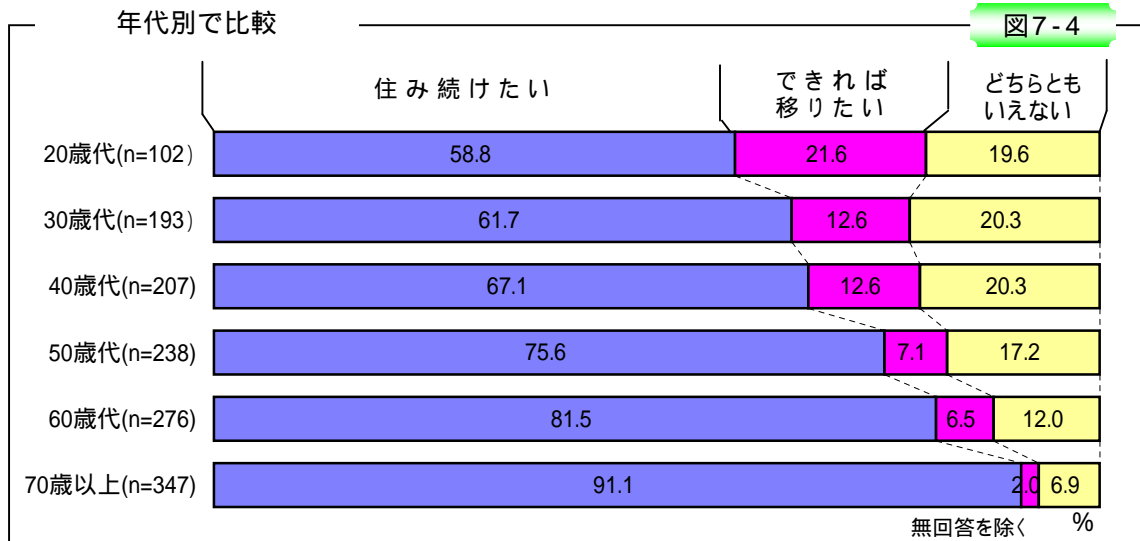
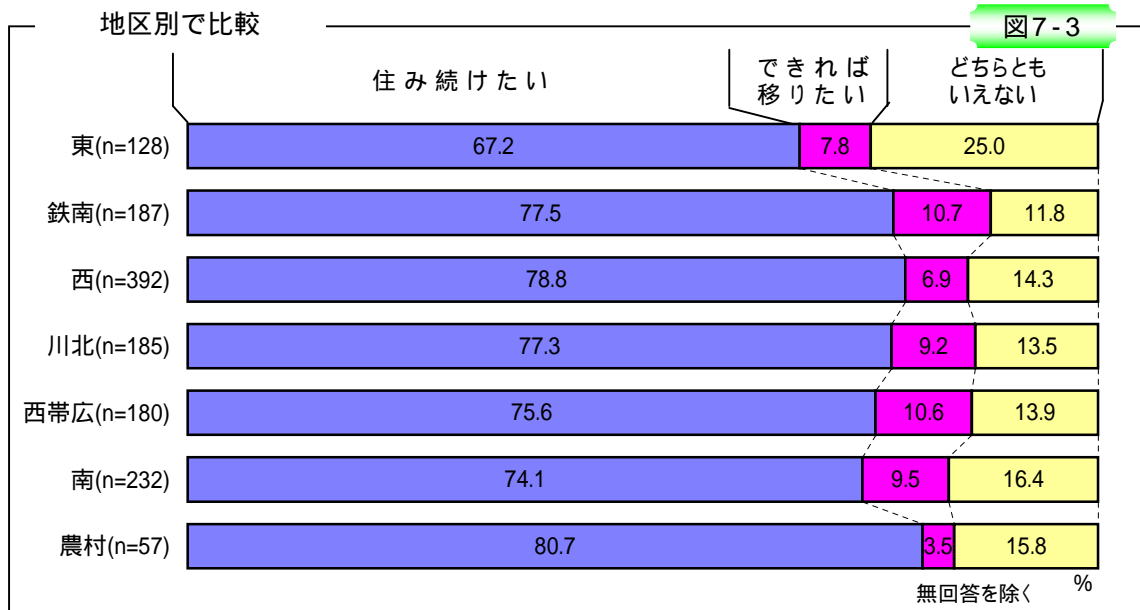
図6-5



問6 これからも帯広市に住み続けたい？

- ④ 「住み続けたい」と「できれば移りたい」とした割合は、昨年度と比較すると、ほぼ変わらず76.2%（1,039人）、8.6%（117人）となっています。（図7-1）
- ④ 男女別で「住み続けたい」とした割合は、[男性]73.9%、[女性]78.1%となり、女性の方が高くなっています。（図7-2）
- ④ 地区別で「住み続けたい」とした割合は、[東地区]67.2%が最も低くなっています。（図7-3）
- ④ 年代別で「住み続けたい」とした割合は、年代が上がるにつれて高くなっています。一方で、「できれば移りたい」とした割合は、年代が下がるにつれて高くなっています。（図7-4）
- ④ 居住年数別で「住み続けたい」とした割合は、居住年数が多くなるにつれて高くなっています。一方で、「できれば移りたい」とした割合は、居住年数が少なくなるにつれて、高くなる傾向があります。（図7-5）



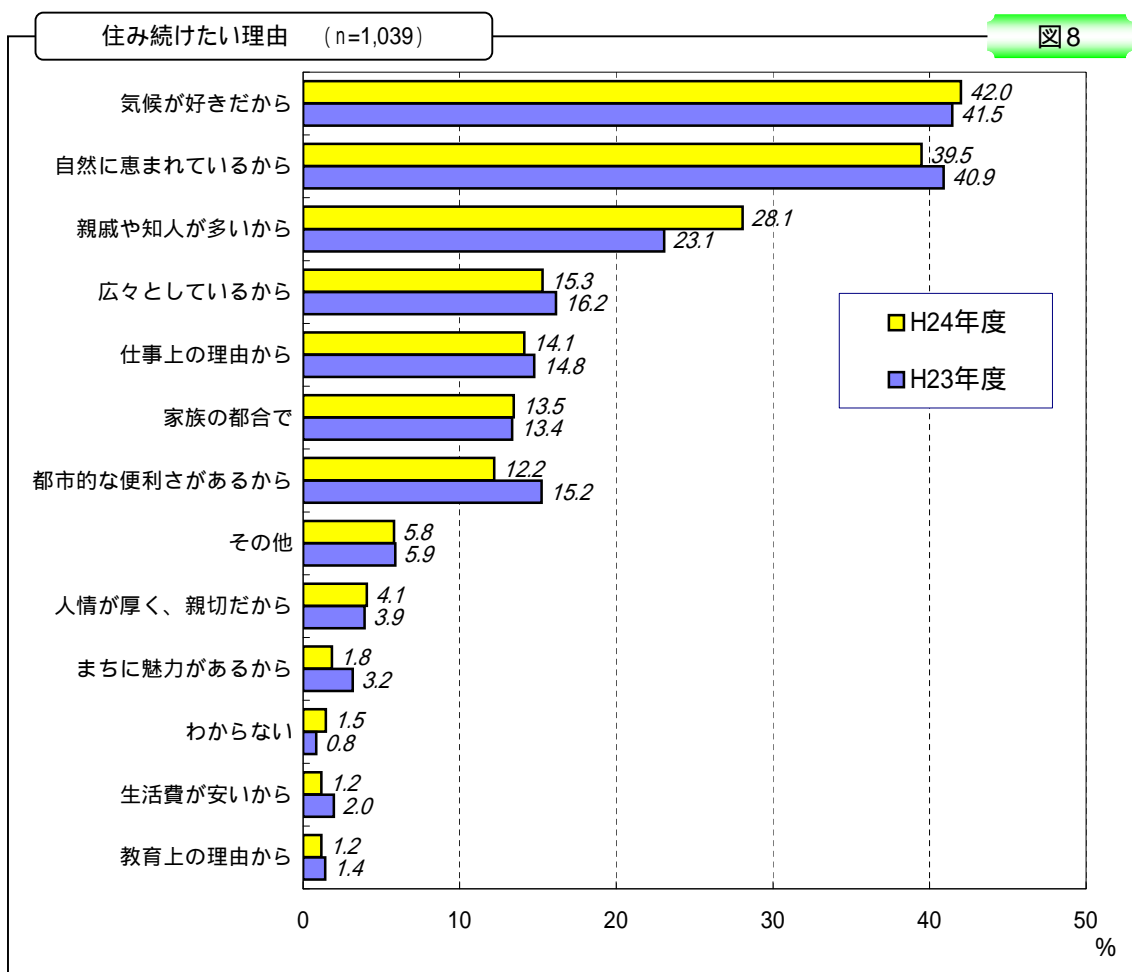
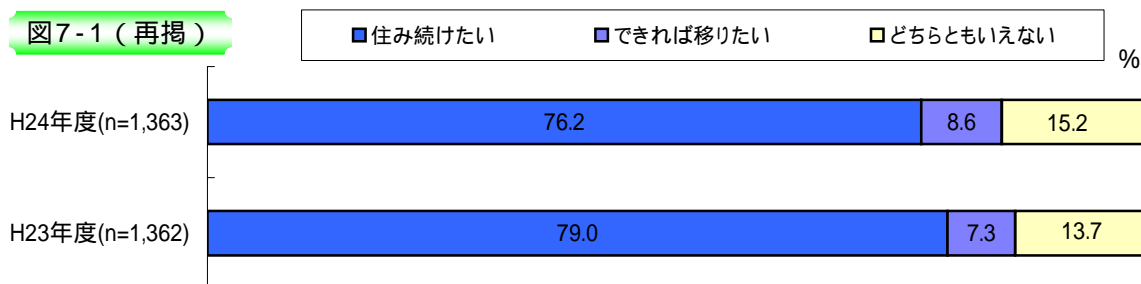


問7 住み続けたい理由は？

「住み続けたい」と回答した人1,039人に、その理由を13の選択肢から2つまで回答してもらいました。

「住み続けたい」とした理由は、[気候が好きだから]が最も多く、42.0%(434人)となり、2番目に多い理由は[自然に恵まれているから]で39.5%(408人)、3番目は[親戚や知人が多いから]で28.1%(290人)となっています。(図8)

図7-1 (再掲)

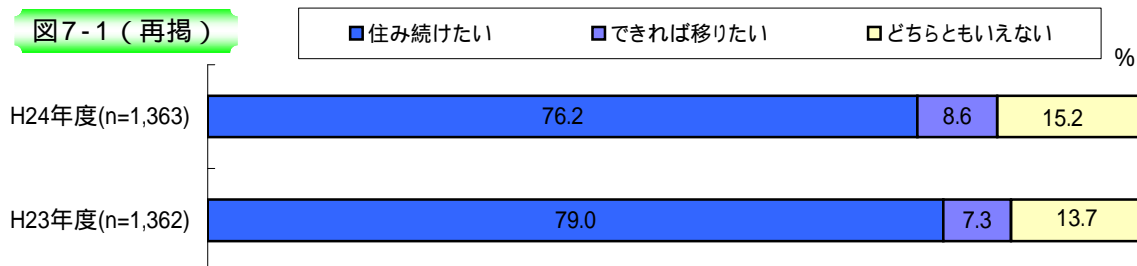


問8 移りたい地域は？

「できれば移りたい」と回答した人110人に、移りたい地域を9つの選択肢から1つ、回答してもらいました。

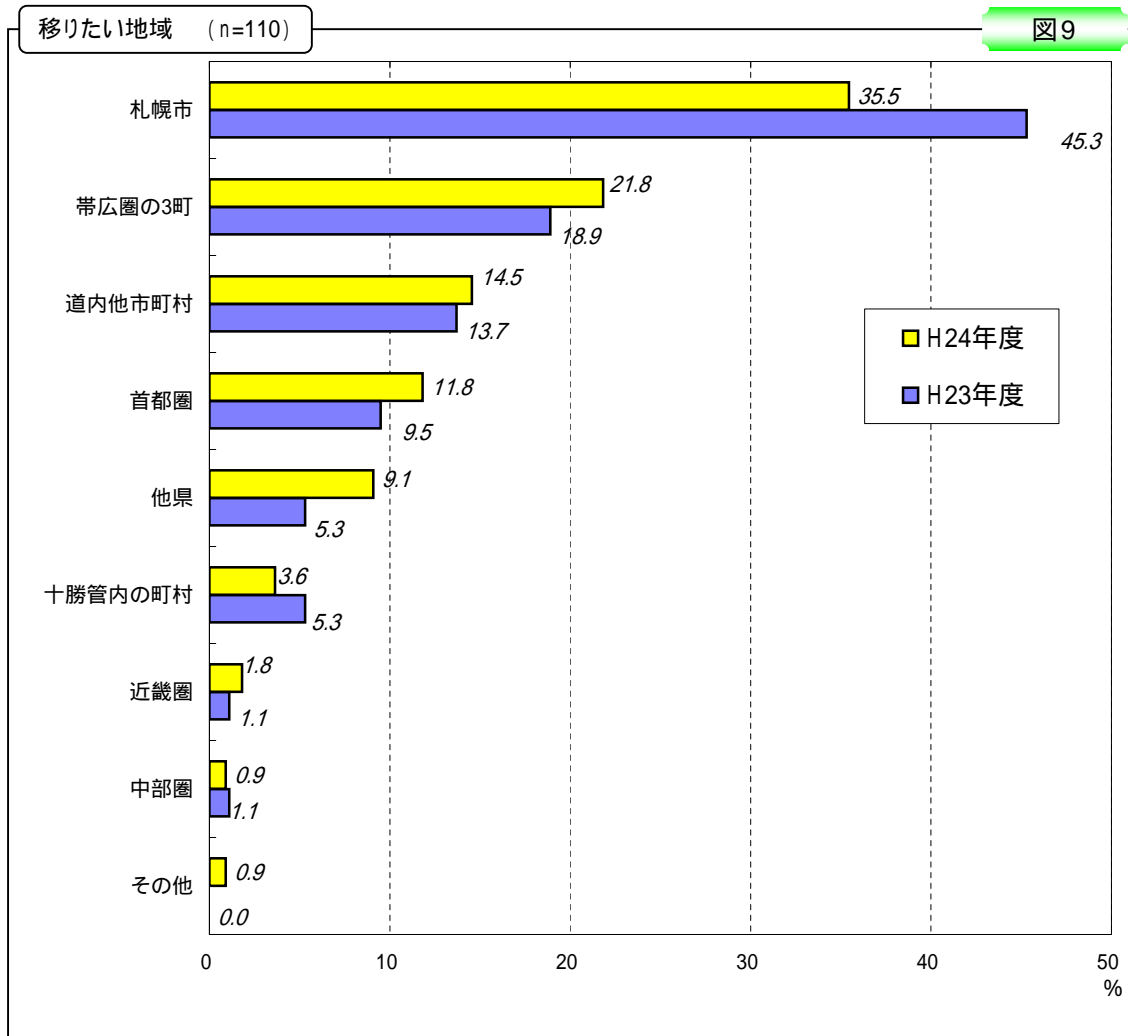
「移りたい地域」としては、[札幌市]が最も多く35.5%（39人）となっています。また、2番目に多い地域は、[帯広圏の3町]で21.8%（18人）、3番目は[道内他市町村]で14.5%（16人）となっています。（図9）

図7-1（再掲）



移りたい地域 (n=110)

図9

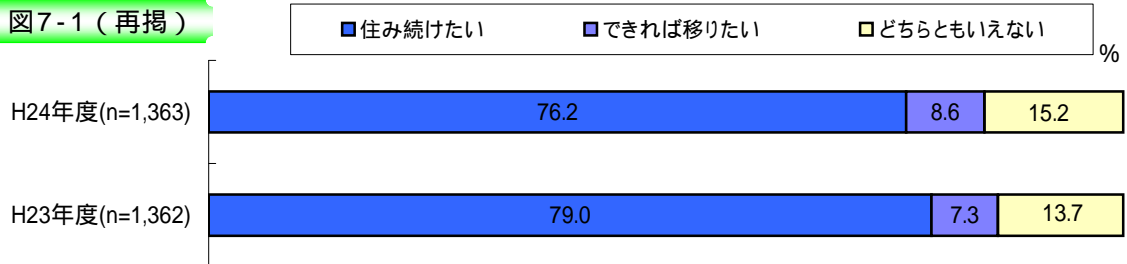


問9 移りたい理由は？

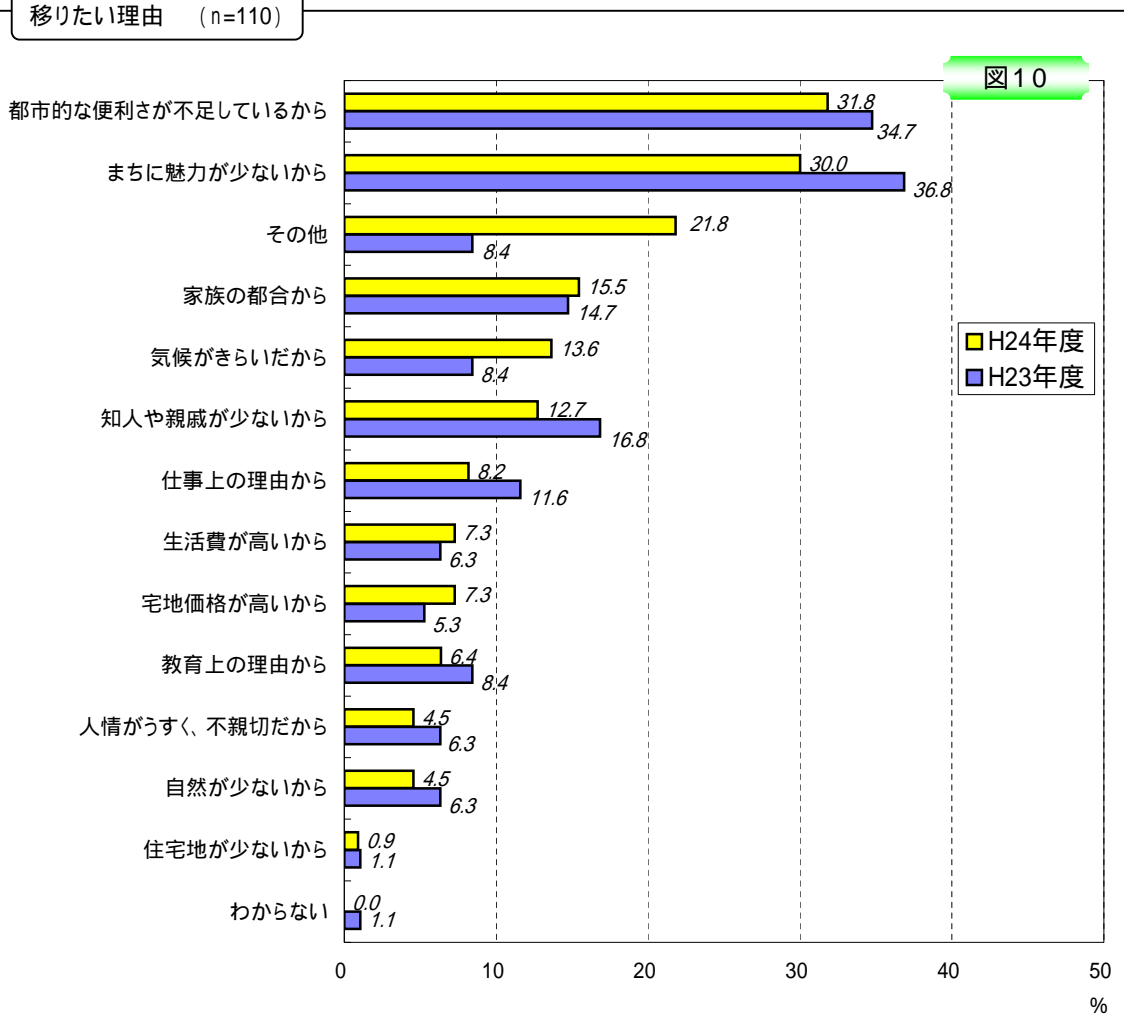
「できれば移りたい」と回答した人110人に、移りたい理由を14の選択肢から2つまで回答してもらいました。

「移りたい理由」としては、[都市的な便利さが不足しているから]が最も多く、31.8%（35人）となっています。また、2番目に多い理由は、[まちに魅力が少ないから]が30.0%（33人）となっています。（図10）

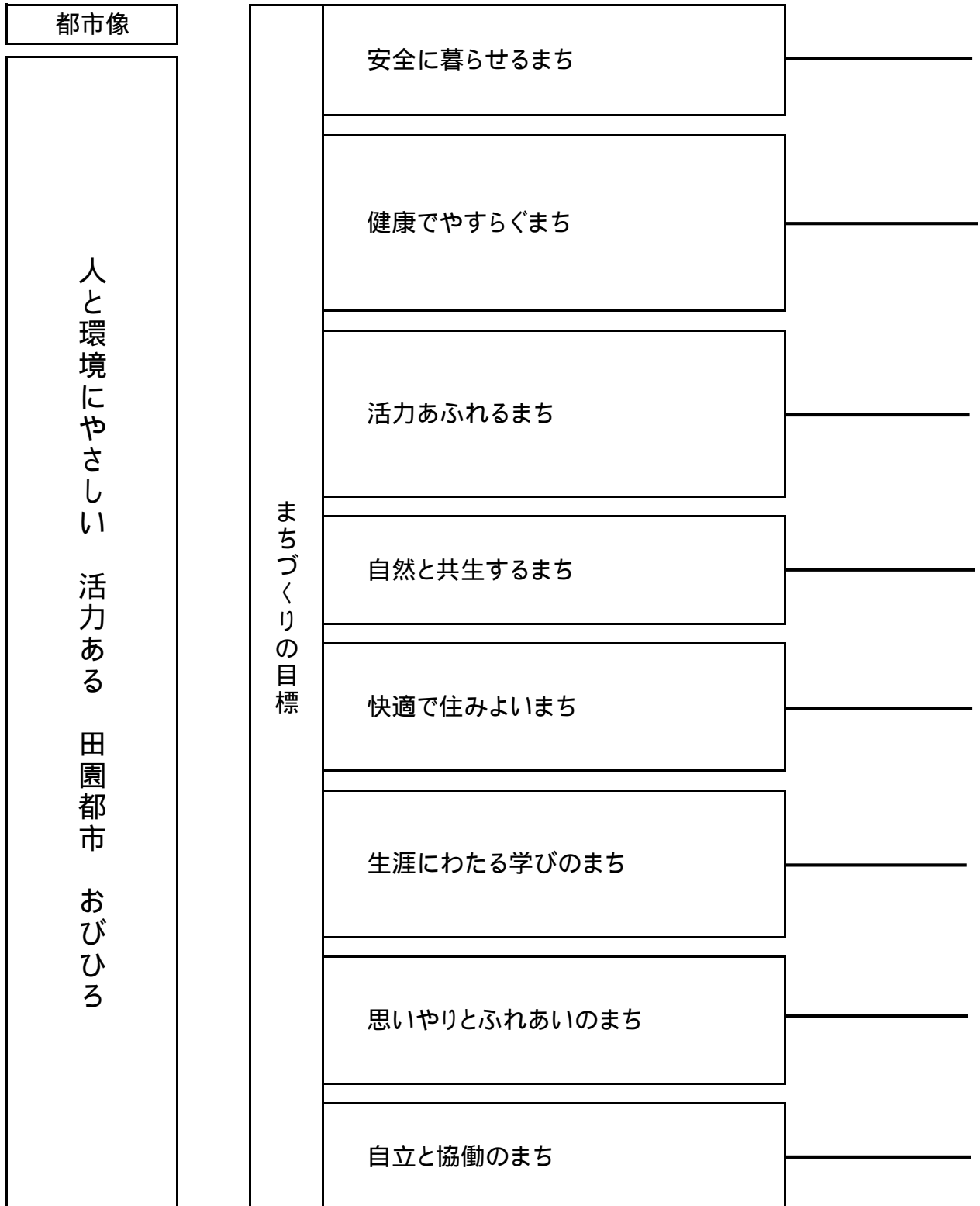
図7-1（再掲）



移りたい理由 (n=110)



第六期帯広市総合計画の政策・施策の体系



- ・総合計画の50項目の施策ごとに、市民の実感を聞く質問（市民実感度調査項目）を設定しています。
- ・質問の数が多いため、A票とB票の2つに分けています。

政策1-1 災害に強い安全なまちづくり	施策1-1-1 地域防災の推進	問10-A
	施策1-1-2 消防・救急の充実	問10-B
政策1-2 安心して生活できるまちづくり	施策1-2-1 防犯の推進	問11-A
	施策1-2-2 交通安全の推進	問11-B
	施策1-2-3 消費生活の向上	問12-A
政策2-1 健康に暮らせるまちづくり	施策2-1-1 保健予防の推進	問12-B
	施策2-1-2 医療体制の充実	問13-A
政策2-2 やすらぎのあるまちづくり	施策2-2-1 地域福祉の推進	問13-B
	施策2-2-2 高齢者福祉の推進	問14-A
	施策2-2-3 障害者福祉の推進	問14-B
	施策2-2-4 社会保障の推進	問15-A
政策2-3 子どもたちが健やかに育つまちづくり	施策2-3-1 子育て支援の充実	問15-B
	施策2-3-2 青少年の健全育成	問16-A
政策3-1 力強い産業が育つまちづくり	施策3-1-1 農林業の振興	問16-B
	施策3-1-2 工業の振興	問17-A
	施策3-1-3 商業の振興	問17-B
	施策3-1-4 中小企業の基盤強化	問18-A
	施策3-1-5 産業間連携の促進	問18-B
	施策3-1-6 雇用環境の充実	問19-A
政策3-2 にぎわいのあるまちづくり	施策3-2-1 中心市街地の活性化	問19-B
	施策3-2-2 観光の振興	問20-A
政策4-1 地球環境を守るまちづくり	施策4-1-1 地球環境の保全	問20-B
	施策4-1-2 廃棄物の資源化	問21-A
政策4-2 うるおいのあるまちづくり	施策4-2-1 公園・緑地の整備	問21-B
	施策4-2-2 水道水の安定供給	問22-A
	施策4-2-3 下水道の整備	問22-B
政策5-1 快適で住みごちのよいまちづくり	施策5-1-1 住環境の充実	問23-A
	施策5-1-2 魅力ある景観の形成	問23-B
	施策5-1-3 墓地・火葬場の整備	問24-A
政策5-2 交流を支えるまちづくり	施策5-2-1 道路網の整備	問24-B
	施策5-2-2 総合的な交通体系	問25-A
	施策5-2-3 地域情報化の推進	問25-B
政策6-1 次代を担う人を育むまちづくり	施策6-1-1 学校教育の推進	問26-A
	施策6-1-2 教育環境の充実	問26-B
	施策6-1-3 高等学校教育の推進	問27-A
	施策6-1-4 高等教育の充実	問27-B
政策6-2 とともに学び地域のきずなを育むまちづくり	施策6-2-1 学習活動の推進	問28-A
	施策6-2-2 芸術・文化の振興	問28-B
	施策6-2-3 スポーツの振興	問29-A
政策7-1 互いに尊重し思いやりのあるまちづくり	施策7-1-1 人権尊重と平和な社会	問29-B
	施策7-1-2 男女共同参画社会	問30-A
	施策7-1-3 ユニバーサルデザイン	問30-B
	施策7-1-4 アイヌの人たちの誇り	問31-A
政策7-2 ふれあいのあるまちづくり	施策7-2-1 地域コミュニティ	問31-B
	施策7-2-2 国内・国際交流の推進	問32-A
政策8-1 市民とともにすすめる自治体経営	施策8-1-1 市民協働のまちづくり	問32-B
	施策8-1-2 自治体経営の推進	問33-A
	施策8-1-3 広域行政の推進	問33-B
政策8-2 質の高い行政の推進	施策8-2-1 行政サービスの充実	問34-A
	施策8-2-2 行政事務の適正な執行	問34-B

「市民実感度」とは…

「市民まちづくりアンケート」では、第六期総合計画の50項目の施策ごとに、市民の実感を聞く質問(これを市民実感度調査項目といいます)を設定しています。
この質問に対する回答を加重平均した値を「市民実感度」といいます。

順位	問番号	市民実感度調査項目
1	22	A おいしい水道水が、いつでも安心して利用できる
2	16	B 安全で良質な農畜産物が生産され、農業に活気がある
3	24	A 墓地の整備や火葬場の管理運営が適切に行われている
4	10	B 消火活動や救急活動が迅速に行われている
5	12	B 各種検診の受診や保健指導などにより、健康に暮らせる
6	13	A ケガや病気の際に安心して医療を受けられる
7	23	B 都市部や農村部において、帯広・十勝らしい景観が形成されている
8	22	B 生活廃水や雨水が適切に処理されている
9	21	B 公園、街路樹などが良好に管理され、身近に緑や花に親しむことができる
10	21	A ごみの減量やリサイクルなど、廃棄物の資源化や適正な処理が行われている
11	29	A スポーツを楽しむことができる環境が整っている
12	23	A 快適で住みやすい居住空間が確保されている
13	12	A 悪質な訪問販売や契約トラブルなどに遭うことなく、安全に消費生活を送れる
14	25	A 空港、バス、高速道路など、交通の利便性が確保されている
15	26	B 子どもたちが安心して学べる教育環境が整っている
16	27	A 高等学校において充実した教育が行われている
17	15	B 安心して子どもを生み育てることができる
18	20	B 自然環境が保全され、環境への負荷を低減する取り組みが行われている
19	11	A 日常生活において、犯罪に遭うことなく安心して暮らせる
20	14	A 高齢者が地域で生き生きと暮らせる
21	13	B 地域の支え合いにより、安心して暮らせる
22	25	B 高速インターネットなど、情報通信サービスを日常生活や仕事に活用できる環境が整っている
23	34	B 市民に信頼される行政事務が行われている
24	34	A 市民が利用しやすく、満足できる行政サービスが提供されている
25	28	B 芸術や文化に親しむことができる環境が整っている
26	28	A 生涯にわたって学ぶことができる環境が整っている
27	26	A 小学校・中学校において充実した教育が行われている
28	20	A 自然や特産物など、地域の魅力を活かした観光振興が行われている
29	29	B 平和で差別や虐待がなく、市民一人ひとりが互いに人権を尊重している
30	16	A 青少年が健全に育つ環境が整っている
31	32	A 国内や国外の都市と人や文化の交流が活発に行われている
32	30	A 男女が互いに尊重し合い、個性や能力を發揮できる
33	17	A ものづくり産業に活気がある
34	14	B 障害のある人が地域で生き生きと暮らせる
35	33	B 十勝管内町村との広域事業や、道内各都市と連携・交流が行われている
36	31	A アイヌ民族の歴史や文化などへの理解が深まり、アイヌの人たちの誇りが尊重されている
37	10	A 地震や水害など、災害への備えが整っている
38	24	B 幹線道路や生活道路が整備されており、安全に通行できる
39	15	A 社会保障制度の周知や適切な運用が行われている
40	32	B 市民と行政の協働によるまちづくりがすすめられている
41	18	B 企業が大学などと連携し、新たな製品開発が行われている
42	31	B 町内会やNPO・ボランティアなどによる地域活動が活発に行われている
43	11	B 日常生活において、交通事故に遭うことなく安心して暮らせる
44	30	B 誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによるまちづくりが行われている
45	33	A 健全な財政運営や効果的・効率的な行政運営が行われている
46	19	A 意欲と能力に応じて、生き生きと働くことができる
47	18	A 地元の企業に活気がある
48	27	B 大学や専修学校など、高度な教育を受けることができる環境が整っている
49	17	B 商店や商店街に活気がある
50	19	B 中心市街地に、魅力とにぎわいがある

市民実感度(加重平均値)の算出方法

「そう思う」は4、「ややそう思う」は3、「あまりそう思わない」は2、「そう思わない」は1と重み付けを行い、各回答数を乗じて合計したものを、有効回答数で除したものです。

このため、数値は1.000から4.000の間で表わされます。

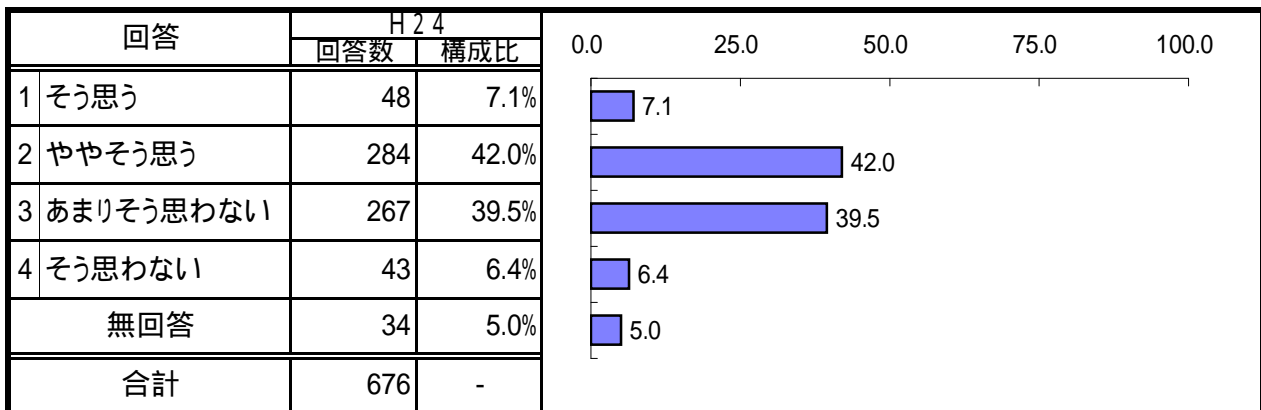
例)問22-A:「おいしい水道水が、いつでも安心して利用できる」の場合

$$(4 \times 391(\text{人}) + 3 \times 208(\text{人}) + 2 \times 45(\text{人}) + 1 \times 15(\text{人})) \div 659(\text{人}) = 3.480$$

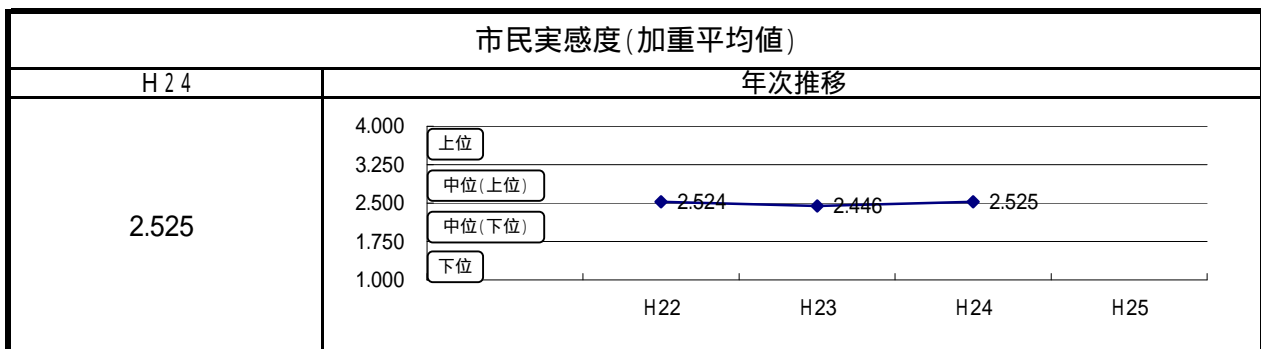
そう思う	ややそう思う	あまり そう思わない	そう思わない	有効回答数	市民実感度 (加重平均値)
391	208	45	15	659	3.480
306	289	67	20	682	3.292
210	370	40	10	630	3.238
223	370	67	13	673	3.193
232	330	92	26	680	3.129
220	305	108	24	657	3.097
195	351	100	35	681	3.037
191	357	94	40	682	3.025
213	319	107	47	686	3.017
189	322	110	35	656	3.014
187	308	134	28	657	2.995
182	321	115	35	653	2.995
127	390	118	24	659	2.941
168	303	114	56	641	2.910
110	384	129	37	660	2.859
88	377	124	37	626	2.824
136	321	135	62	654	2.812
101	362	165	42	670	2.779
107	335	180	37	659	2.777
116	310	193	38	657	2.767
111	335	195	38	679	2.764
101	352	158	50	661	2.762
67	424	110	57	658	2.761
86	359	154	51	650	2.738
84	363	177	45	669	2.726
85	329	198	32	644	2.725
85	339	160	51	635	2.721
133	253	215	51	652	2.718
69	372	181	51	673	2.682
75	335	205	39	654	2.682
90	309	191	53	643	2.678
63	345	180	52	640	2.655
90	293	213	58	654	2.635
72	315	219	57	663	2.606
65	308	232	61	666	2.566
72	278	225	72	647	2.541
48	284	267	43	642	2.525
118	224	240	103	685	2.521
80	265	223	86	654	2.518
61	293	228	81	663	2.504
76	247	261	79	663	2.483
67	256	287	70	680	2.471
80	234	293	84	691	2.449
46	257	280	70	653	2.427
44	236	266	103	649	2.341
38	203	300	100	641	2.279
37	191	311	110	649	2.239
44	175	308	141	668	2.183
34	187	297	165	683	2.132
15	101	327	238	681	1.843

問10-A 地震や水害など、災害への備えが整っている

- 「ややそう思う」が42.0%（284人）、つづいて「あまりそう思わない」が39.5%（267人）となっています。
- 市民実感度は、2.525となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人310人のうち、303人がその理由を回答しており、理由として「行政の取り組みや周知が十分でないから」が最も多く、30.0%（91人）となっています。

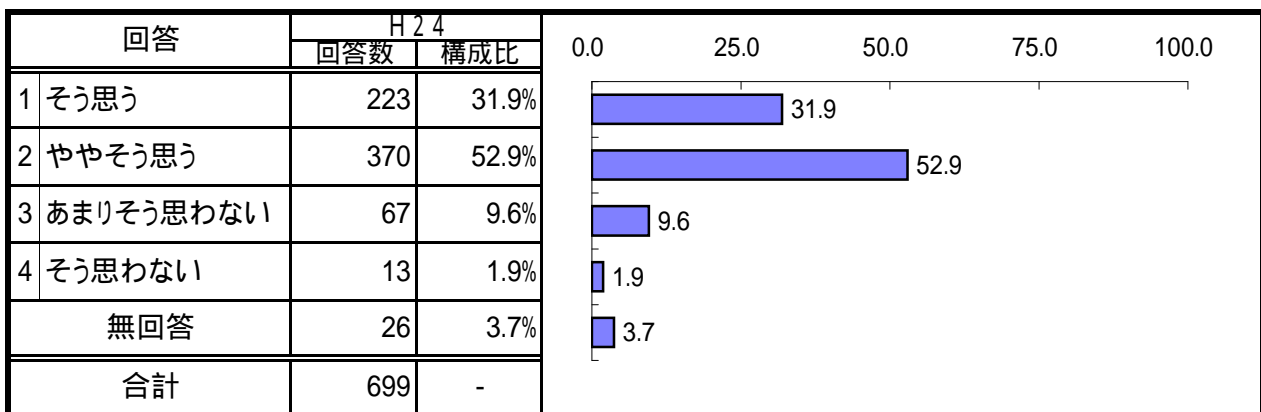


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 防災に関する意識が低いから	46	15.2%
b 行政の取り組みや周知が十分でないから	91	30.0%
c 食料の備蓄や避難経路の確認など、自らの災害への備えができていないから	75	24.8%
d 災害時に地域で助け合う仕組みが整っていないから	45	14.9%
e 自宅や避難場所の耐震性が不安だから	36	11.9%
f その他	10	3.3%
有効回答数	303	-

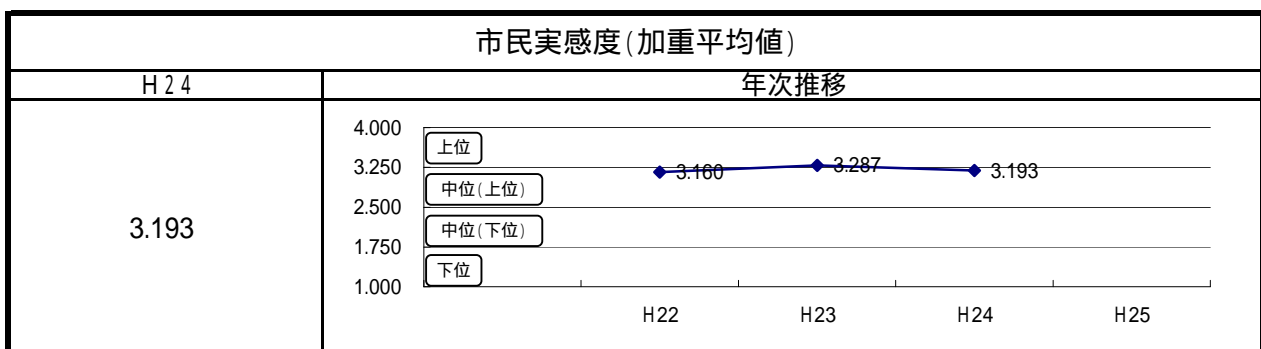


問10-B 消火活動や救急活動が迅速に行われている

- 「ややそう思う」が52.9%（370人）、つづいて「そう思う」が31.9%（223人）となっています。
- 市民実感度は、3.193となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人80人のうち、79人がその理由を回答しており、理由として「救急車による搬送や病院の受け入れがスムーズでないから」が最も多く29.1%（23人）となっています。



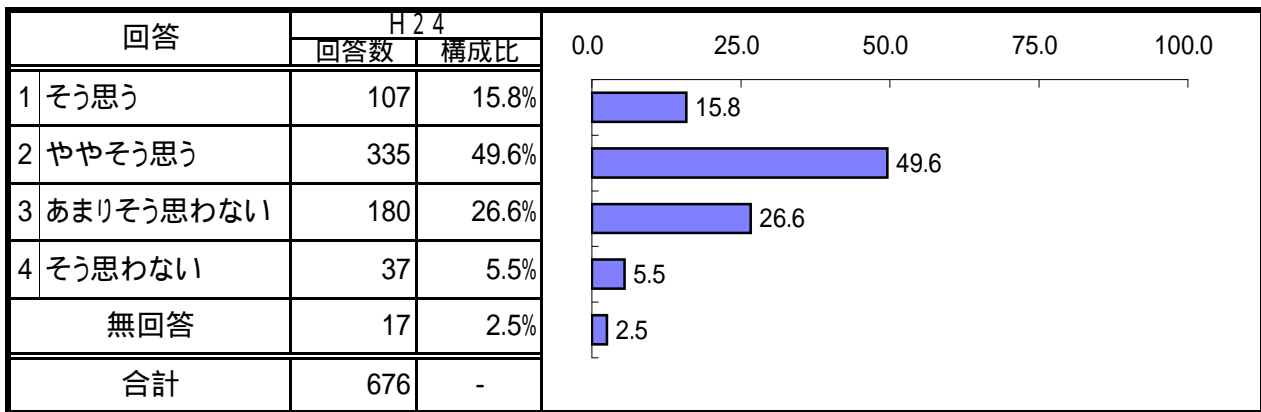
上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 消火や防火の取り組みが十分でないから	8	10.1%
b 救急車や消防車の到着時間が遅いから	15	19.0%
c 救急車による病院までの搬送がスムーズでないから	23	29.1%
d 応急手当ができる市民が少ないから	20	25.3%
e その他	13	16.5%
有効回答数	79	-



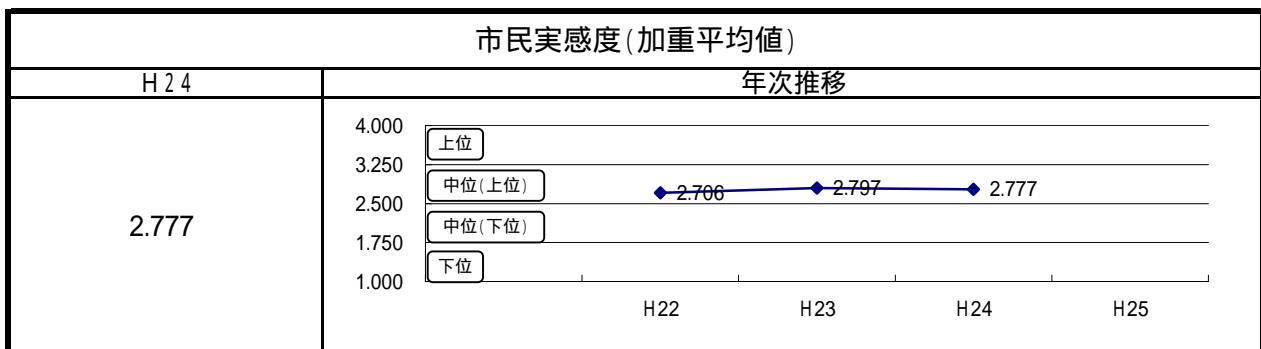


問11-A 日常生活において、 犯罪にあうことなく安心して暮らせる

- 「ややそう思う」が49.6%（335人）、つづいて「あまりそう思わない」が26.6%（180人）となっています。
- 市民実感度は、2.777となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人217人のうち、215人がその理由を回答しており、理由として「身近なところで不審者や空き巣などが発生しているから」が最も多く、44.2%（95人）となっています。

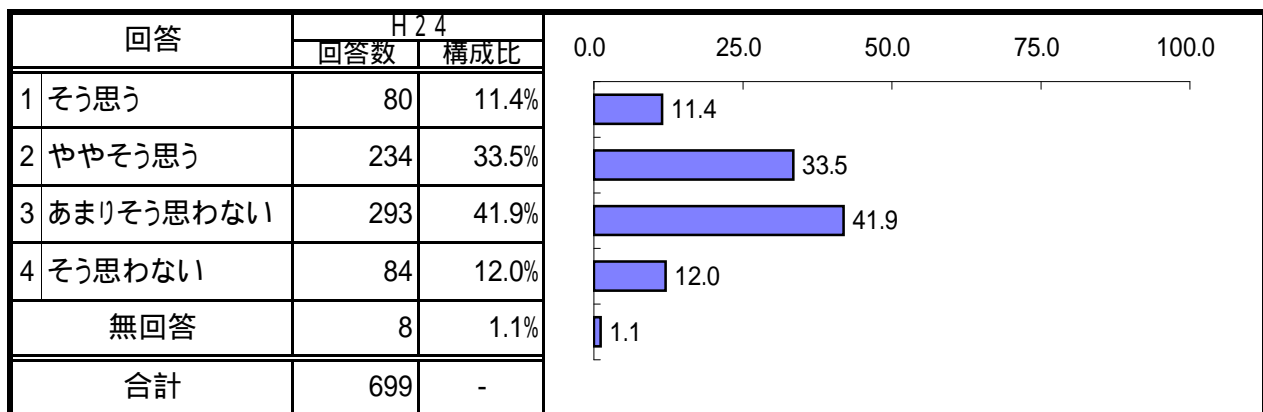


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 防犯に関する意識が低いから	19	8.8%
b 暗がりや人目につきにくい場所があるから	69	32.1%
c 身近なところで不審者や空き巣などが発生しているから	95	44.2%
d 地域で見守る防犯活動が十分でないから	25	11.6%
e その他	7	3.3%
有効回答数	215	-

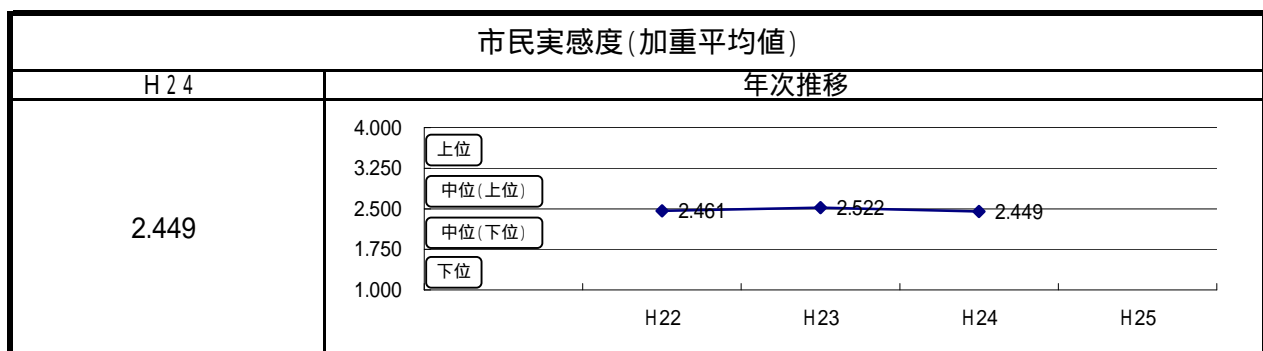


問11-B 日常生活において、 交通事故にあうことなく安心して暮らせる

- 「あまりそう思わない」が41.9%（293人）、つづいて「ややそう思う」が33.5%（234人）となっています。
- 市民実感度は、2.449となっており、中位（下位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人377人のうち、373人がその理由を回答しており、理由として「車や自転車を運転する人のマナーが悪いから」が最も多く、65.7%（245人）となっています。

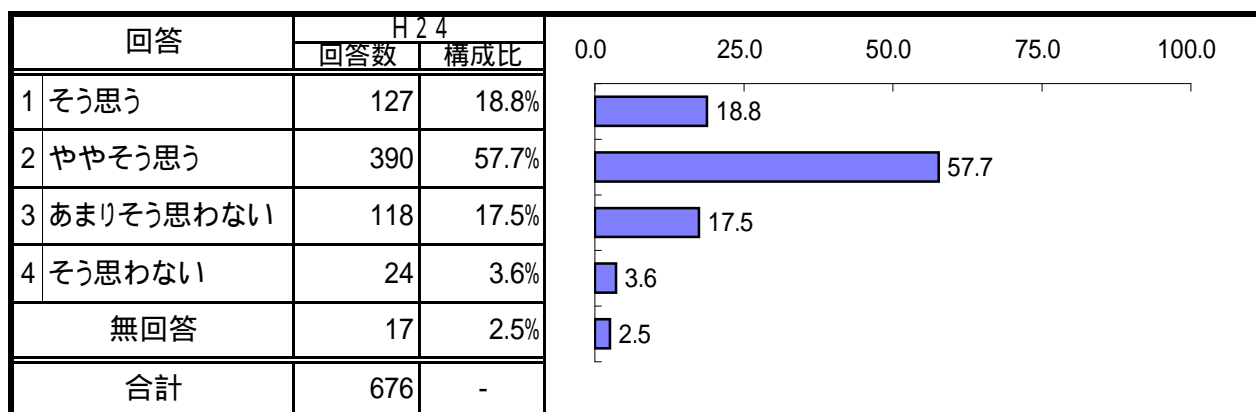


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 交通ルールを守らない歩行者がいるから	26	7.0%
b 車や自転車を運転する人のマナーが悪いから	245	65.7%
c 危ない道路や交差点があるから	71	19.0%
d その他	31	8.3%
有効回答数	373	-

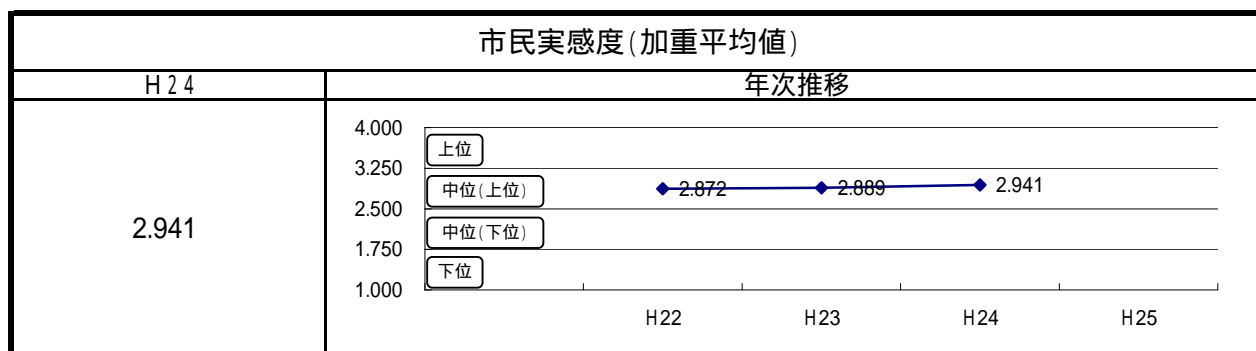


問12-A 悪質な訪問販売や契約トラブルなどにあうことなく、安全に消費生活を送れる

- 「ややそう思う」が57.7%（390人）、つづいて「そう思う」が18.8%（127人）となっています。
- 市民実感度は、2.941となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人142人のうち、135人がその理由を回答しており、理由として「消費者トラブルの際の対処方法が分からないから」が最も多く、38.5%（52人）となっています。

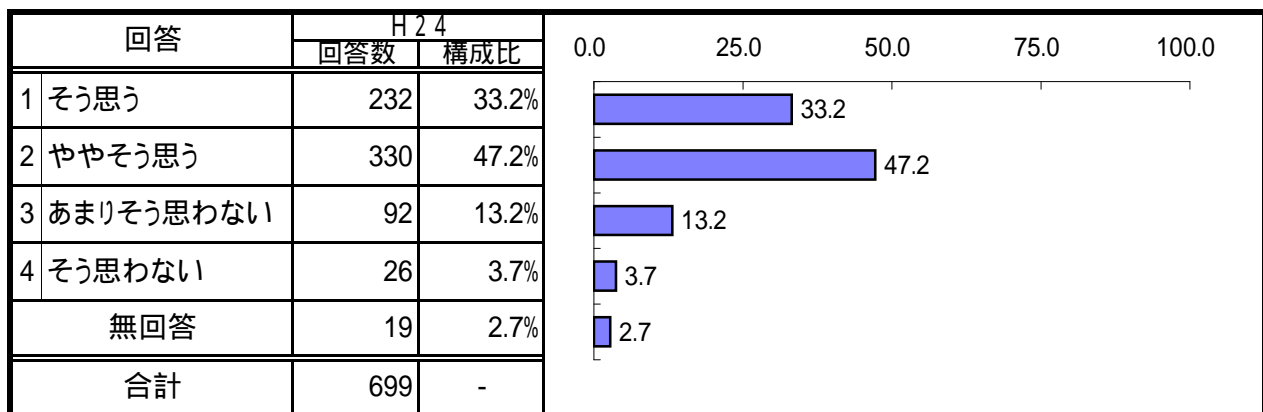


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 消費生活に関する情報提供が十分でないから	44	32.6%
b 消費者トラブルなどを相談できる場所を知らないから	31	23.0%
c 消費者トラブルの際の対処方法が分からないから	52	38.5%
d その他	8	5.9%
有効回答数	135	-

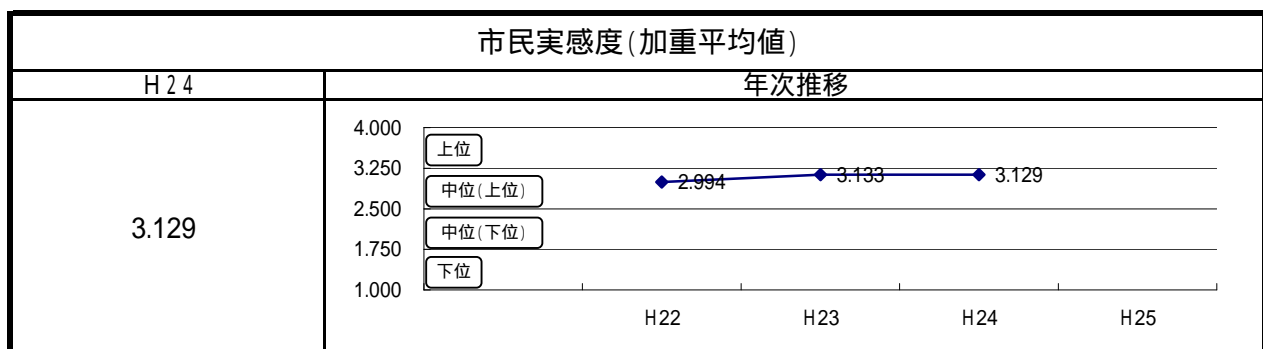


問12-B 各種検診の受診や保健指導などにより、健康に暮らせる

- 「ややそう思う」が47.2%（330人）、つづいて「そう思う」が33.2%（232人）となっています。
- 市民実感度は、3.129となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人118人のうち、116人がその理由を回答しており、理由として「気軽に健康相談できるところがないから」が最も多く、34.5%（40人）となっています。

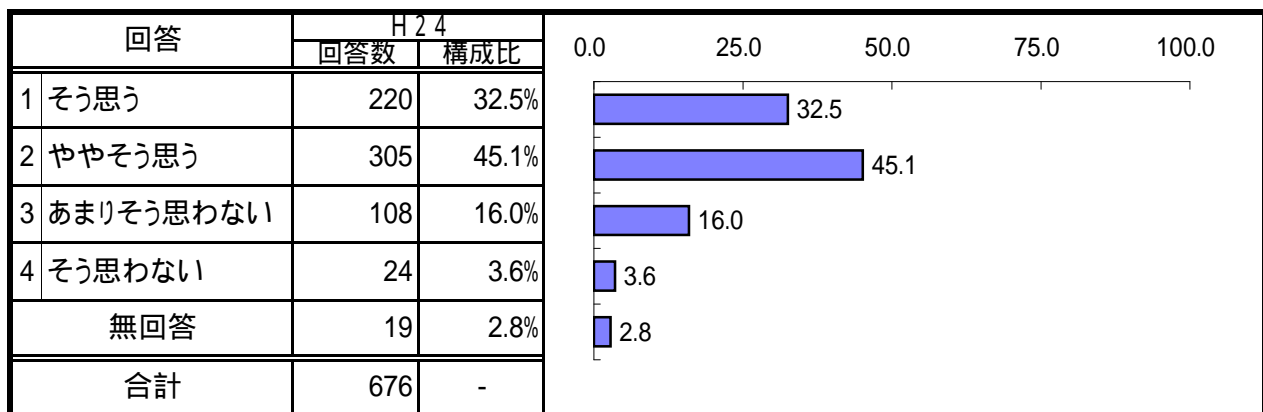


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 健康づくりに関する意識が低いから	15	12.9%
b 各種検診や健康診査を受診しやすい環境が整っていないから	37	31.9%
c 予防接種が受けやすい環境が整っていないから	12	10.3%
d 気軽に健康相談できるところがないから	40	34.5%
e その他	12	10.3%
有効回答数	116	-

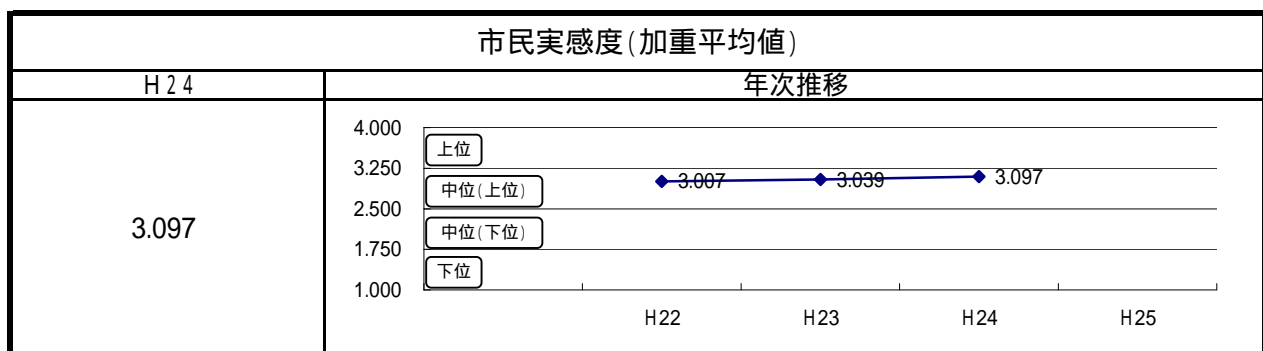


問13-A ケガや病気の際に安心して医療を受けられる

- 「ややそう思う」が45.1%（305人）、つづいて「そう思う」が32.5%（220人）となっています。
- 市民実感度は、3.097となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人132人のうち、127人がその理由を回答しており、理由として「高度な医療を受けることができないから」が最も多く、40.2%（51人）となっています。

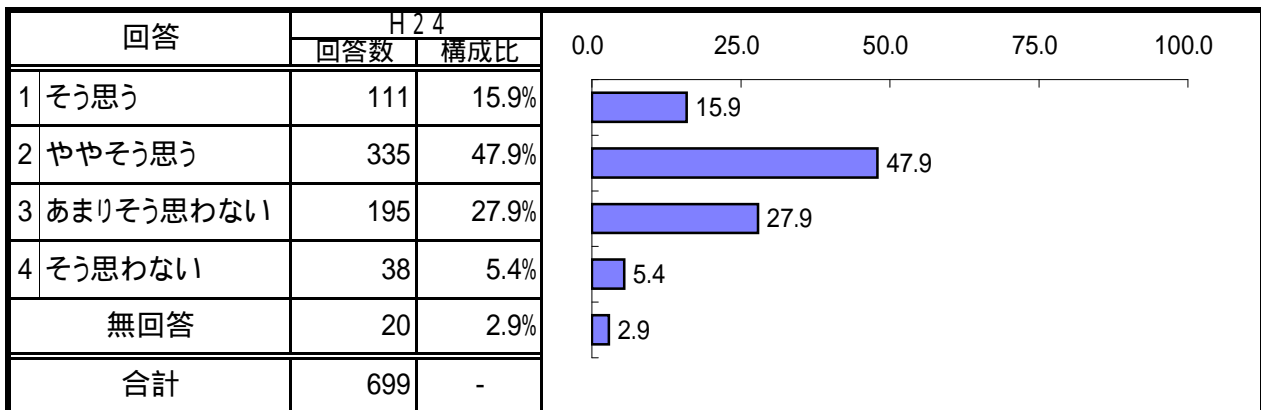


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 近くに病院や診療所がないから	4	3.1%
b 診療科目が不足しているから	17	13.4%
c 高度な医療を受けることができないから	51	40.2%
d 緊急時の医療機関の情報が十分でないから	41	32.3%
e その他	14	11.0%
有効回答数	127	-

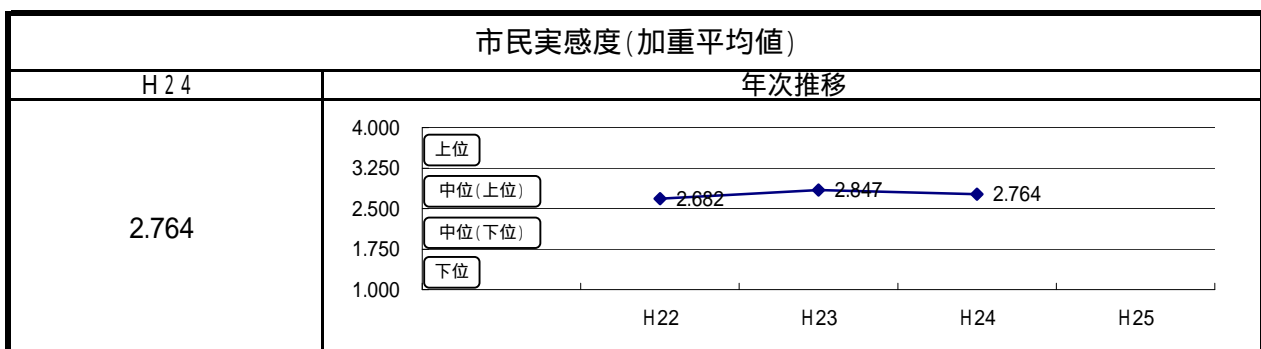


問13-B 地域の支え合いにより、安心して暮らせる

- 「ややそう思う」が47.9%（335人）、つづいて「あまりそう思わない」が27.9%（195人）となっています。
- 市民実感度は、2.764となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人233人のうち、228人がその理由を回答しており、理由として「地域住民の互いに支え合う意識が低いから」が最も多く、57.0%（130人）となっています。

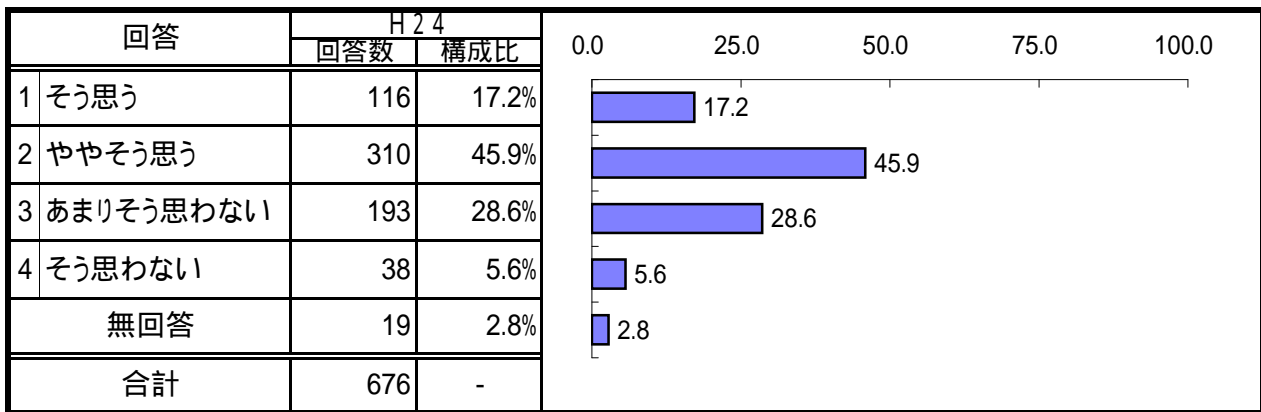


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 地域住民の互いに支え合う意識が低いから	130	57.0%
b 不安や心配事を地域で相談できるところがないから	52	22.8%
c 福祉ボランティアの活動が活発でないから	30	13.2%
d その他	16	7.0%
有効回答数	228	-

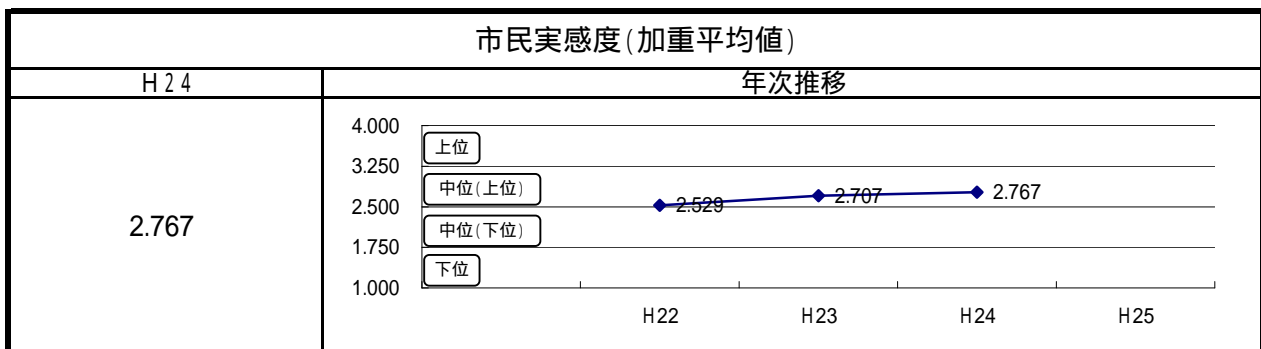


問14-A 高齢者が地域で生き生きと暮らせる

- 「ややそう思う」が45.9%（310人）、つづいて「あまりそう思わない」が28.6%（193人）となっています。
- 市民実感度は、2.767となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人231人のうち、219人がその理由を回答しており、理由として「老人ホームなどの施設が不足しているから」が最も多く、41.6%（91人）となっています。

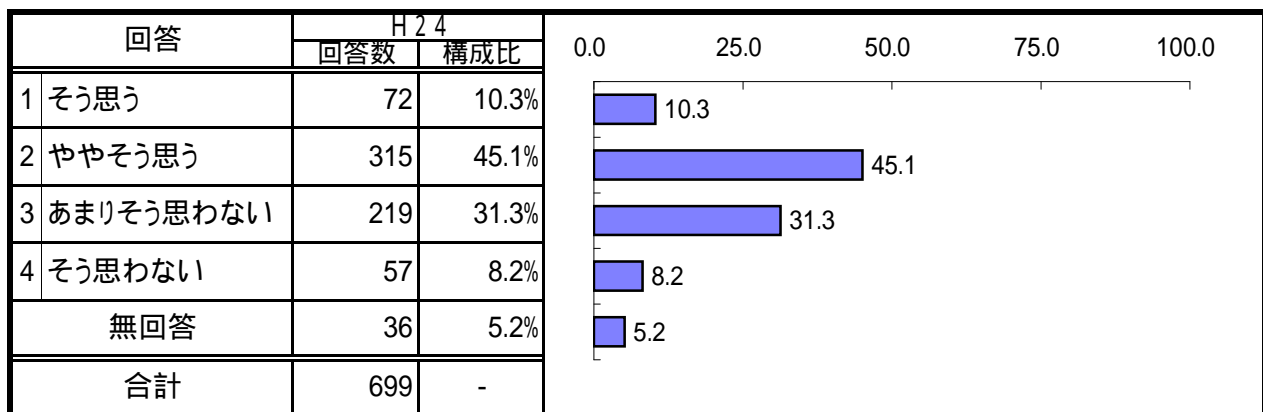


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 社会参加の機会が少ないから	19	8.7%
b 在宅の福祉サービスが利用しにくいから	22	10.0%
c 老人ホームなどの施設が不足しているから	91	41.6%
d 高齢者を地域で支える環境が整っていないから	79	36.1%
e その他	8	3.7%
有効回答数	219	-

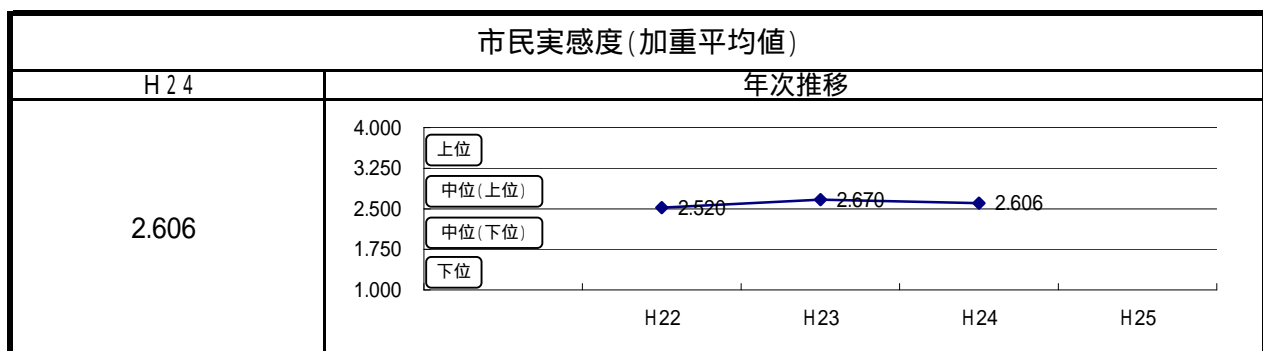


問14-B 障害のある人が地域で生き生きと暮らせる

- 「ややそう思う」が45.1%（315人）、つづいて「あまりそう思わない」が31.3%（219人）となっています。
- 市民実感度は、2.606となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人276人のうち、270人がその理由を回答しており、理由として「障害のある人を地域で支え合う意識が低いから」が最も多く、27.4%（74人）となっています。

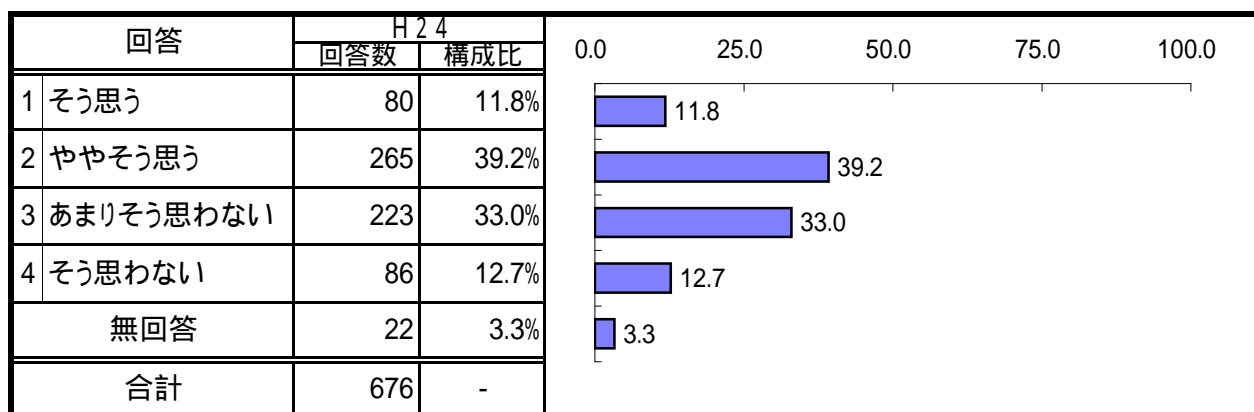


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 障害や障害のある人に対する理解が十分でないから	64	23.7%
b 障害のある人を地域で支え合う意識が低いから	74	27.4%
c 障害者福祉サービスが十分でないから	46	17.0%
d 障害のある人が働くことができる環境が整っていないから	71	26.3%
e その他	15	5.6%
有効回答数	270	-

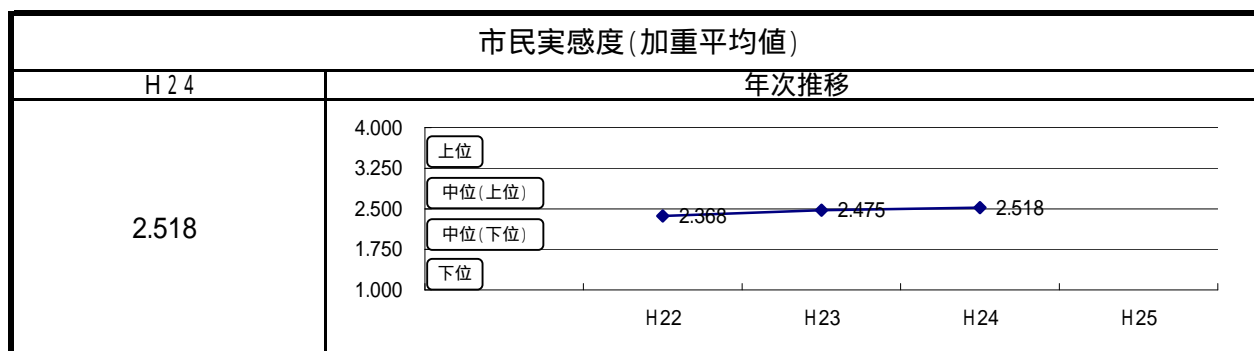


問15-A 社会保障制度の周知や適切な運用が行われている

- 「ややそう思う」が39.2%（265人）、つづいて「あまりそう思わない」が33.0%（223人）となっています。
- 市民実感度は、2.518となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人309人のうち、300人がその理由を回答しており、理由として「社会保障にかかる家計の負担が大きいため」が最も多く、37.0%（111人）となっています。

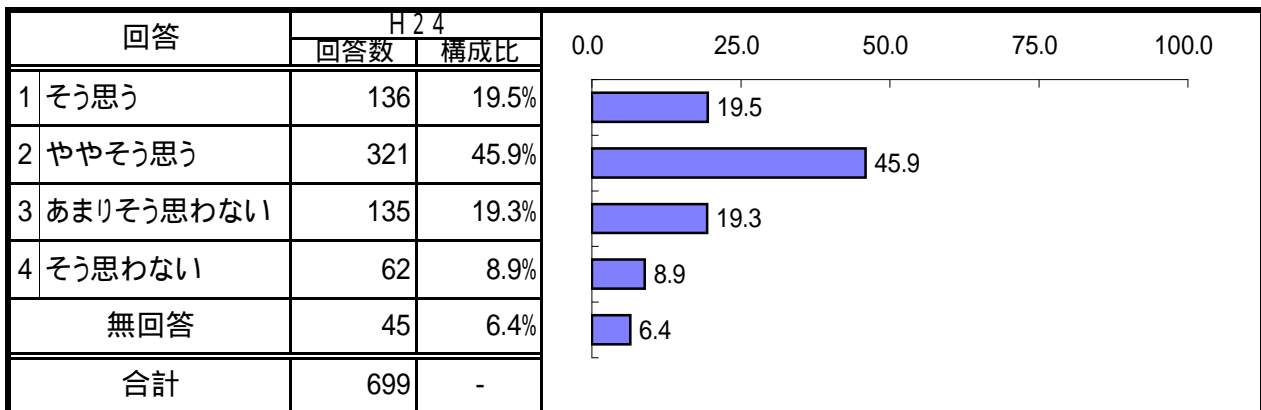


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 制度のしくみに疑問を感じるから	64	21.3%
b 給付が増大していて、安定的な運営に不安を感じるから	63	21.0%
c 社会保障にかかる家計の負担が大きいため	111	37.0%
d 制度の周知が十分でないから	53	17.7%
e その他	9	3.0%
有効回答数	300	-

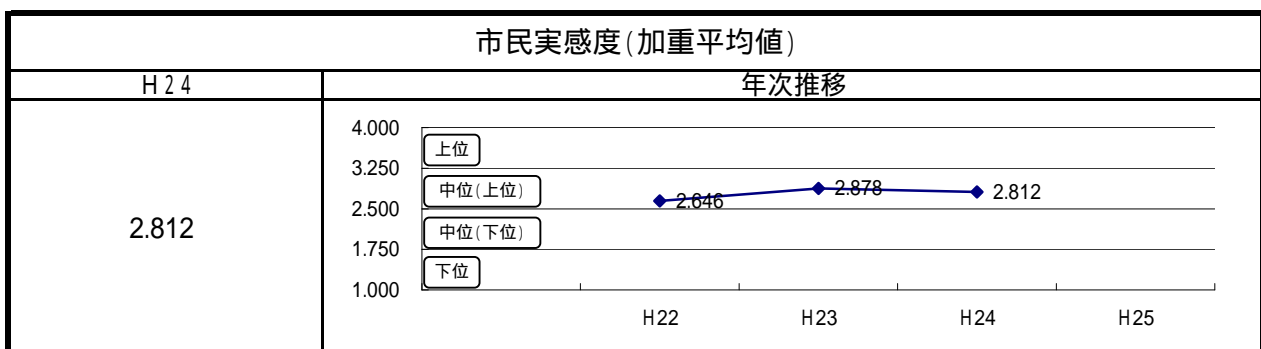


問15-B 安心して子どもを生育てることができる

- 「ややそう思う」が45.9%（321人）、つづいて「そう思う」が19.5%（136人）となっています。
- 市民実感度は、2.812となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人197人のうち、194人がその理由を回答しており、理由として「子育てと仕事を両立できる職場環境が整っていないから」が最も多く、46.4%（90人）となっています。

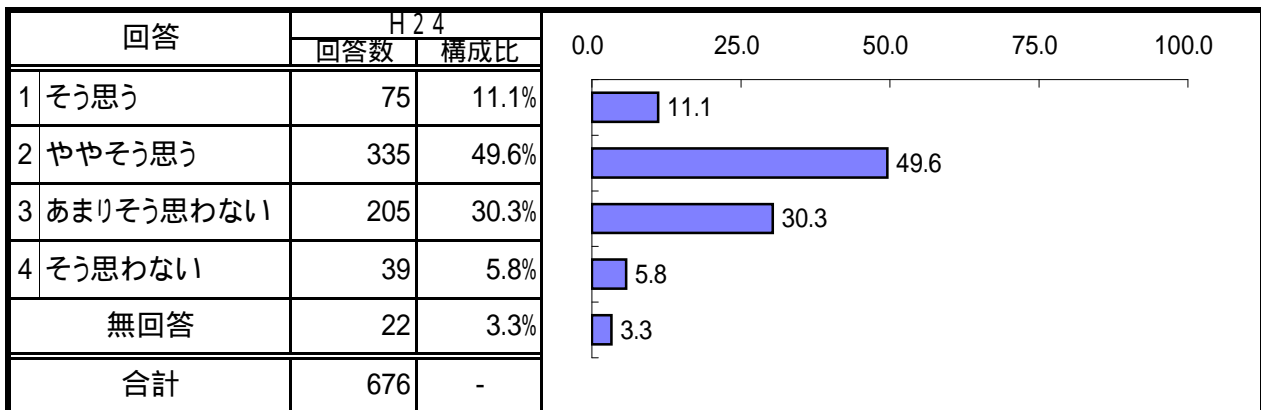


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 利用したい保育サービスが受けられないから	11	5.7%
b 子育てに関する情報が不足しているから	8	4.1%
c 子育てと仕事を両立できる職場環境が整っていないから	90	46.4%
d 経済的な不安があるから	66	34.0%
e その他	19	9.8%
有効回答数	194	-

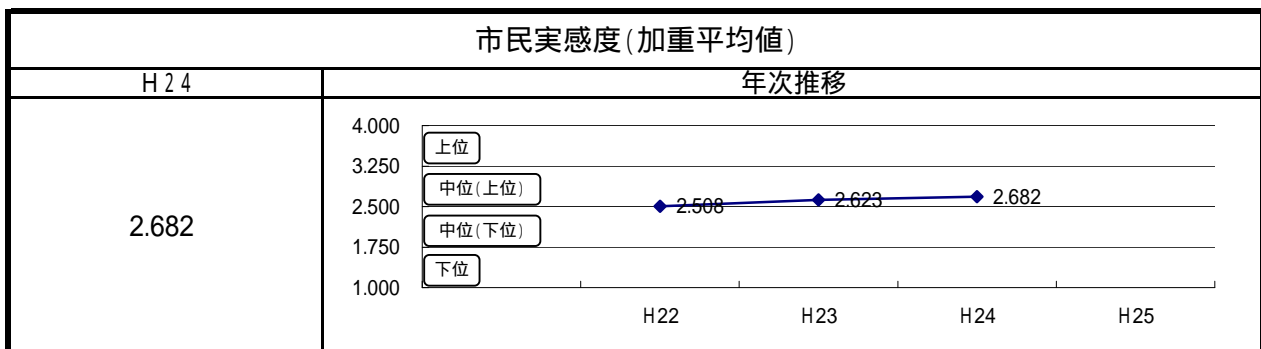


問16-A 青少年が健全に育つ環境が整っている

- 「ややそう思う」が49.6%（335人）、つづいて「あまりそう思わない」が30.3%（205人）となっています。
- 市民実感度は、2.682となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人244人のうち、234人がその理由を回答しており、理由として「家庭や地域における子どものしつけが不足しているから」が最も多く、38.5%（90人）となっています。

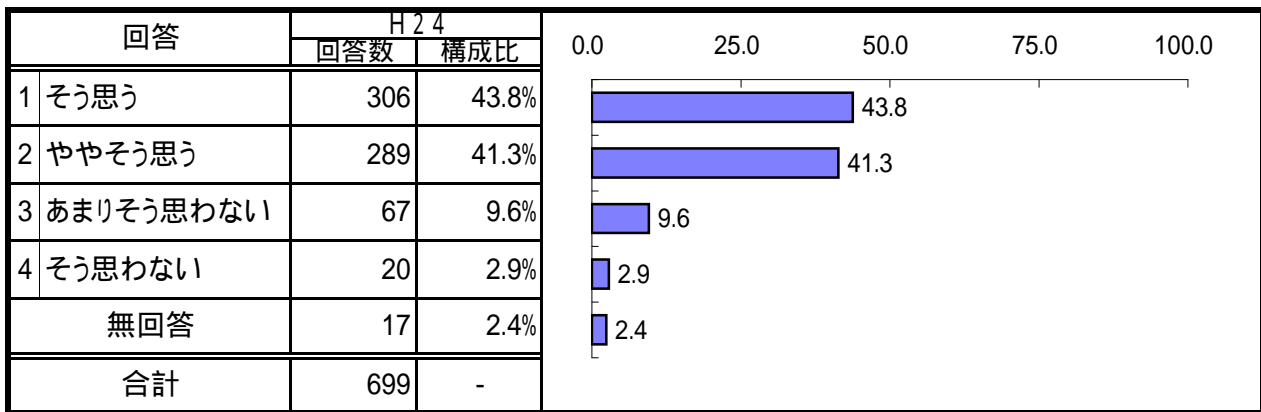


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 家庭や地域における子どものしつけが不足しているから	90	38.5%
b 家庭、地域、学校が連携した活動が不足しているから	40	17.1%
c 青少年の体験活動や社会参加する機会が不足しているから	29	12.4%
d 有害な情報が氾濫するなど、子どもを取り巻く社会環境が悪化しているから	63	26.9%
e その他	12	5.1%
有効回答数	234	-

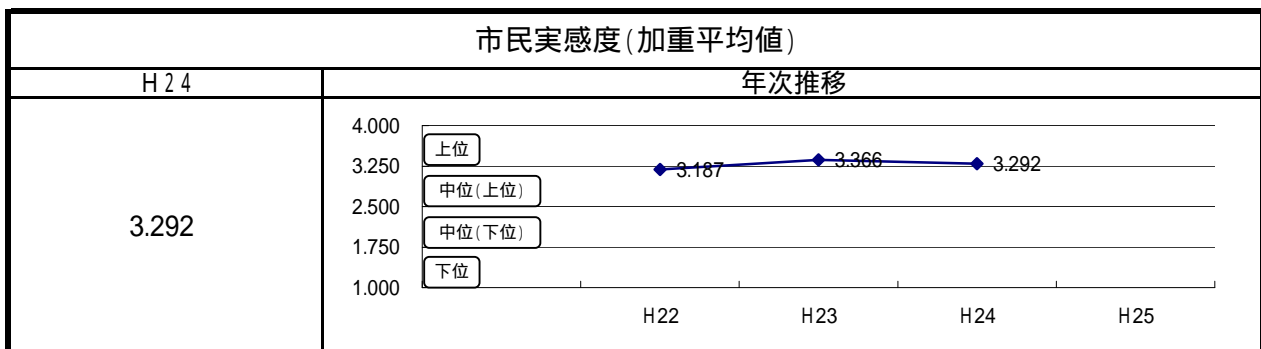


問16-B 安全で良質な農畜産物が生産され、農業に活気がある

- 「そう思う」が43.8% (306人)、つづいて「ややそう思う」が41.3% (289人)となっています。
- 市民実感度は、3.292となっており、上位に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人87人のうち、85人がその理由を回答しており、理由として「地場農畜産物の加工・販売や地域ブランドづくりがすすんでいないから」が最も多く、30.6% (26人)となっています。

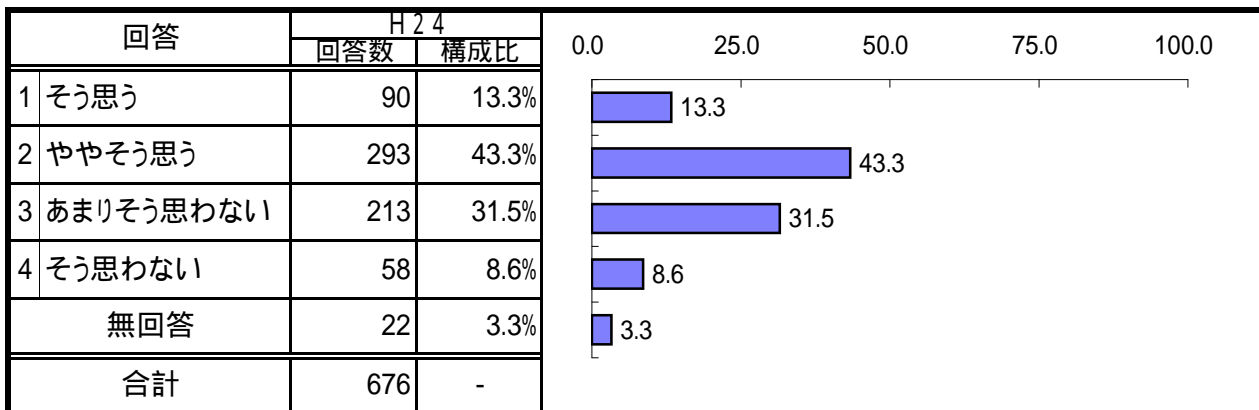


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 安全で良質な地場農畜産物が地元で手に入りやすいから	24	28.2%
b 地場農畜産物の加工・販売や地域ブランドづくりがすすんでいないから	26	30.6%
c 農業や農村に対する理解が促進されていないから	21	24.7%
d その他	14	16.5%
有効回答数	85	-

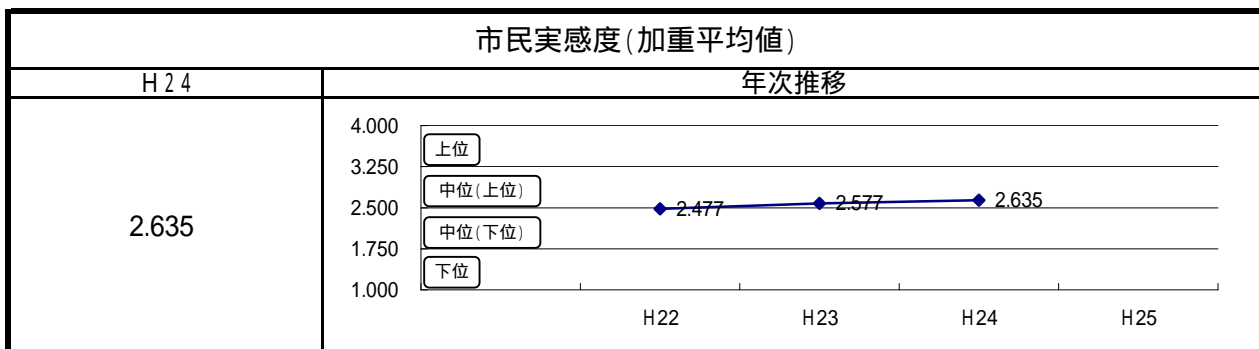


問17-A ものづくり産業に活気がある

- 「ややそう思う」が43.3%（293人）、つづいて「あまりそう思わない」が31.5%（213人）となっています。
- 市民実感度は、2.635となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人271人のうち、256人がその理由を回答しており、理由として「製造業の設備投資、企業立地がすすんでいないから」が最も多く、35.5%（91人）となっています。

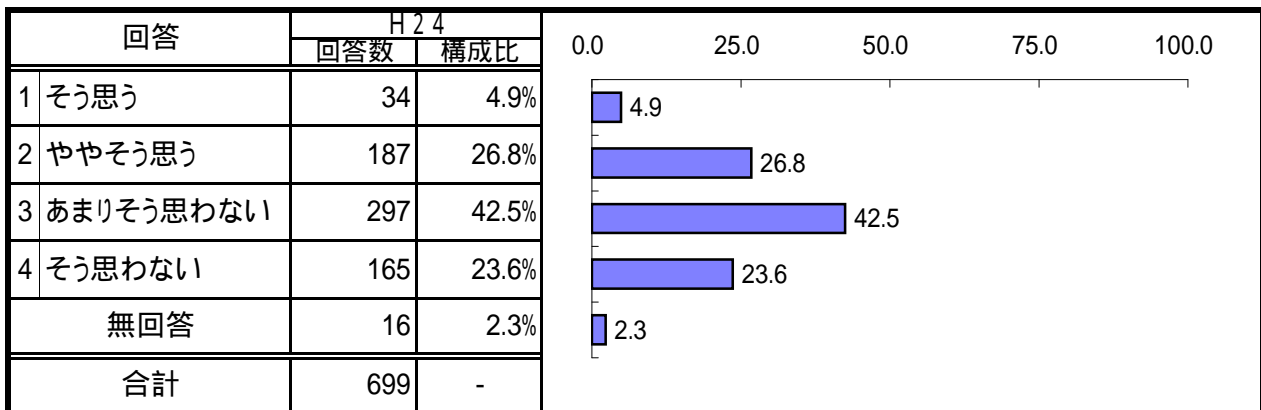


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 地元の資源を活かした新製品の開発が少ないから	82	32.0%
b 地元製品の市場拡大がすすんでいないから	72	28.1%
c 製造業の設備投資、企業立地がすすんでいないから	91	35.5%
d その他	11	4.3%
有効回答数	256	-

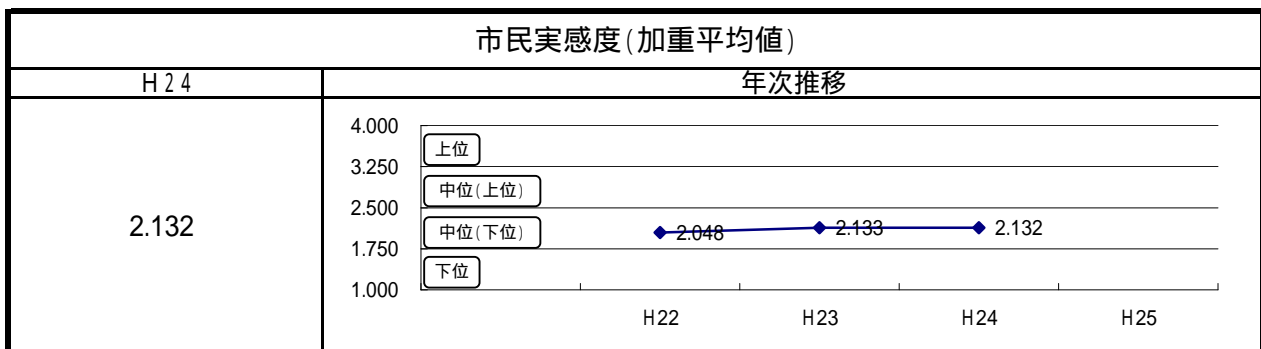


問17-B 商店や商店街に活気がある

- 「あまりそう思わない」が42.5%（297人）、つづいて「ややそう思う」26.8%（187人）となっています。
- 市民実感度は、2.132となっており、中位（下位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人462人のうち、446人がその理由を回答しており、理由として「商店の商品やサービス、設備に魅力がないから」が最も多く、34.5%（154人）となっています。

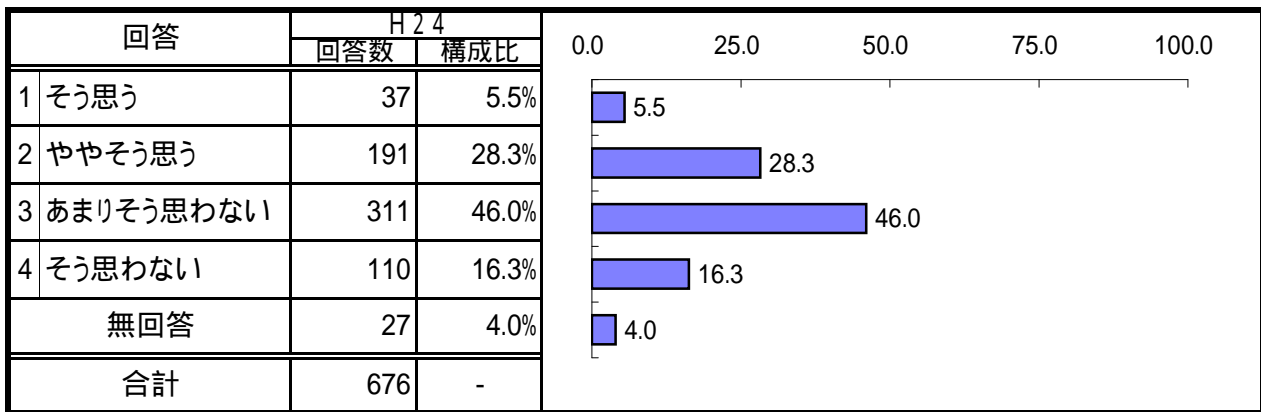


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 商店の商品やサービス、設備に魅力がないから	154	34.5%
b 商店街の道路や歩道、街路灯などの整備が十分でないから	17	3.8%
c 商店街のイベントに魅力がないから	83	18.6%
d 車を利用して、商店や商店街に行くのが不便だから	143	32.1%
e その他	49	11.0%
有効回答数	446	-

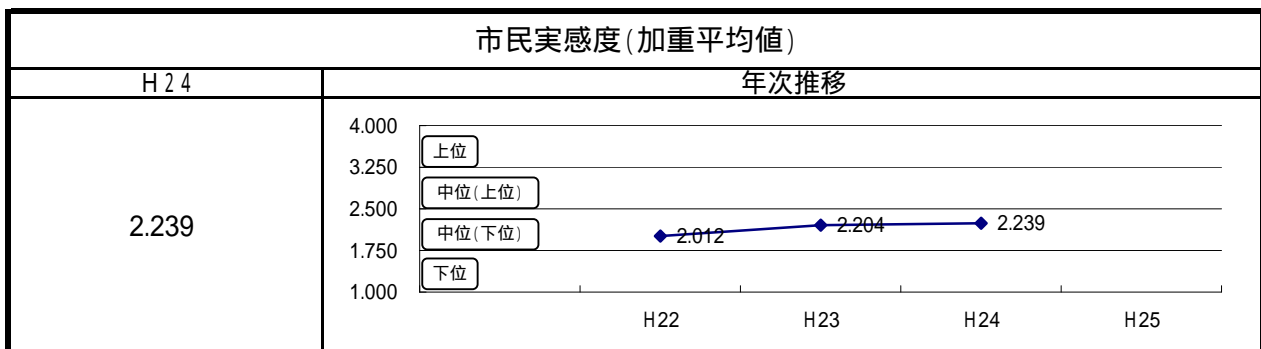


問18-A 地元の企業に活気がある

- 「あまりそう思わない」が46.0%（311人）、つづいて「ややそう思う」が28.3%（191人）となっています。
- 市民実感度は、2.239となっており、中位（下位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人421人のうち、403人がその理由を回答しており、理由として「地元企業の経営が悪化しているから」が最も多く、50.4%（203人）となっています。

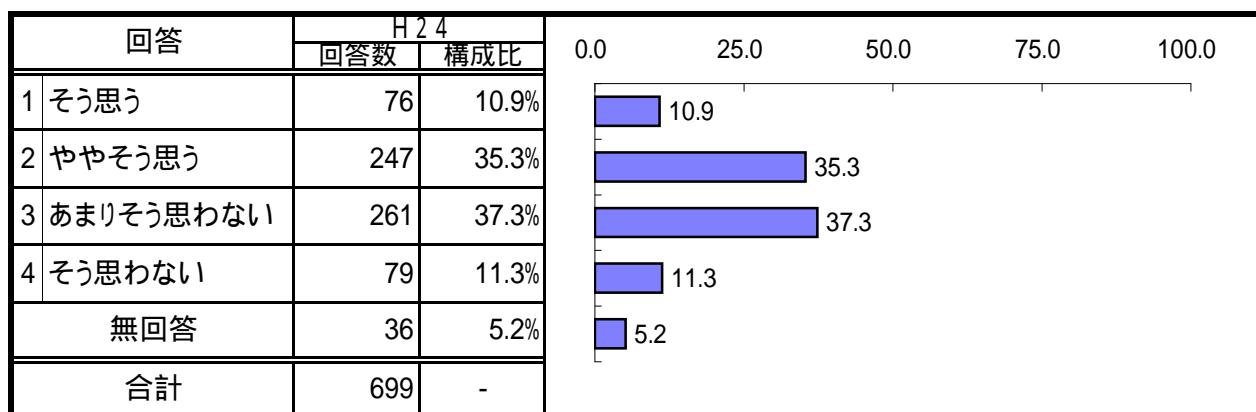


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 地元企業の経営が悪化しているから	203	50.4%
b 中小企業を支える人材が育成されていないから	72	17.9%
c 地元企業の創業・起業や新分野への進出が少ないから	111	27.5%
d その他	17	4.2%
有効回答数	403	-

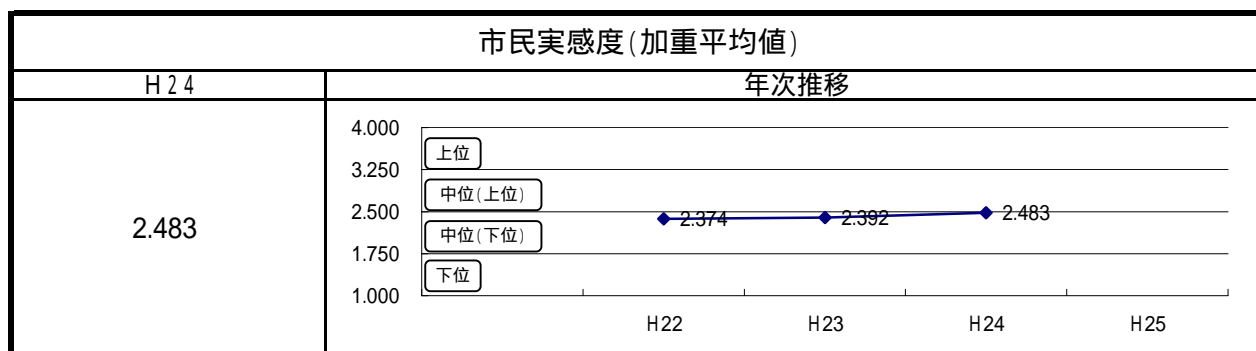


問18-B 企業が大学などと連携し、 新たな製品開発が行われている

- 「あまりそう思わない」が37.3%（261人）、つづいて「ややそう思う」が35.3%（247人）となっています。
- 市民実感度は、2.483となっており、中位（下位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人340人のうち、336人がその理由を回答しており、理由として「具体的な取り組み内容が分からないから」が最も多く、59.2%（199人）となっています。

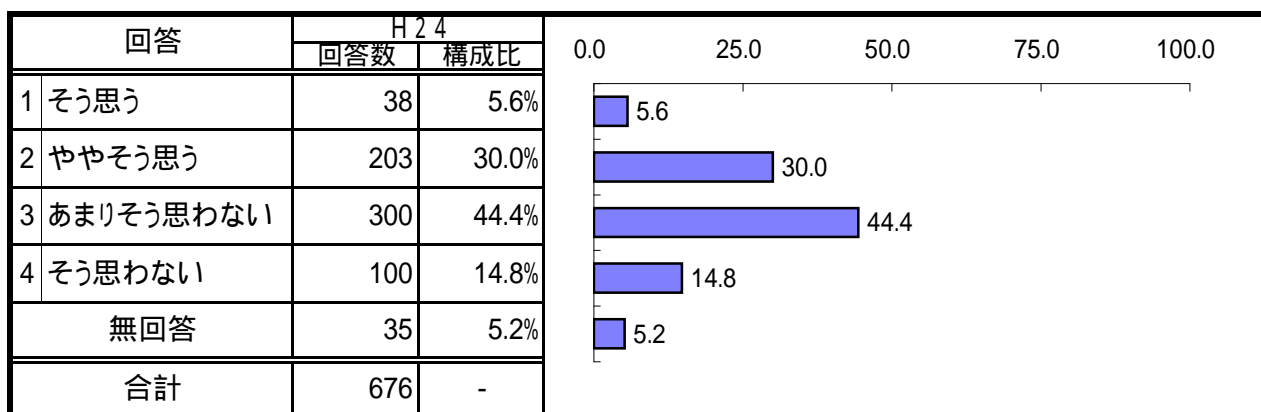


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 地元の農業者と商工業者等との連携がすすんでいないから	24	7.1%
b 地元の企業と大学の連携がすすんでいないから	28	8.3%
c 新たに開発された地元製品のPRが不足しているから	73	21.7%
d 具体的な取り組み内容が分からないから	199	59.2%
e その他	12	3.6%
有効回答数	336	-

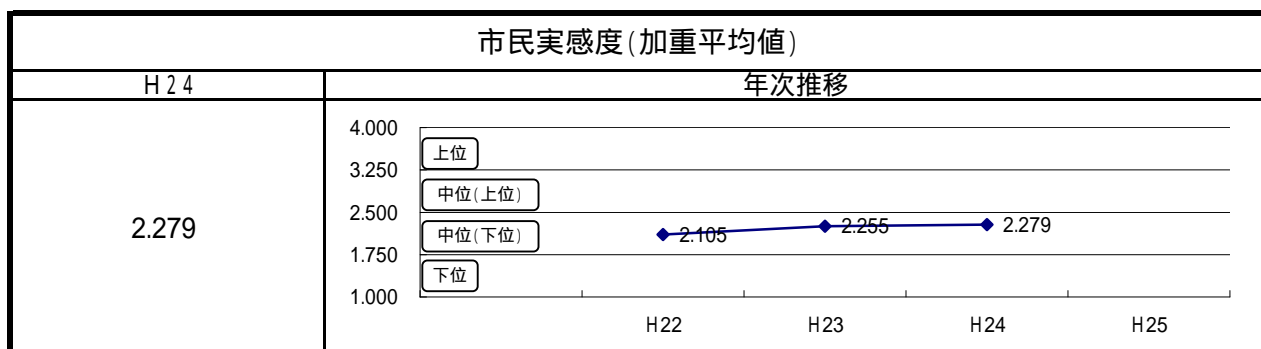


問19-A 意欲と能力に応じて、生き生きと働くことができる

- 「あまりそう思わない」が44.4%（300人）、つづいて「ややそう思う」が30.0%（203人）となっています。
- 市民実感度は、2.279となっており、中位（下位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人400人のうち、391人がその理由を回答しており、理由として「若い人の働く場が少ないから」が最も多く、40.4%（158人）となっています。

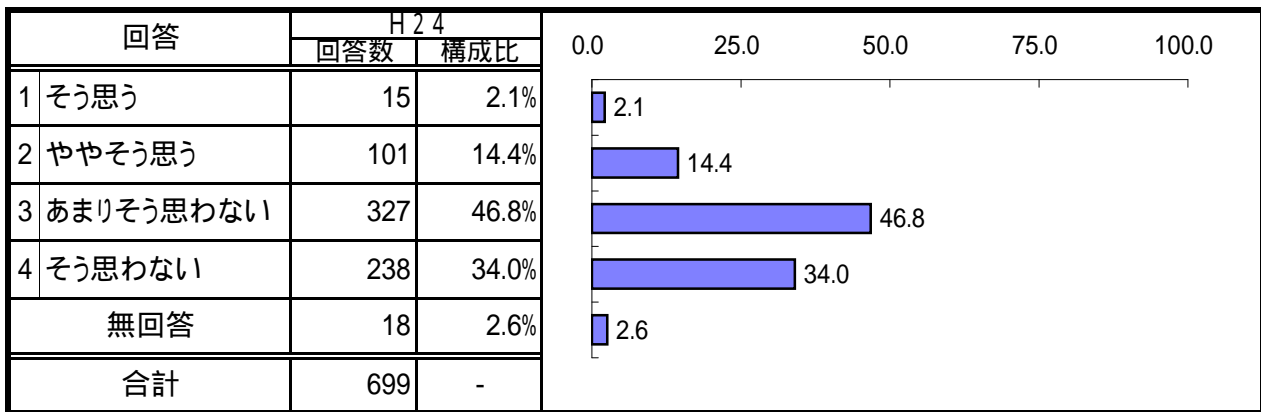


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 若い人の働く場が少ないから	158	40.4%
b 女性や高齢者の働く場が少ないから	98	25.1%
c 能力や経験を活かせる職場が少ないから	83	21.2%
d 会社の福利厚生が整っていないから	37	9.5%
e その他	15	3.8%
有効回答数	391	-

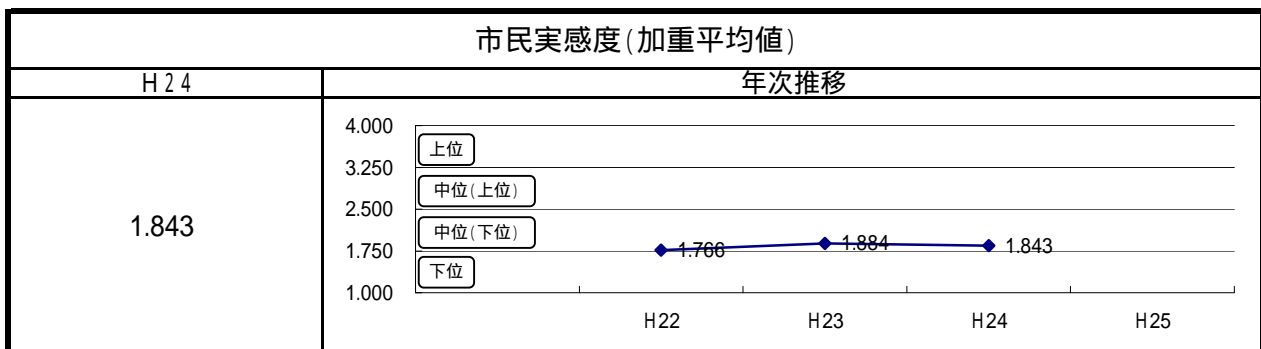


問19-B 中心市街地に魅力とにぎわいがある

- 「あまりそう思わない」が46.8% (327人)、つづいて「そう思わない」が34.0% (238人) となっています。
- 市民実感度は、1.843となっており、中位(下位)に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人565人のうち、552人がその理由を回答しており、理由として「魅力ある店舗が少ないから」が最も多く、63.9% (353人) となっています。

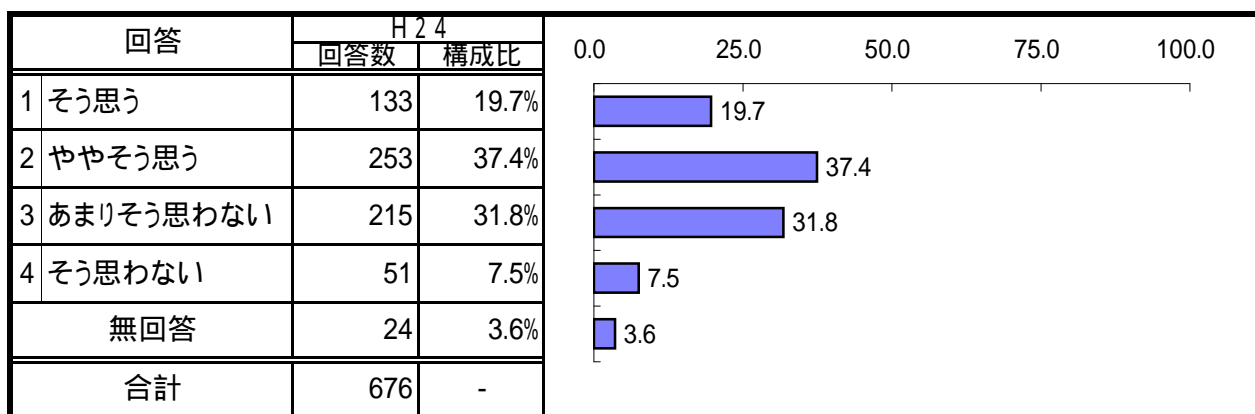


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 魅力ある店舗が少ないから	353	63.9%
b 中心市街地への交通の利便性が悪いから	101	18.3%
c 各種イベントに魅力がないから	65	11.8%
d その他	33	6.0%
有効回答数	552	-

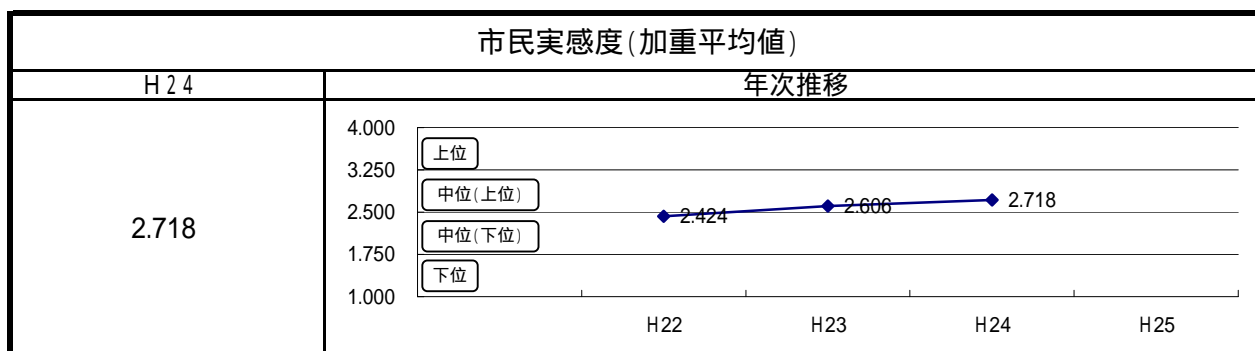


問20-A 自然や特産物など、地域の魅力を活かした観光振興が行われている

- 「ややそう思う」が37.4%（253人）、つづいて「あまりそう思わない」が31.8%（215人）となっています。
- 市民実感度は、2.718となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人266人のうち、261人がその理由を回答しており、理由として「魅力ある観光地が少ないから」が最も多く、50.2%（131人）となっています。

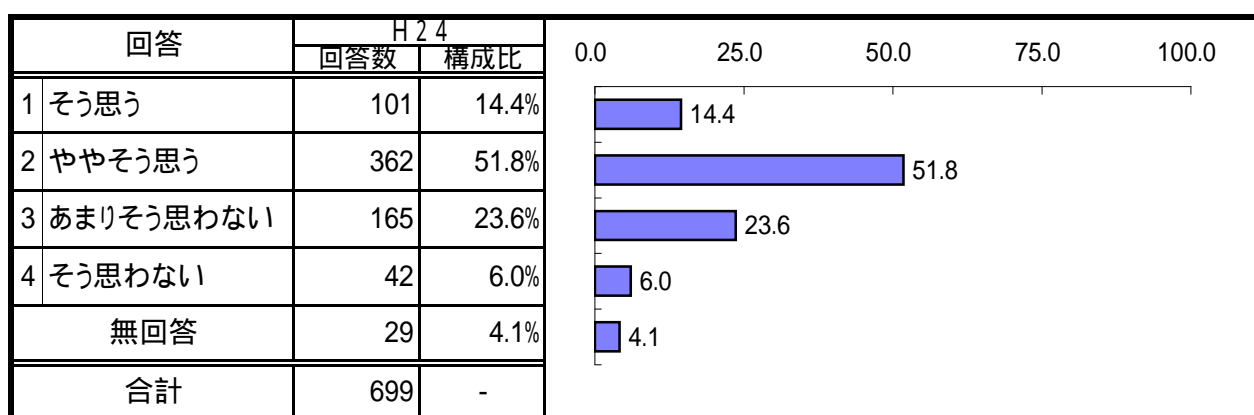


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 魅力ある観光地が少ないから	131	50.2%
b 観光イベントに魅力がないから	62	23.8%
c 観光情報の発信やPRが不足しているから	61	23.4%
d その他	7	2.7%
有効回答数	261	-

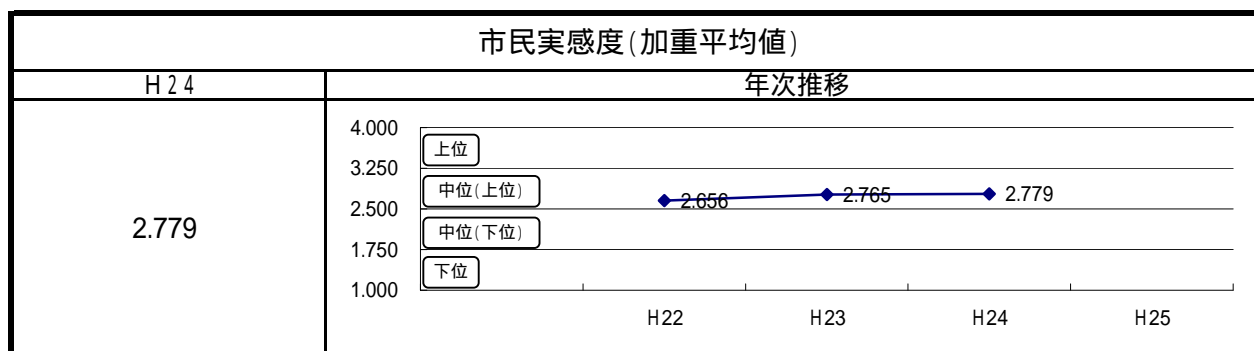


問20-B 自然環境が保全され、環境への負荷を低減する取り組みが行われている

- 「ややそう思う」が51.8%（362人）、つづいて「あまりそう思わない」が23.6%（165人）となっています。
- 市民実感度は、2.779となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人207人のうち、202人がその理由を回答しており、理由として「環境保全に関する意識が低いから」が最も多く、45.5%（92人）となっています。

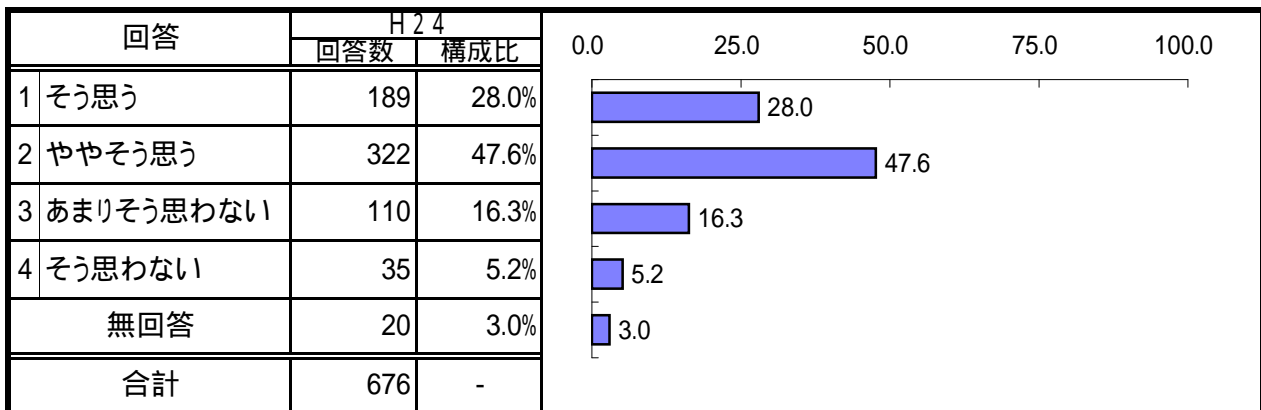


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 環境保全に関する意識が低いから	92	45.5%
b 新エネルギー・省エネルギー機器の導入がすすんでいないから	56	27.7%
c 騒音や悪臭が気になるから	18	8.9%
d 市内の良好な自然環境が守られていないから	26	12.9%
e その他	10	5.0%
有効回答数	202	-

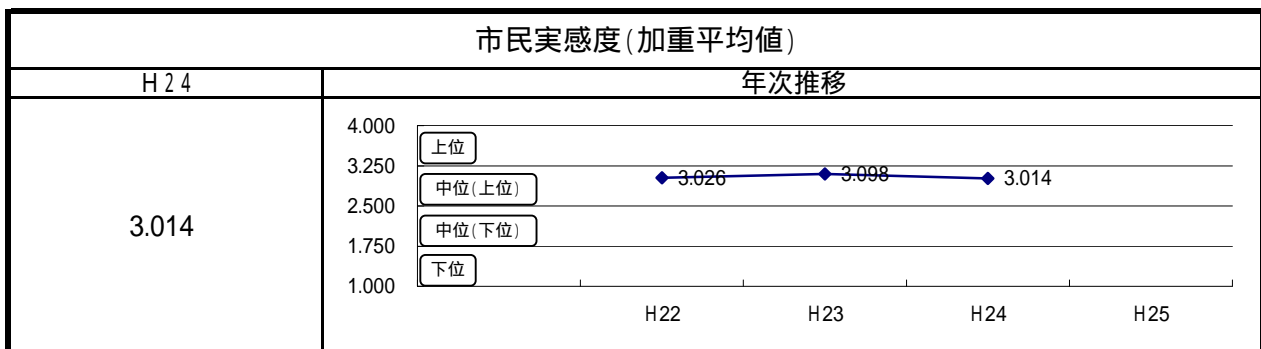


問21-A ごみの減量やリサイクルなど、 廃棄物の資源化や適正な処理が行われている

- 「ややそう思う」が47.6%（322人）、つづいて「そう思う」が28.0%（189人）となっています。
- 市民実感度は、3.014になっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人145人のうち、138人がその理由を回答しており、理由として「ごみの分別や排出日が守られていないから」が最も多く、38.4%（53人）となっています。

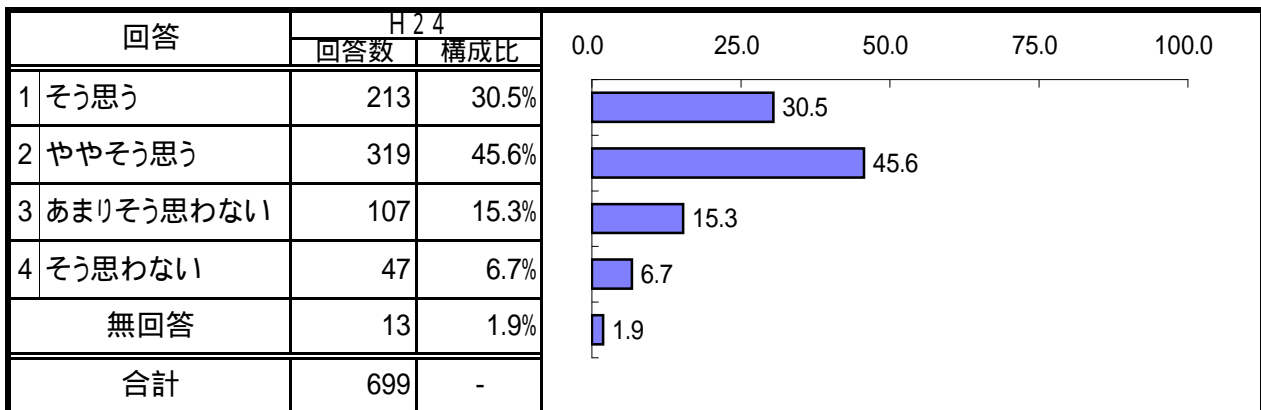


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a ごみの分別や排出日が守られていないから	53	38.4%
b 再使用や資源化に関する意識が低いから	47	34.1%
c 事業者のごみ減量や資源再生利用の意識が低いから	22	15.9%
d その他	16	11.6%
有効回答数	138	-

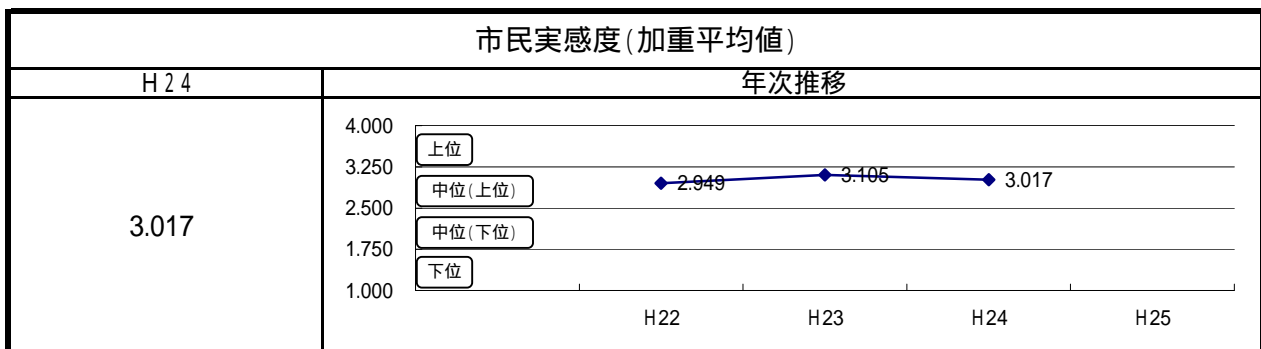


問21-B 公園、街路樹などが良好に管理され、 身近に緑や花に親しむことができる

- 「ややそう思う」が45.6%（319人）、つづいて「そう思う」が30.5%（213人）となっています。
- 市民実感度は、3.017となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人154人のうち、153人がその理由を回答しており、理由として「街路樹の管理が十分に行われていないから」が最も多く、32.7%（50人）となっています。

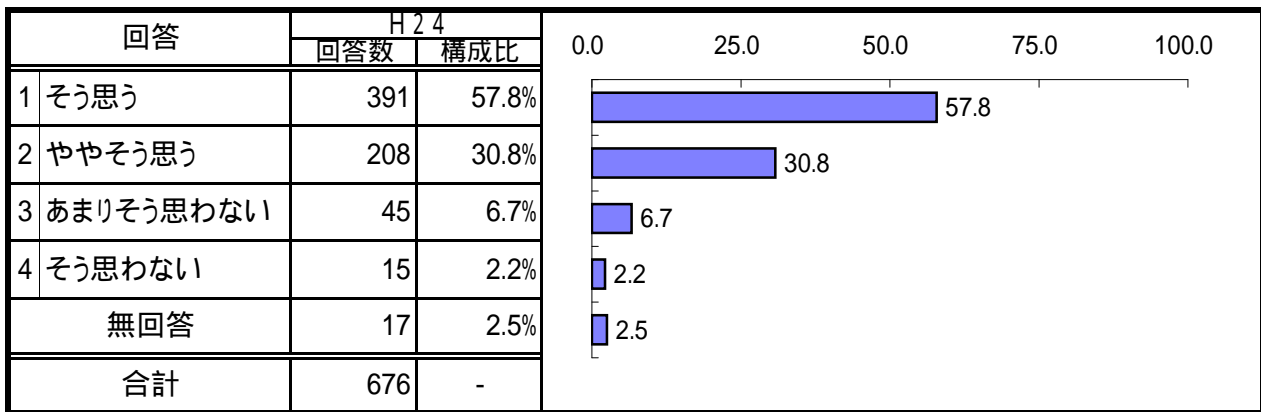


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 身近なところに公園が少ないから	17	11.1%
b 身近なところに緑が少ないから	13	8.5%
c 公園の管理が十分に行われていないから	33	21.6%
d 街路樹の管理が十分に行われていないから	50	32.7%
e 緑化に関する意識が低いから	23	15.0%
f その他	17	11.1%
有効回答数	153	-

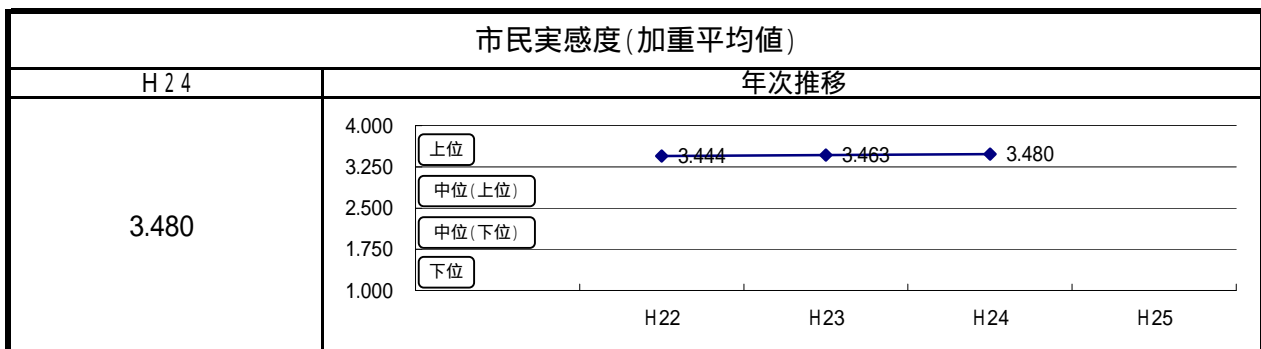


問22-A おいしい水道水が、いつでも安心して利用できる

- 「そう思う」が57.8% (391人)、つづいて「ややそう思う」が30.8% (208人)となっています。
- 市民実感度は、3.480となっており、上位に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人60人のうち、57人がその理由を回答しており、理由として「水道水がおいしいと感じないから」が最も多く、54.4% (31人)となっています。



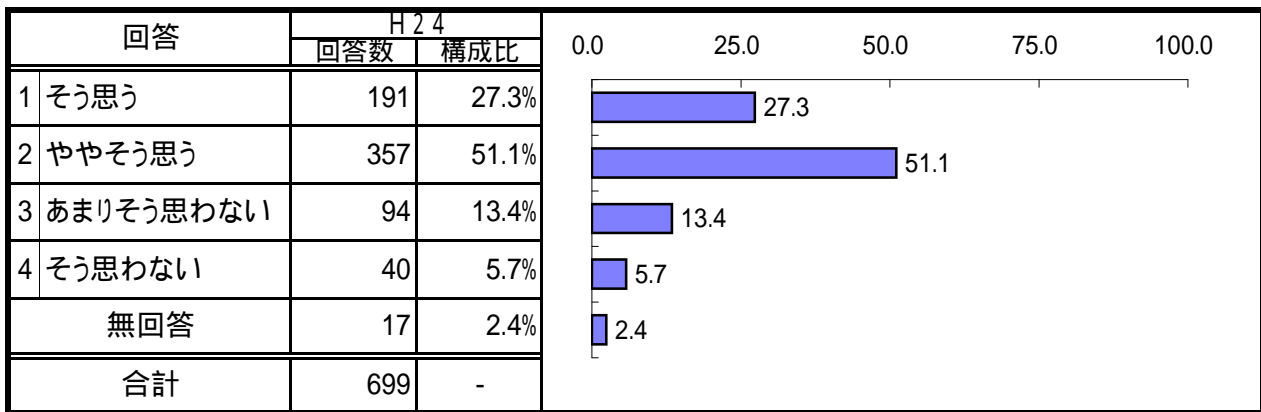
上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 水道水がおいしいと感じないから	31	54.4%
b 断水や濁水などが発生したことがあるから	4	7.0%
c 災害時の不安があるから	16	28.1%
d その他	6	10.5%
有効回答数	57	-



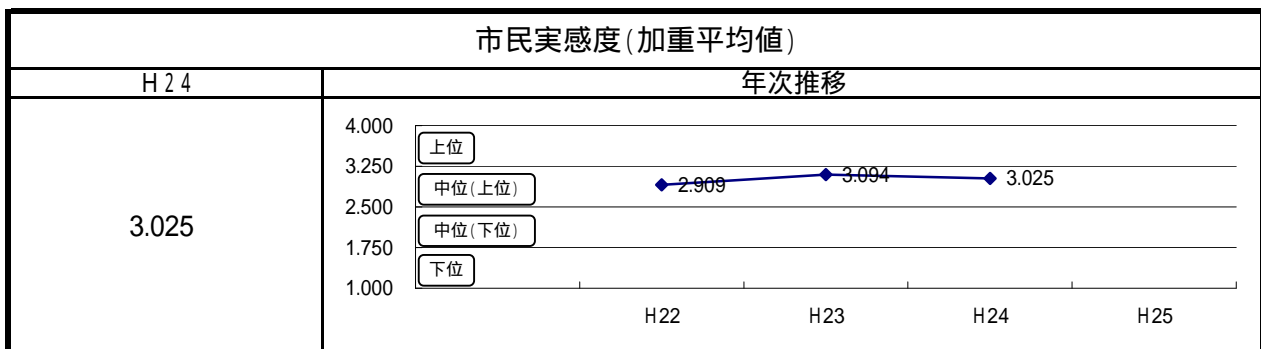


問22-B 生活廃水や雨水が適切に処理されている

- ☞ 「ややそう思う」が51.1%（357人）、つづいて「そう思う」が27.3%（191人）となっています。
- ☞ 市民実感度は、3.025となっており、中位（上位）に位置しています。
- ☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人134人のうち、131人がその理由を回答しており、理由として「降雨時に浸水するところがあるから」が最も多く、45.8%（60人）となっています。



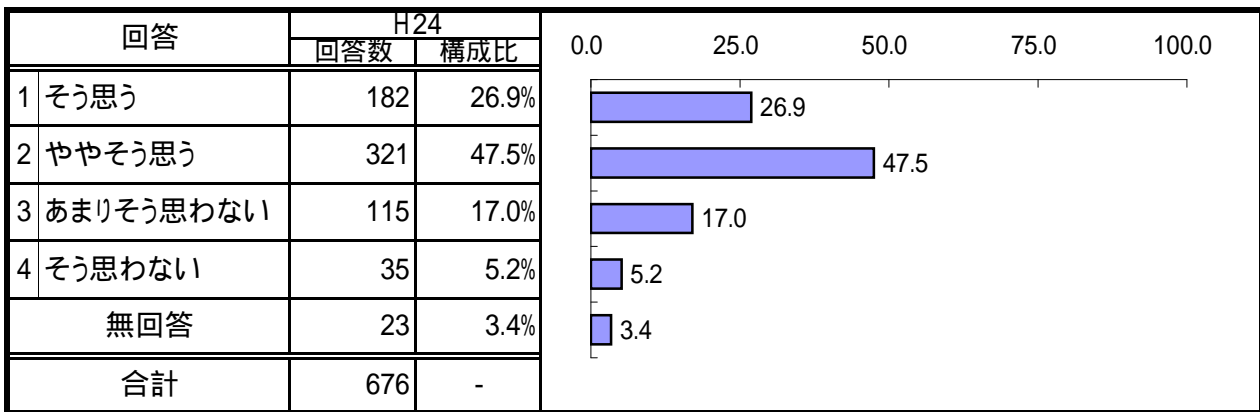
上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 下水道が普及していないところがあるから	17	13.0%
b 降雨時に浸水するところがあるから	60	45.8%
c 災害時の不安があるから	44	33.6%
d その他	10	7.6%
有効回答数	131	-



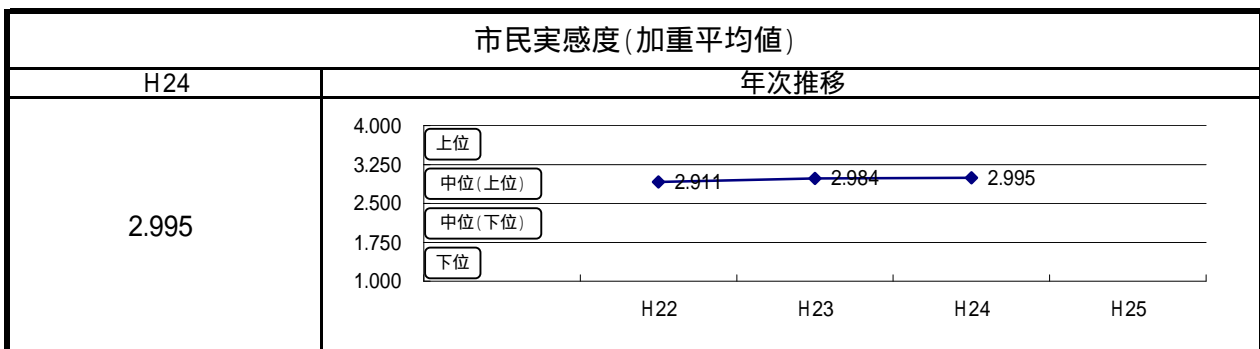


問23-A 快適で住みやすい居住空間が確保されている

- ☞ 「ややそう思う」が47.5%(321人)、つづいて「そう思う」が26.9%(182人)となっています。
- ☞ 市民実感度は、2.995となっており、中位(上位)に位置しています。
- ☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人150人のうち、145人がその理由を回答しており、理由として「住宅地の価格が高いから」が最も多く、36.6%(53人)となっています。

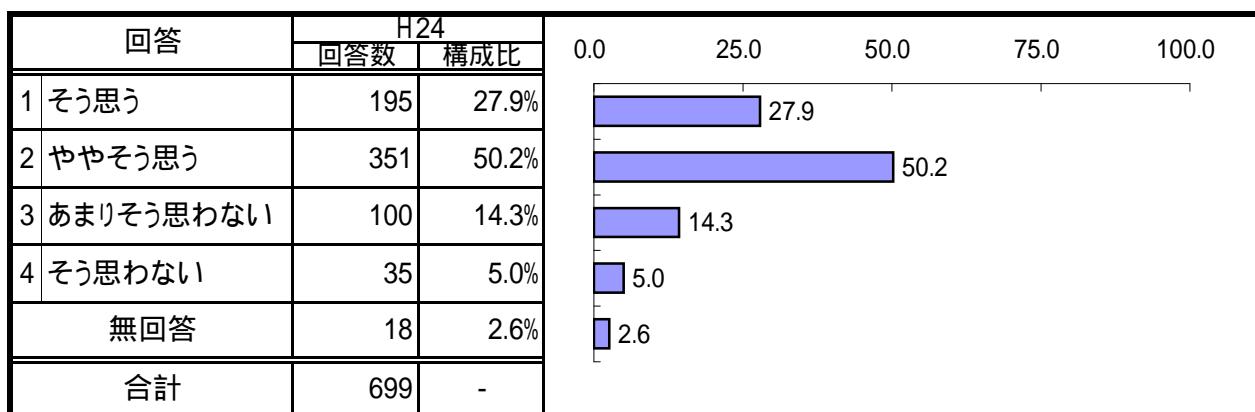


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 住宅地の価格が高いから	53	36.6%
b 住宅や住宅地に関する情報が少ないから	28	19.3%
c 公営住宅を希望しても入れないから	45	31.0%
d その他	19	13.1%
有効回答数	145	-

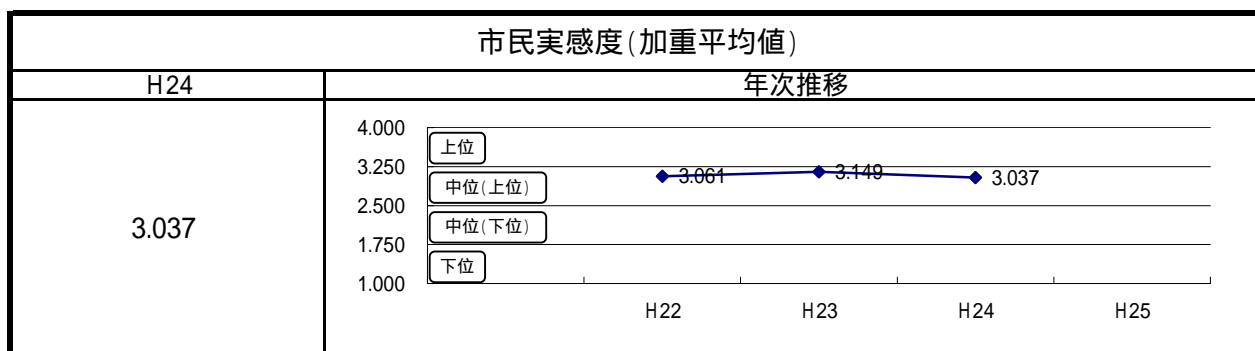


問23-B 都市部や農村部において、
帯広・十勝らしい景観が形成されている

- 「ややそう思う」が50.2%（351人）、つづいて「そう思う」が27.9%（195人）となっています。
- 市民実感度は、3.037となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人135人のうち、131人がその理由を回答しており、理由として「景観を見て楽しめる場所が少ないから」が最も多く、60.3%（79人）となっています。

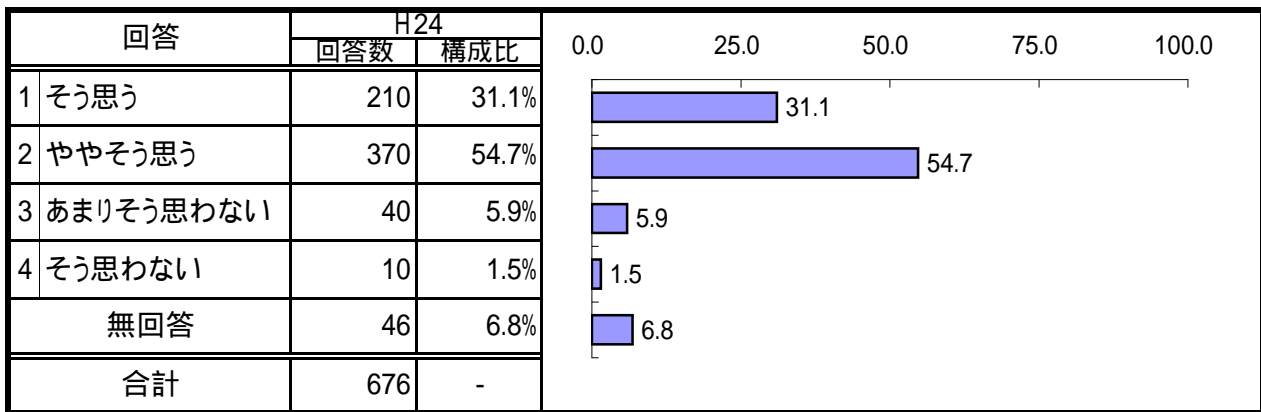


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 駅周辺の景観が損なわれているから	21	16.0%
b 駅周辺以外の市街地の景観が損なわれているから	17	13.0%
c 農村部・山林部の景観が損なわれているから	7	5.3%
d 景観を見て楽しめる場所が少ないから	79	60.3%
e その他	7	5.3%
有効回答数	131	-

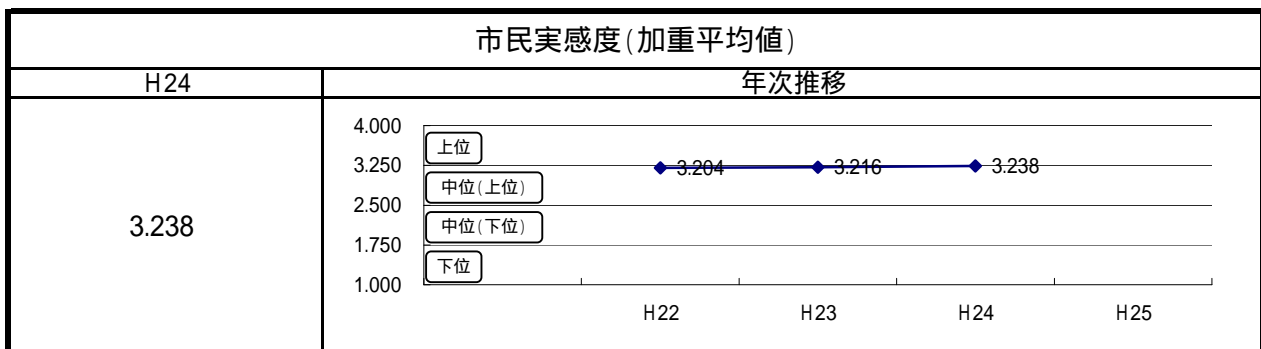


問24-A 墓地の整備や火葬場の管理運営が適切に行われている

- 「ややそう思う」が54.7%（370人）、つづいて「そう思う」が31.1%（210人）となっています。
- 市民実感度は、3.238となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人50人のうち、44人がその理由を回答しており、理由として「市民ニーズに対応した墓地が提供されていないから」が最も多く、56.8%（25人）となっています。

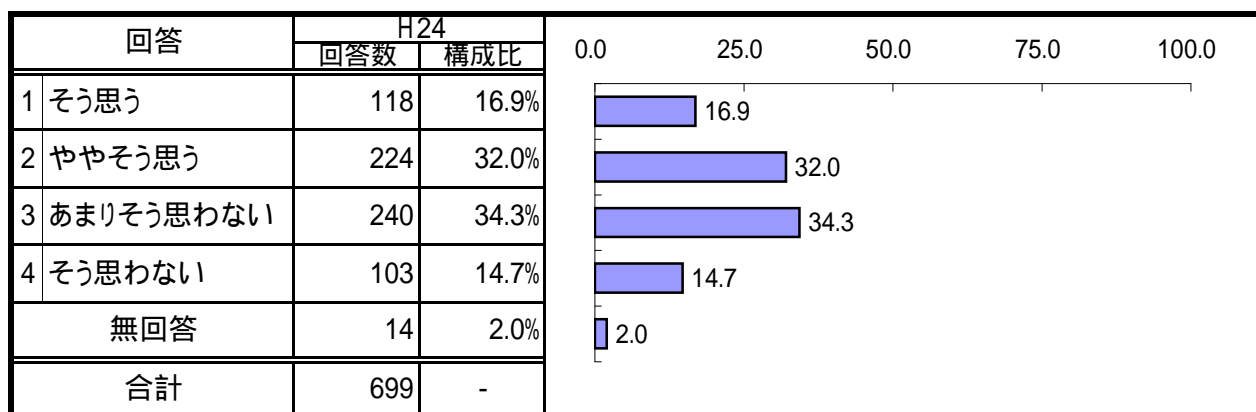


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 市民ニーズに対応した墓地が提供されていないから	25	56.8%
b 墓地の管理が十分でないから	8	18.2%
c 火葬場の管理が十分でないから	5	11.4%
d その他	6	13.6%
有効回答数	44	-

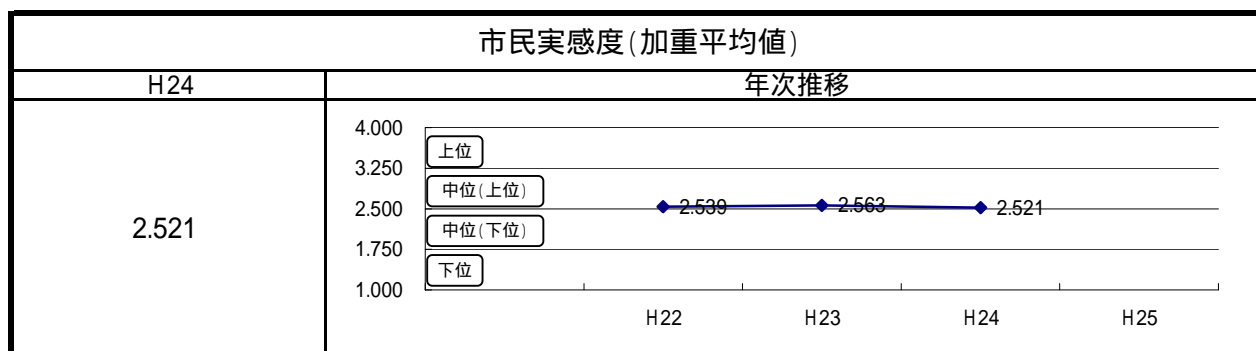


問24-B 幹線道路や生活道路が整備されており、安全に通行できる

- 「あまりそう思わない」が34.3%（240人）、つづいて「ややそう思う」が32.0%（224人）となっています。
- 市民実感度は、2.521となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人343人のうち、337人がその理由を回答しており、理由として「道路や歩道の除雪が十分でないから」が最も多く、69.1%（233人）となっています。

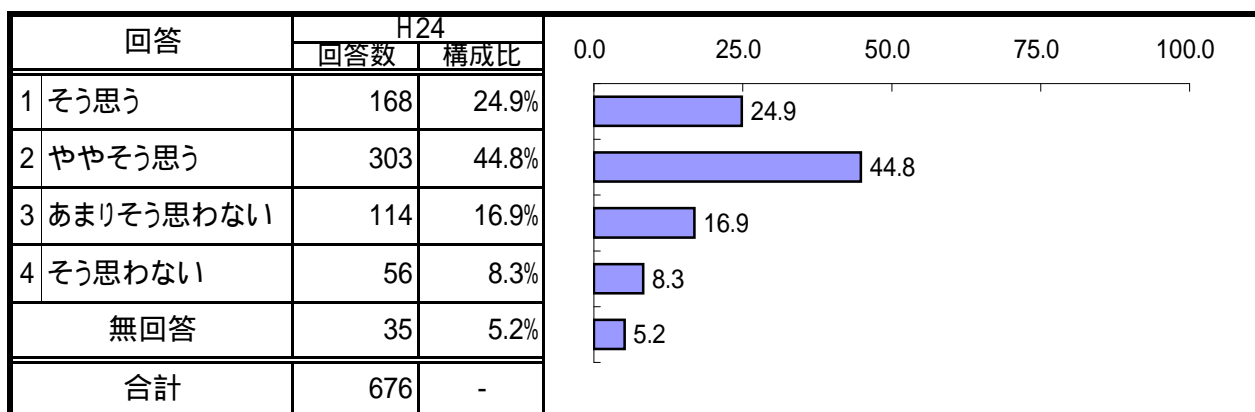


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 整備されていない道路があるから	48	14.2%
b 道路が適切に維持管理されていないから	42	12.5%
c 道路や歩道の除雪が十分でないから	233	69.1%
d その他	14	4.2%
有効回答数	337	-

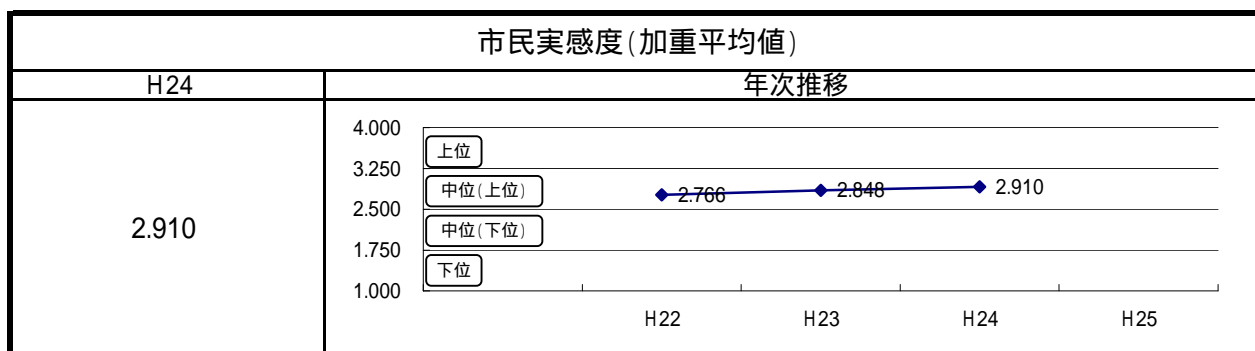


問25-A 空港、バス、高速道路など、 交通の利便性が確保されている

- 「ややそう思う」が44.8%（303人）、つづいて「そう思う」が24.9%（168人）となっています。
- 市民実感度は、2.910となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人170人のうち、166人がその理由を回答しており、理由として「バスの利便性が良くないから」が最も多く、52.4%（87人）となっています。

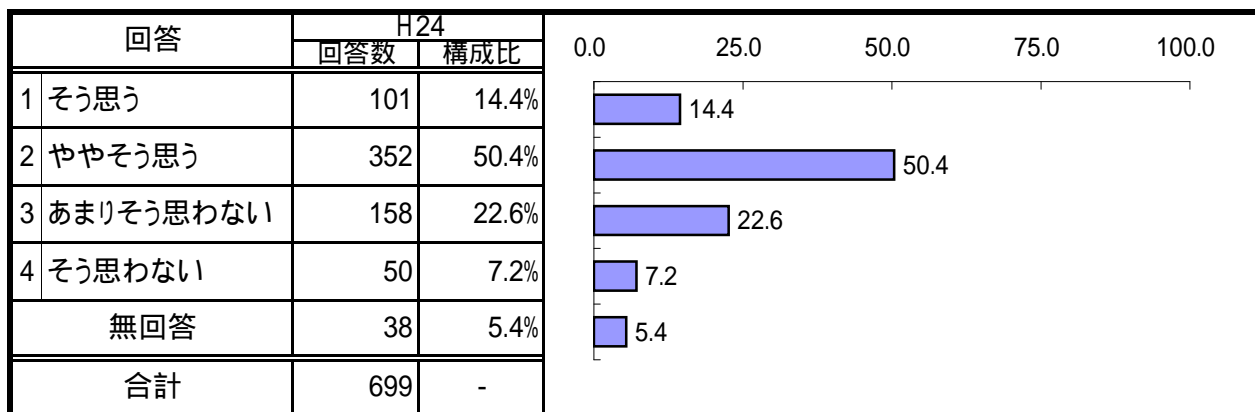


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 航空の利便性が良くないから	48	28.9%
b 鉄道の利便性が良くないから	9	5.4%
c バスの利便性が良くないから	87	52.4%
d 高速道路の利便性が良くないから	12	7.2%
e その他	10	6.0%
有効回答数	166	-

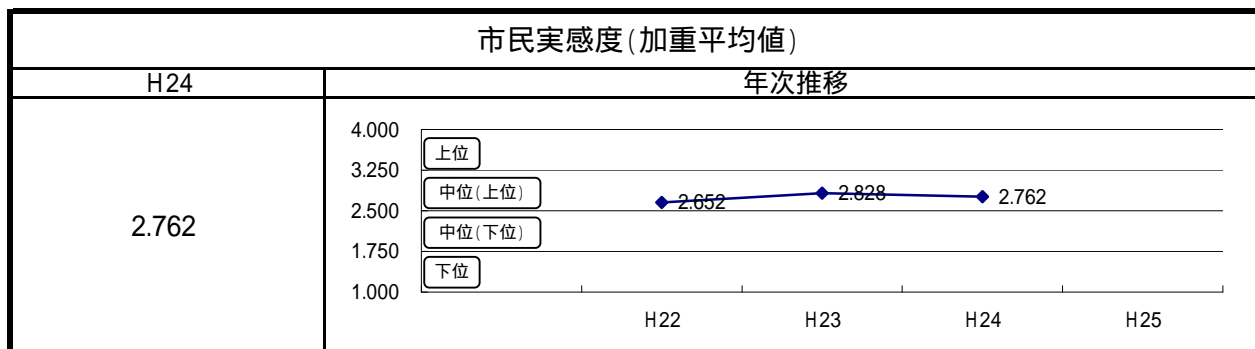


問25-B 高速インターネットなど、情報通信サービスを日常生活や仕事に活用できる環境が整っている

- 「ややそう思う」が50.4%（352人）、つづいて「あまりそう思わない」が22.6%（158人）となっています。
- 市民実感度は、2.762となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人208人のうち、205人がその理由を回答しており、理由として「パソコンやインターネットの使い方が分からないから」が最も多く、57.1%（117人）となっています。



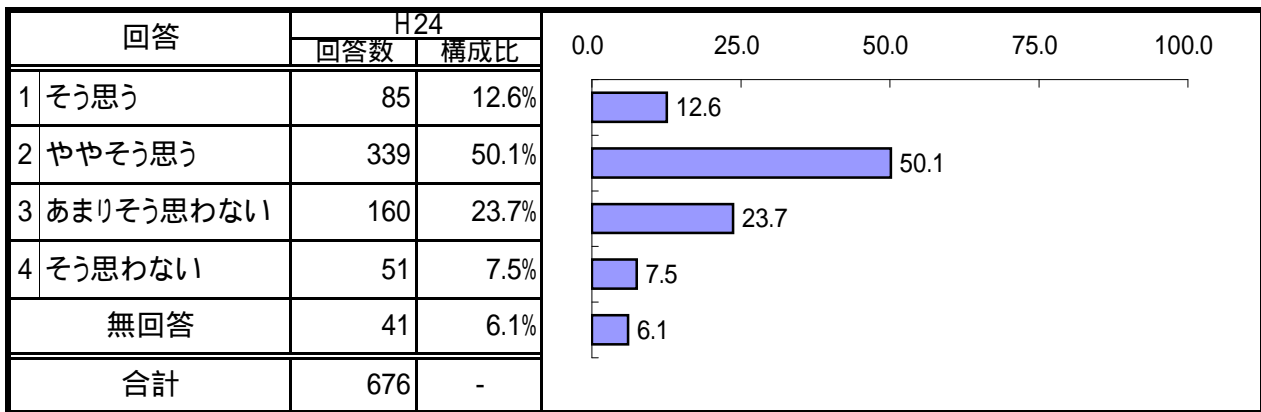
上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 高速インターネットを利用できる環境が整っていないから	29	14.1%
b パソコンやインターネットの使い方が分からないから	117	57.1%
c 利用したい情報サービスが少ないから	47	22.9%
d その他	12	5.9%
有効回答数	205	-



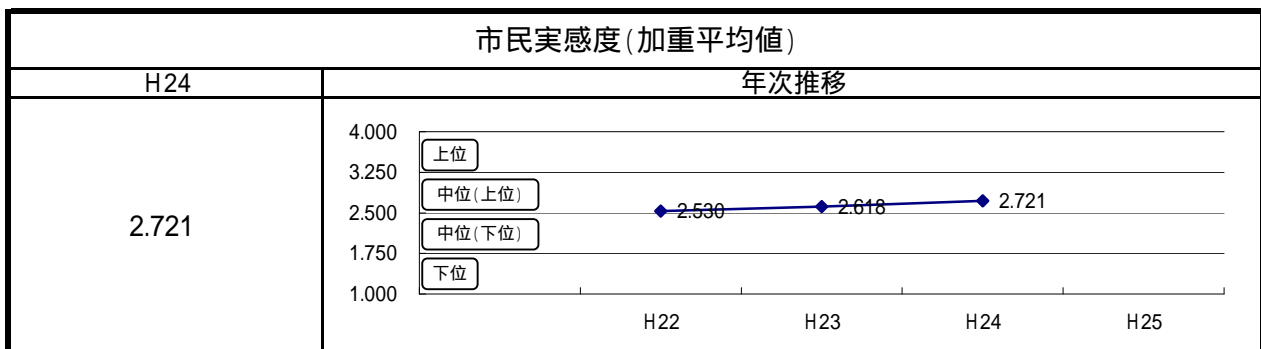


問26-A 小学校・中学校において充実した教育が行われている

- ☞ 「ややそう思う」が50.1%（339人）、つづいて「あまりそう思わない」が23.7%（160人）となっています。
- ☞ 市民実感度は、2.721となっており、中位（上位）に位置しています。
- ☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人211人のうち、206人がその理由を回答しており、理由として「教師の指導力が不足しているから」が最も多く、35.4%（73人）となっています。

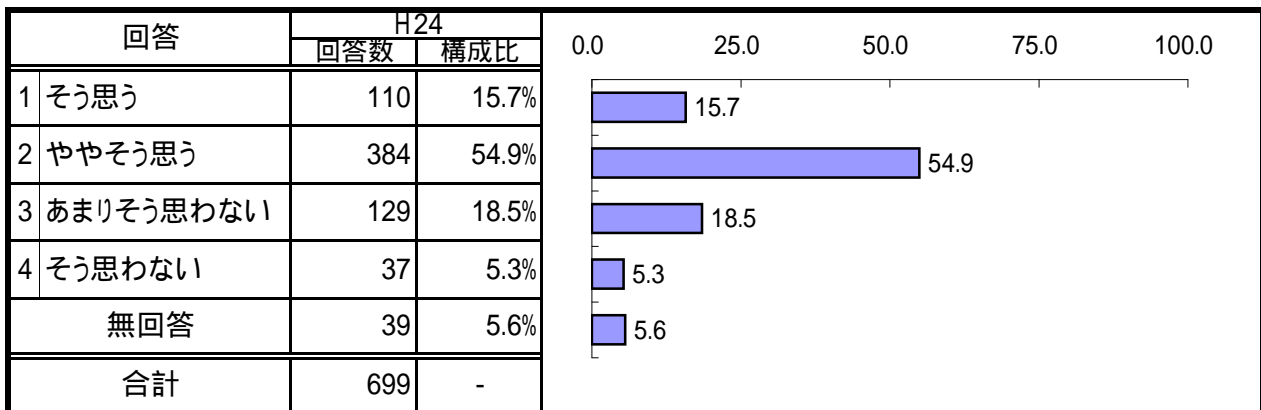


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 子どもの学力が低下しているから	41	19.9%
b 子どもの体力が低下しているから	14	6.8%
c 子どもの道徳心が育っていないから	64	31.1%
d 教師の指導力が不足しているから	73	35.4%
e その他	14	6.8%
有効回答数	206	-

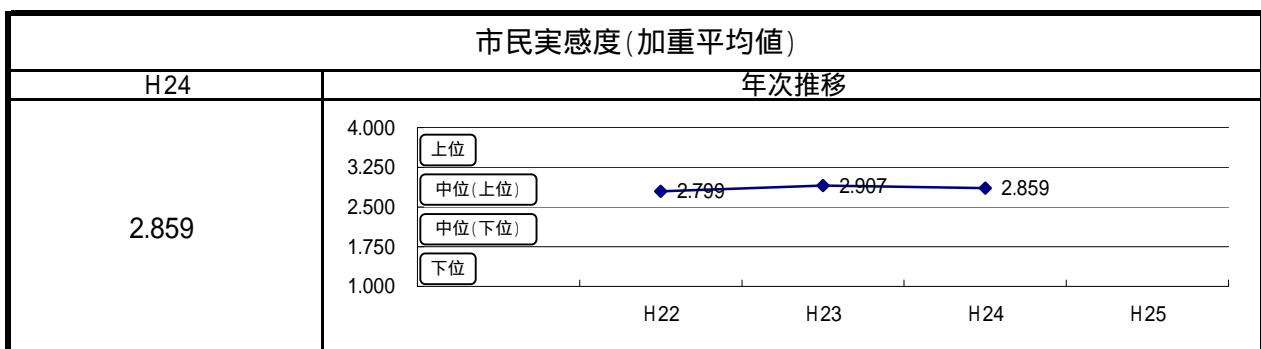


問26-B 子どもたちが安心して学べる教育環境が整っている

- 「ややそう思う」が54.9%（384人）、つづいて「あまりそう思わない」が18.5%（129人）となっています。
- 市民実感度は、2.859となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人166人のうち、157人がその理由を回答しており、理由として「学校施設の改修や耐震化がすすんでいないから」が最も多く、28.0%（44人）となっています。

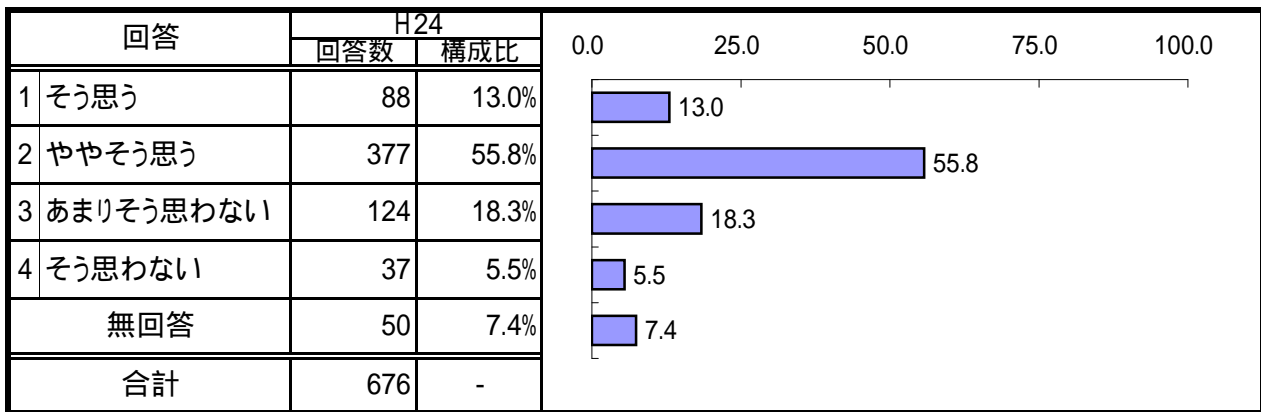


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 学校施設の改修や耐震化がすすんでいないから	44	28.0%
b 特別な支援が必要な子どもたちの教育環境が十分でないから	40	25.5%
c 教育に関する情報が、保護者に十分に提供されていないから	43	27.4%
d その他	30	19.1%
有効回答数	157	-

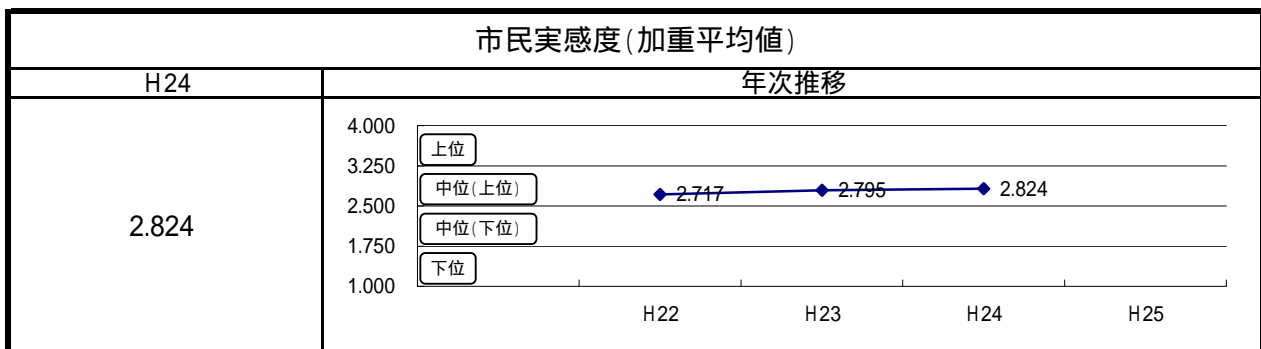


問27-A 高等学校において充実した教育が行われている

- 「ややそう思う」が55.8%（377人）、つづいて「あまりそう思わない」が18.3%（124人）となっています。
- 市民実感度は、2.824となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人161人のうち、154人がその理由を回答しており、理由として「社会性を育む教育が行われていないから」が最も多く、60.4%（93人）となっています。

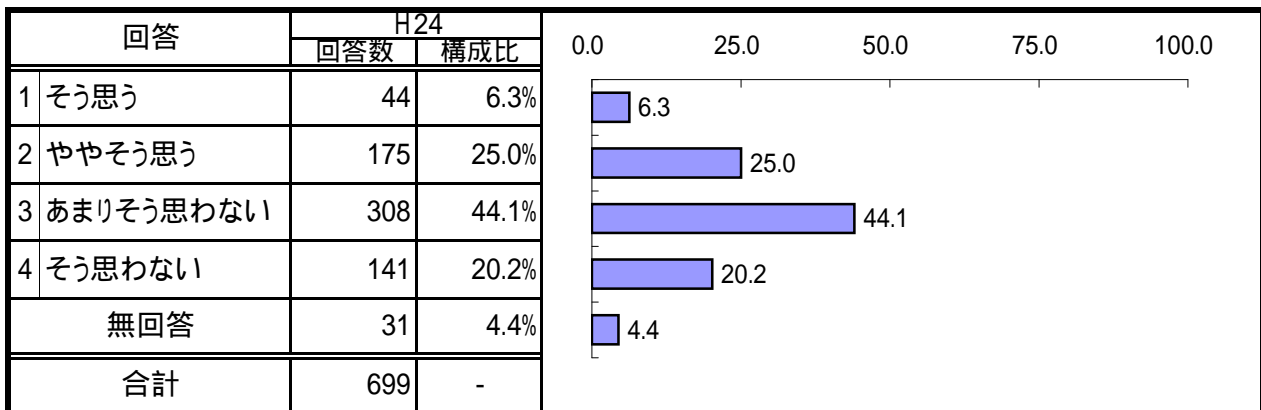


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 特色ある教育が行われていないから	24	15.6%
b 学習内容が身につけていないから	23	14.9%
c 社会性を育む教育が行われていないから	93	60.4%
d その他	14	9.1%
有効回答数	154	-

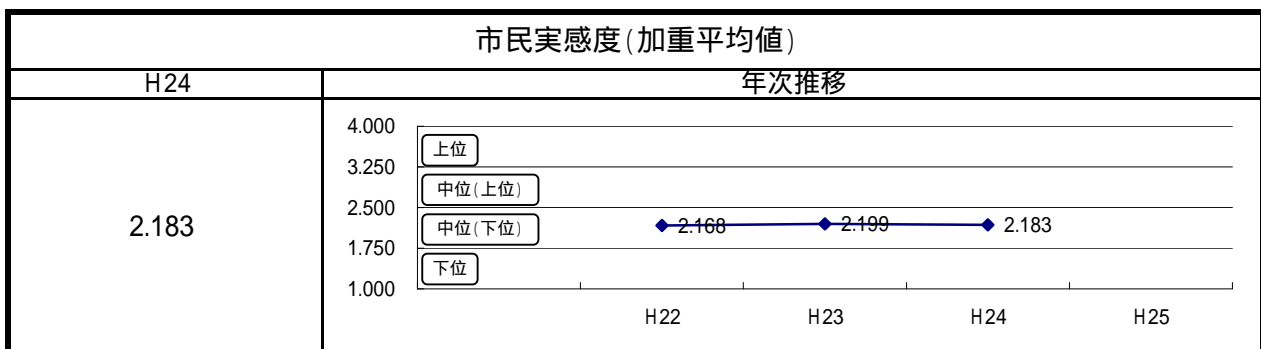


問27-B 大学や専修学校など、 高度な教育を受けることができる環境が整っている

- 「あまりそう思わない」が44.1% (308人)、つづいて「ややそう思う」が25.0% (175人) となっています。
- 市民実感度は、2.183となっており、中位(下位)に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人449人のうち、444人がその理由を回答しており、理由として「大学や短大、資格を取得できる専修学校が少ないから」が最も多く、69.8% (310人) となっています。

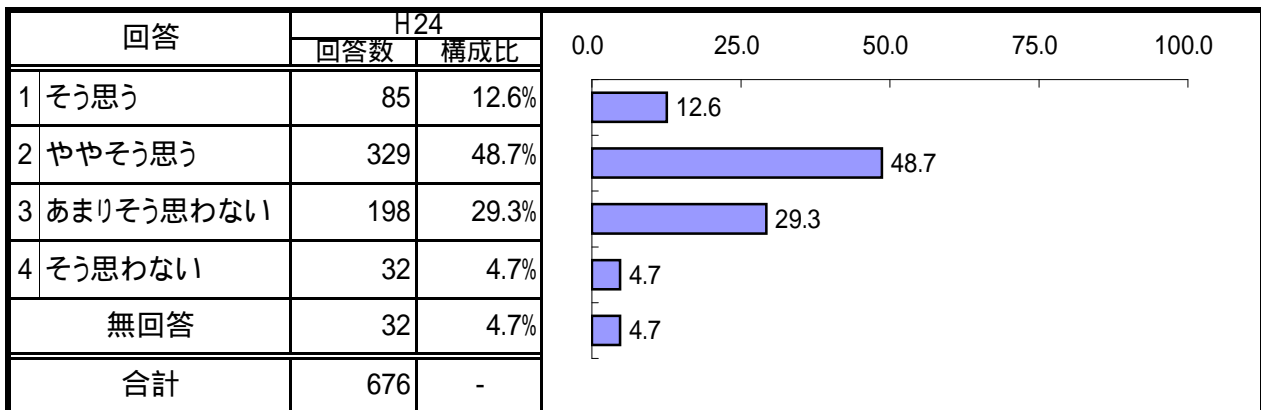


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 大学や短大、資格を取得できる専修学校が少ないから	310	69.8%
b 働きながら大学などの専門的な教育を受けることができる環境が整っていないから	88	19.8%
c 大学などを活用した市民の生涯学習機会が充実していないから	36	8.1%
d その他	10	2.3%
有効回答数	444	-

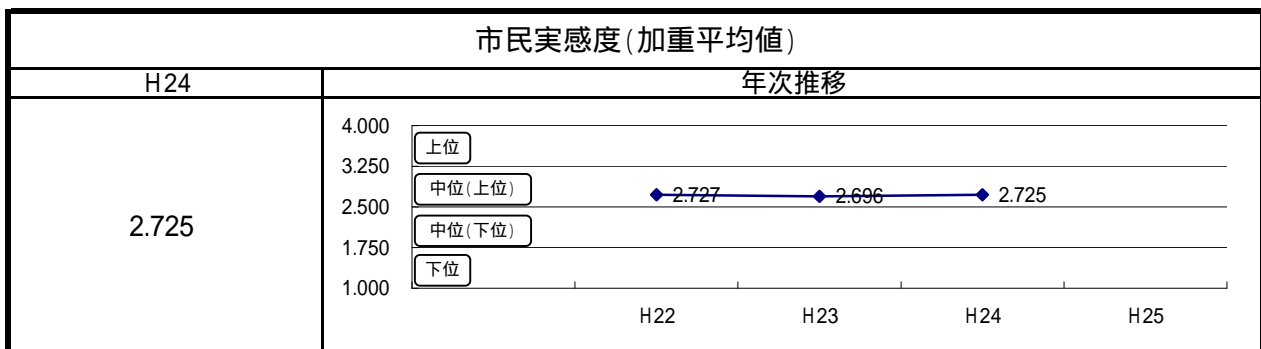


問28-A 生涯にわたって学ぶことができる環境が整っている

- 「ややそう思う」が48.7%（329人）、つづいて「あまりそう思わない」が29.3%（198人）となっています。
- 市民実感度は、2.725となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人230人のうち、221人がその理由を回答しており、理由として「参加したいと思う講座が少ないから」が最も多く、37.1%（82人）となっています。

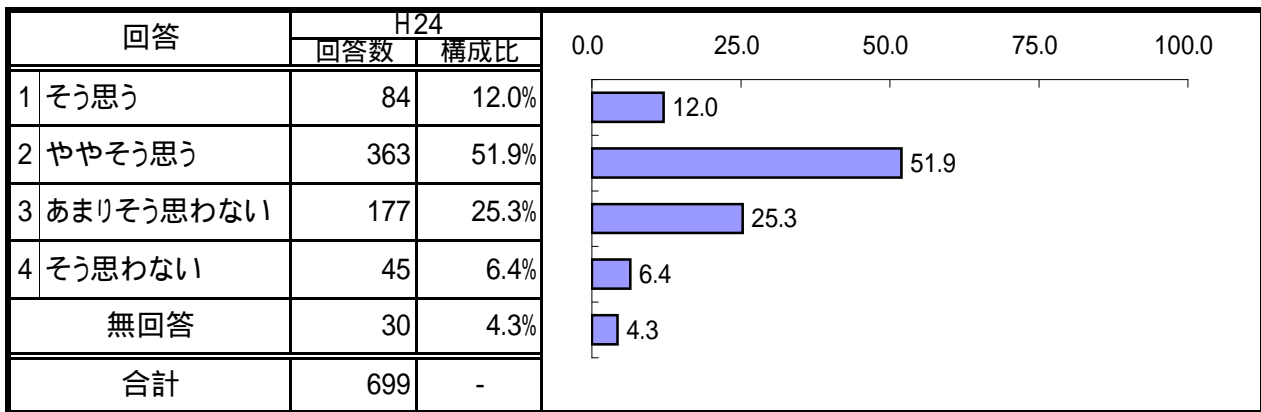


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 参加したいと思う講座が少ないから	82	37.1%
b 学習に関する情報が少ないから	67	30.3%
c 社会教育施設に魅力がないから	44	19.9%
d 学習成果を活かす機会が少ないから	24	10.9%
e その他	4	1.8%
有効回答数	221	-

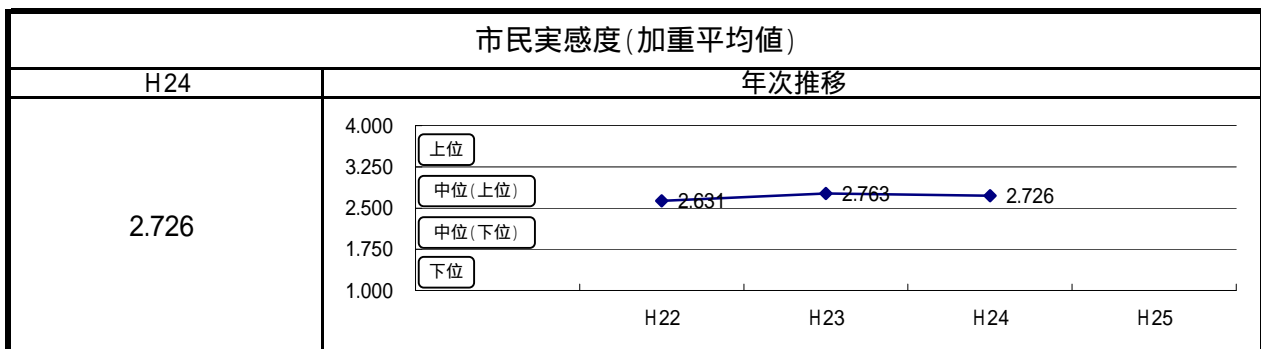


問28-B 芸術や文化に親しむことができる環境が整っている

- 「ややそう思う」が51.9%（363人）、つづいて「あまりそう思わない」が25.3%（177人）となっています。
- 市民実感度は、2.726となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人222人のうち、219人がその理由を回答しており、理由として「芸術・文化に接する機会の情報が十分でないから」が最も多く、47.5%（104人）となっています。

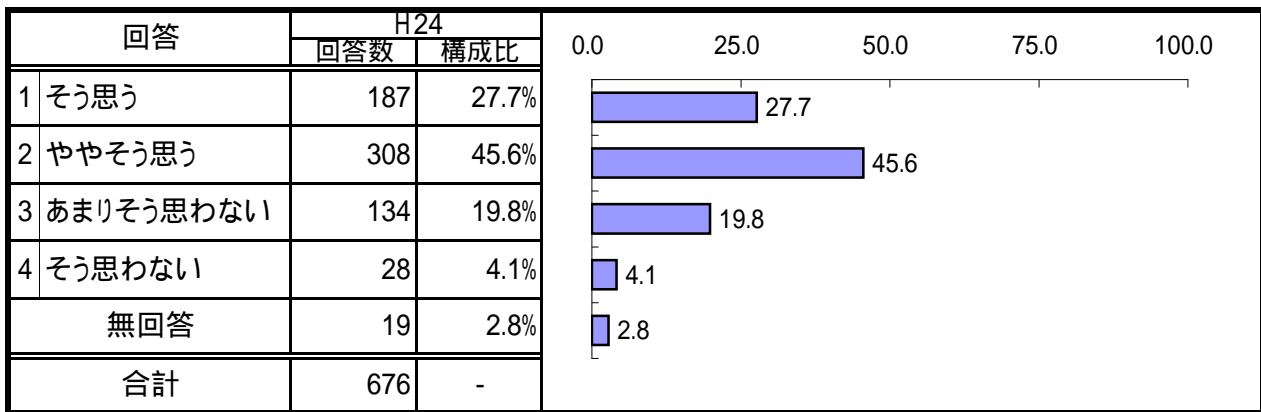


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 芸術・文化の発表や活動の場が少ないから	55	25.1%
b 芸術・文化に接する機会の情報が十分でないから	104	47.5%
c 芸術・文化に接する機会の日程があわないから	23	10.5%
d 芸術・文化に関する指導者が少ないから	27	12.3%
e その他	10	4.6%
有効回答数	219	-

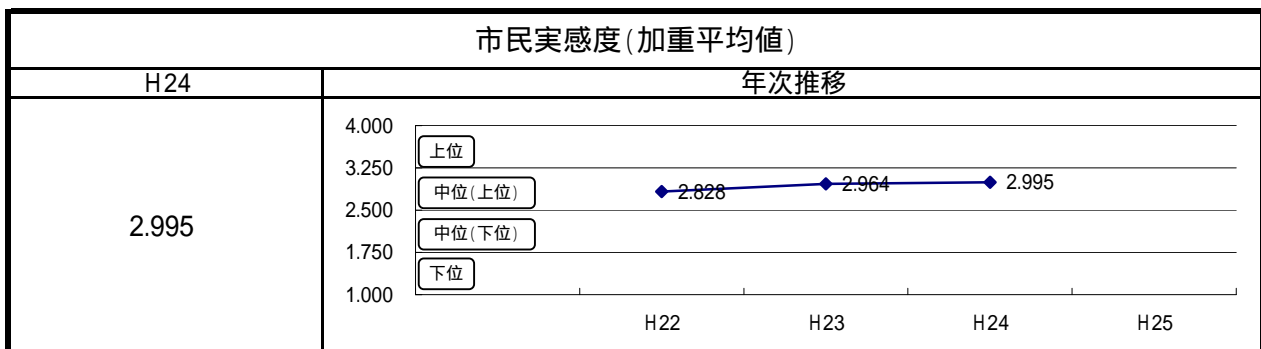


問29-A スポーツを楽しむことができる環境が整っている

- 「ややそう思う」が45.6%（308人）、つづいて「そう思う」が27.7%（187人）となっています。
- 市民実感度は、2.995となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人162人のうち、158人がその理由を回答しており、理由として「スポーツ施設が利用しにくいから」が最も多く、42.4%（67人）となっています。

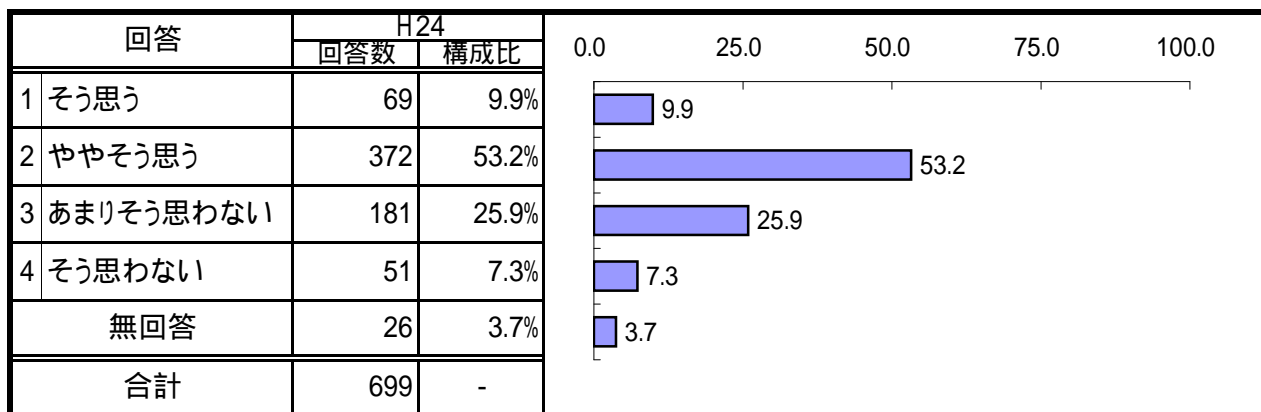


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a スポーツに親しむことができる機会が少ないから	48	30.4%
b スポーツ教室・講習会などに魅力がないから	17	10.8%
c スポーツ施設が利用しにくいから	67	42.4%
d 一流選手が出場する大会などが少ないから	19	12.0%
e その他	7	4.4%
有効回答数	158	-

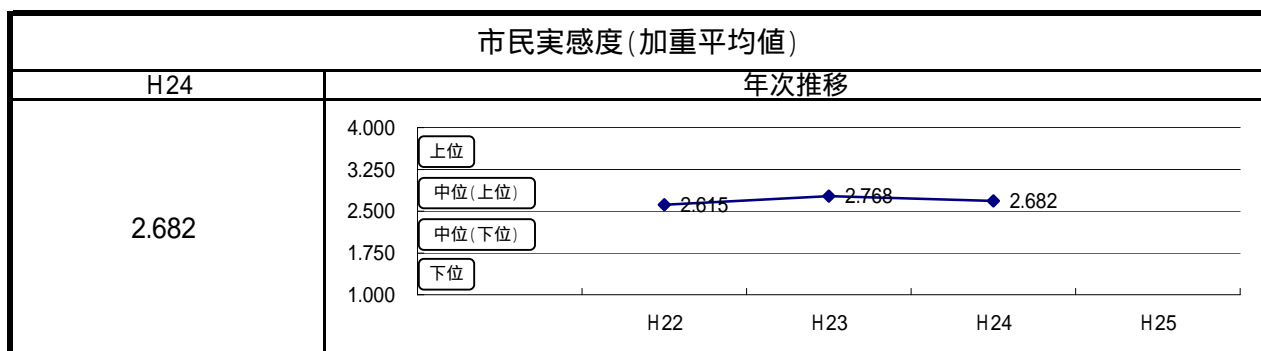


問29-B 平和で差別や虐待がなく、市民一人ひとりが互いに人権を尊重している

- 「ややそう思う」が53.2%（372人）、つづいて「あまりそう思わない」が25.9%（181人）となっています。
- 市民実感度は、2.682となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人232人のうち、227人がその理由を回答しており、理由として「差別や偏見があるから」が最も多く、36.1%（82人）となっています。

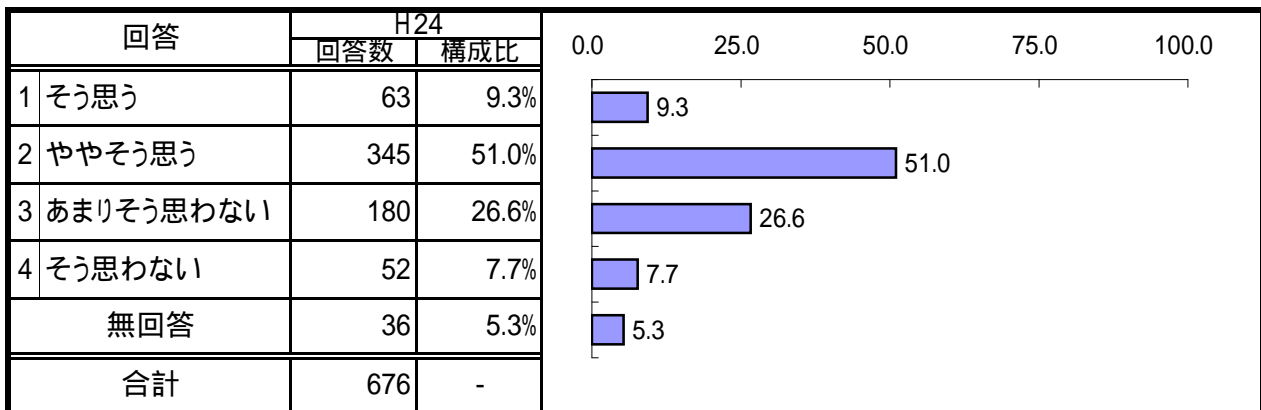


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 平和の大切さを知る機会が少ないから	67	29.5%
b 差別や偏見があるから	82	36.1%
c 子どもや高齢者の虐待、配偶者等への暴力事件が起きているから	57	25.1%
d その他	21	9.3%
有効回答数	227	-

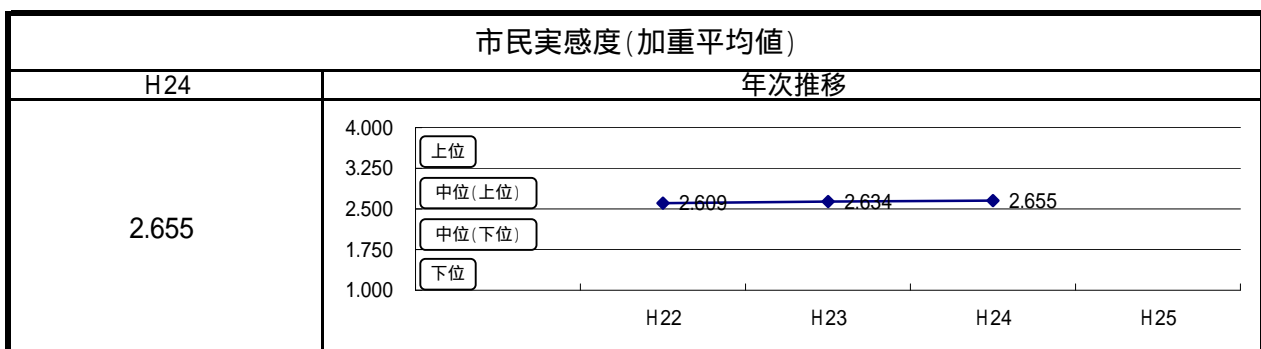


問30-A 男女が互いに尊重し合い、個性や能力を発揮できる

- 「ややそう思う」が51.0%（345人）、つづいて「あまりそう思わない」が26.6%（180人）となっています。
- 市民実感度は、2.655となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人232人のうち、225人がその理由を回答しており、理由として「仕事と家庭が両立できる環境が整備されていないから」が最も多く、53.3%（120人）となっています。

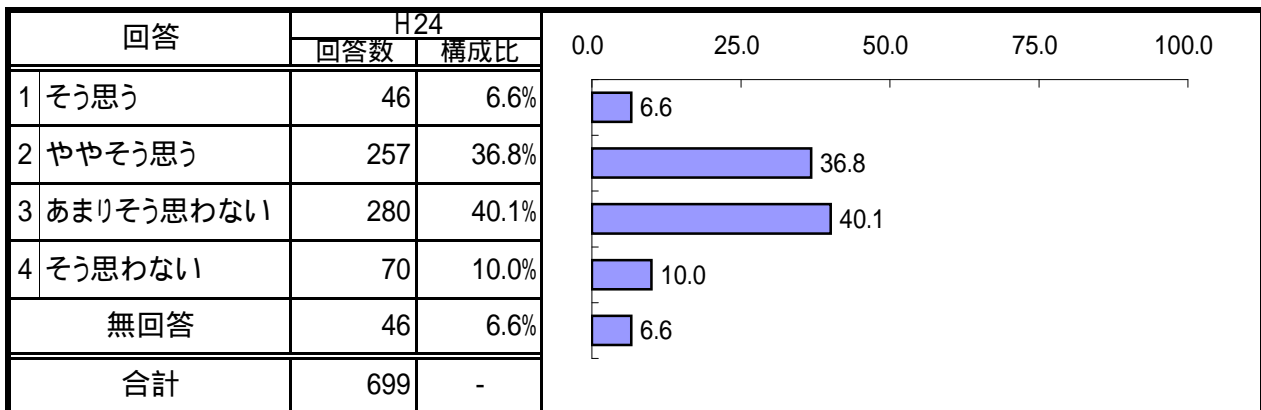


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 性別による固定的な役割分担意識や社会慣行が残っているから	75	33.3%
b 仕事と家庭が両立できる環境が整備されていないから	120	53.3%
c 女性の社会参画がすすんでいないから	23	10.2%
d その他	7	3.1%
有効回答数	225	-

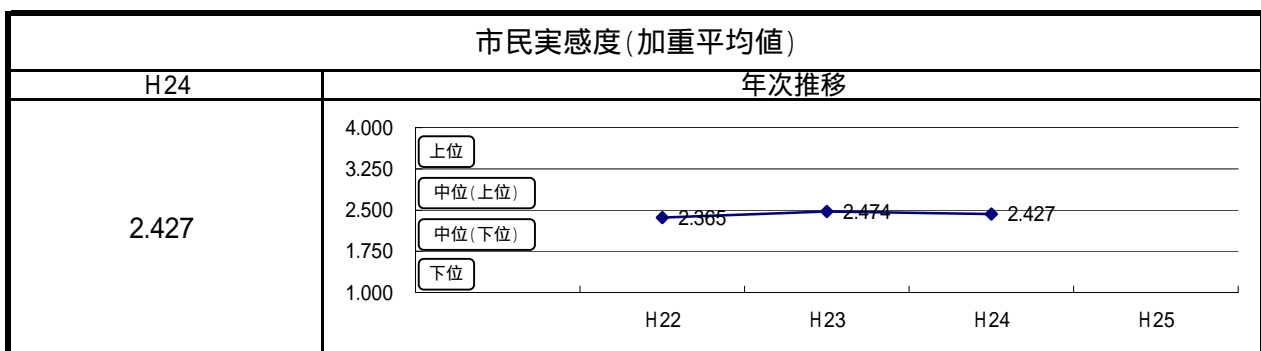


問30-B 誰もが利用しやすいユニバーサルデザイン（UD） によるまちづくりが行われている

- 「あまりそう思わない」が40.1%（280人）、つづいて「ややそう思う」が36.8%（257人）となっています。
- 市民実感度は、2.427となっており、中位（下位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人350人のうち、345人がその理由を回答しており、理由として「市民一人ひとりのUDに関する意識が低いから」が最も多く、42.6%（147人）となっています。

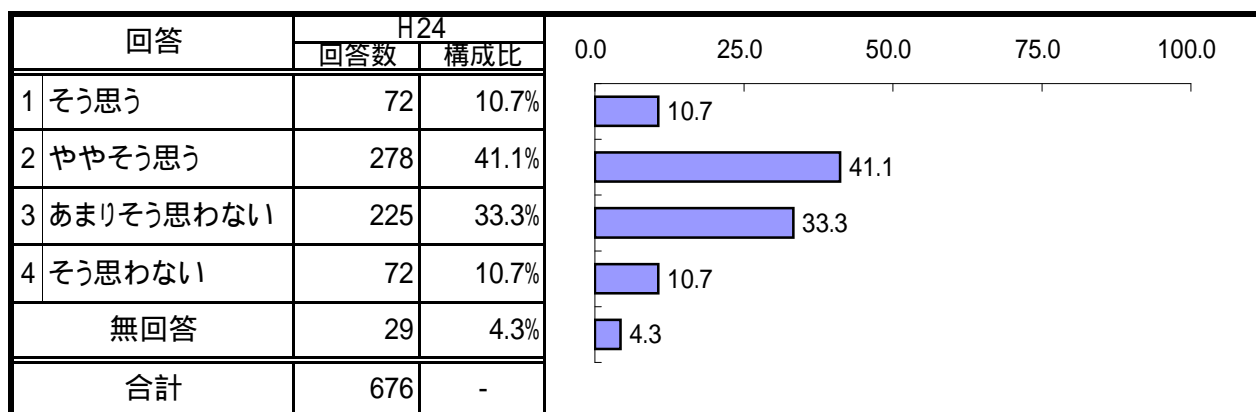


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 道路や公園、市役所などの公共施設のUD化がすすんでいないから	47	13.6%
b 住宅や店舗などの民間施設のUD化がすすんでいないから	70	20.3%
c 市民一人ひとりのUDに関する意識が低いから	147	42.6%
d 障害のある人や高齢者などに配慮した行政サービスの提供が行われていないから	67	19.4%
e その他	14	4.1%
有効回答数	345	-

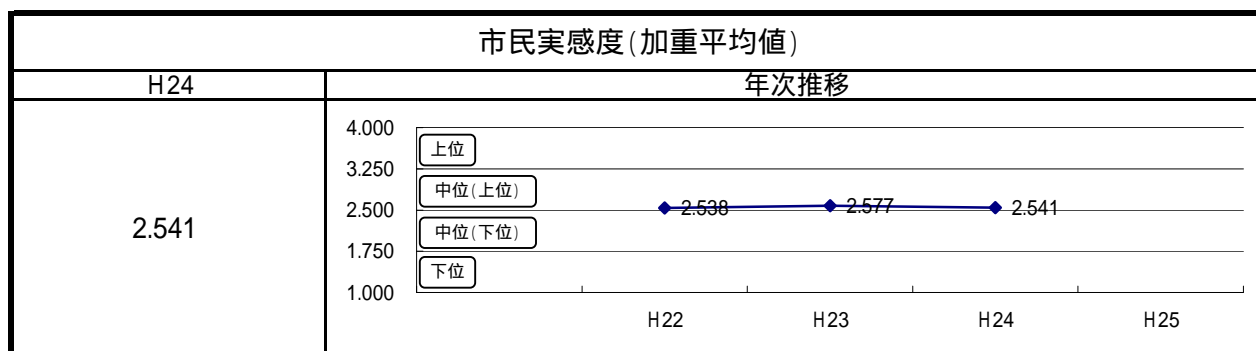


問31-A アイヌ民族の歴史や文化などへの理解が深まり、 アイヌの人たちの誇りが尊重されている

- 「ややそう思う」が41.1%（278人）、つづいて「あまりそう思わない」が33.3%（225人）となっています。
- 市民実感度は、2.541となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人297人のうち、286人がその理由を回答しており、理由として「アイヌ民族の歴史や文化にふれる機会が少ないから」が最も多く、61.9%（177人）となっています。

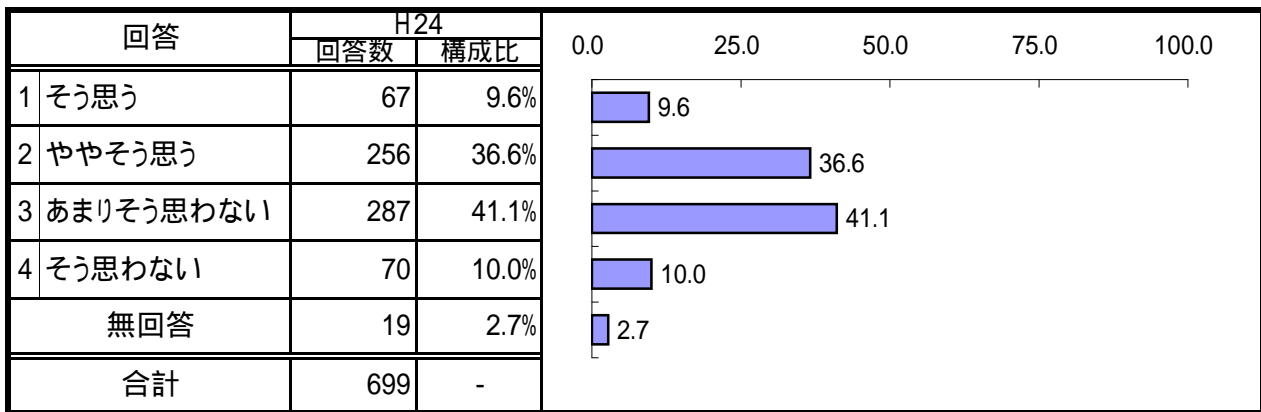


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a アイヌ民族の歴史や文化に関する市民理解がすすんでいないから	83	29.0%
b アイヌ民族の歴史や文化にふれる機会が少ないから	177	61.9%
c アイヌの人たちの生活や教育に対する支援が十分でないから	18	6.3%
d その他	8	2.8%
有効回答数	286	-

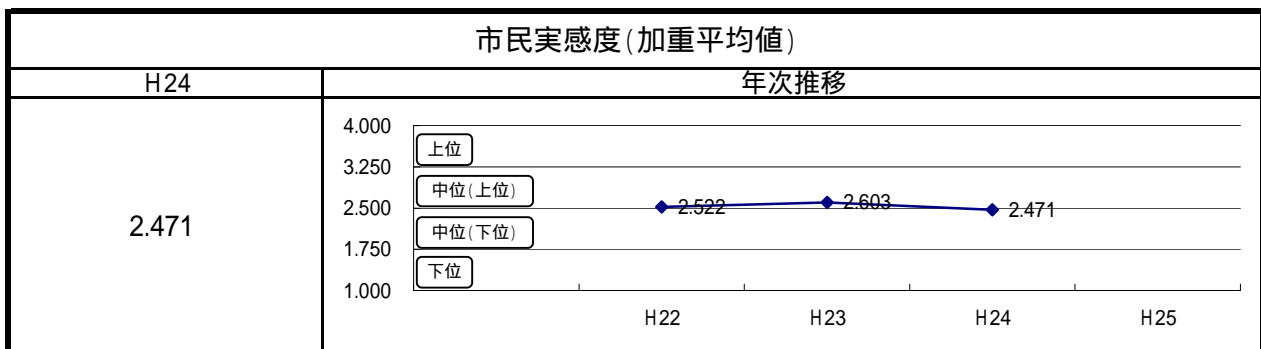


問31-B 町内会やNPO・ボランティアなどによる 地域活動が活発に行われている

- 「あまりそう思わない」が41.1%（287人）、つづいて「ややそう思う」が36.6%（256人）となっています。
- 市民実感度は、2.471となっており、中位（下位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人357人のうち、352人がその理由を回答しており、理由として「町内会への加入者が減少しているから」が最も多く、37.2%（131人）となっています。

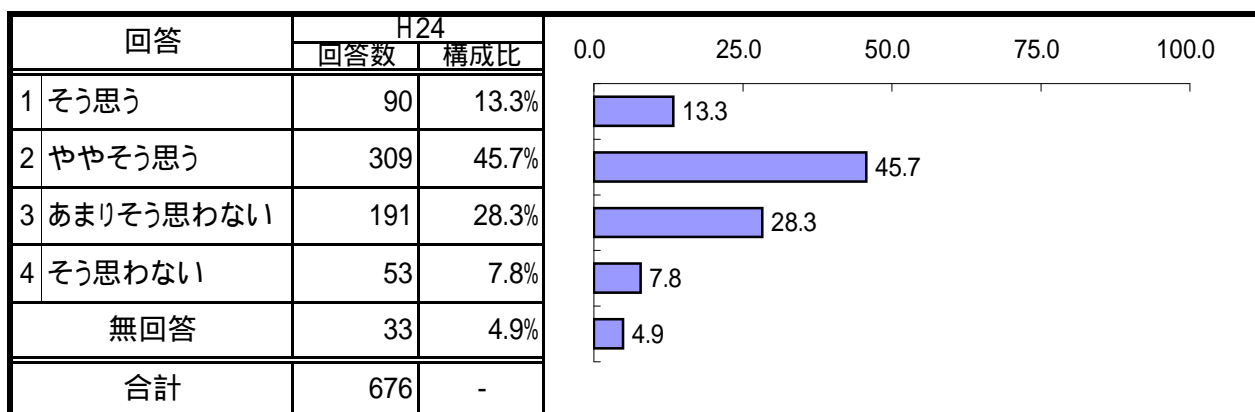


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 町内会への加入者が減少しているから	131	37.2%
b 地域活動の担い手が少ないから	94	26.7%
c コミュニティ施設が利用しにくいから	26	7.4%
d 気軽に地域活動に参加できる機会が少ないから	83	23.6%
e その他	18	5.1%
有効回答数	352	-

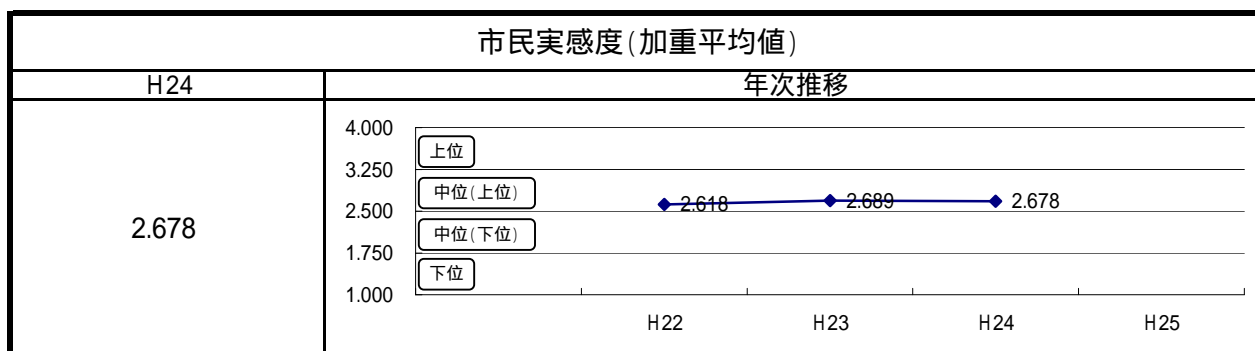


問32-A 国内や国外の都市と人や文化の交流が活発に行われている

- 「ややそう思う」が45.7%（309人）、つづいて「あまりそう思わない」が28.3%（191人）となっています。
- 市民実感度は、2.678となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人244人のうち、239人がその理由を回答しており、理由として「国内や国外の各都市との交流に関する内容がよく分からないから」が最も多く、45.2%（108人）となっています。

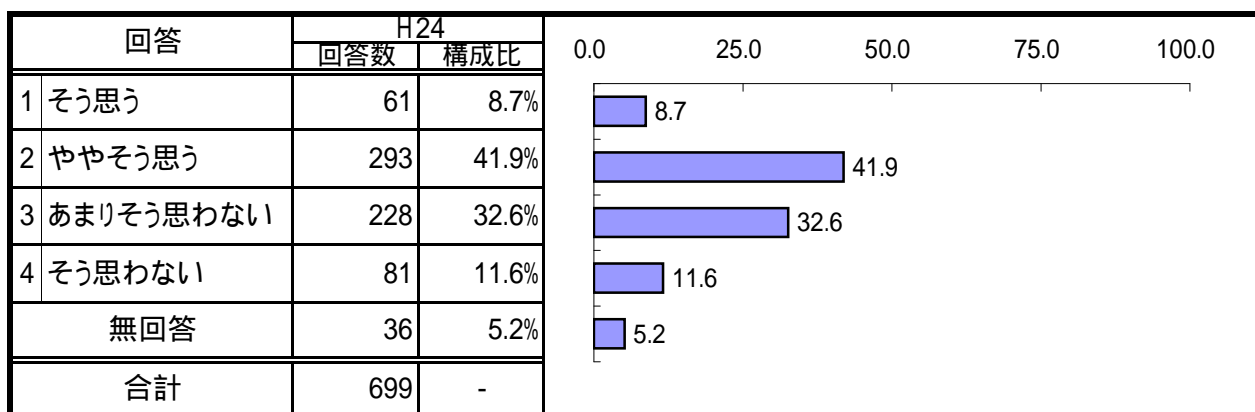


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 国内や国外の各都市との交流が活発でないから	24	10.0%
b 国内や国外の各都市との交流に関する内容がよく分からないから	108	45.2%
c 参加したい異文化交流の機会が少ないから	31	13.0%
d 異文化交流の機会を知らないから	73	30.5%
e その他	3	1.3%
有効回答数	239	-

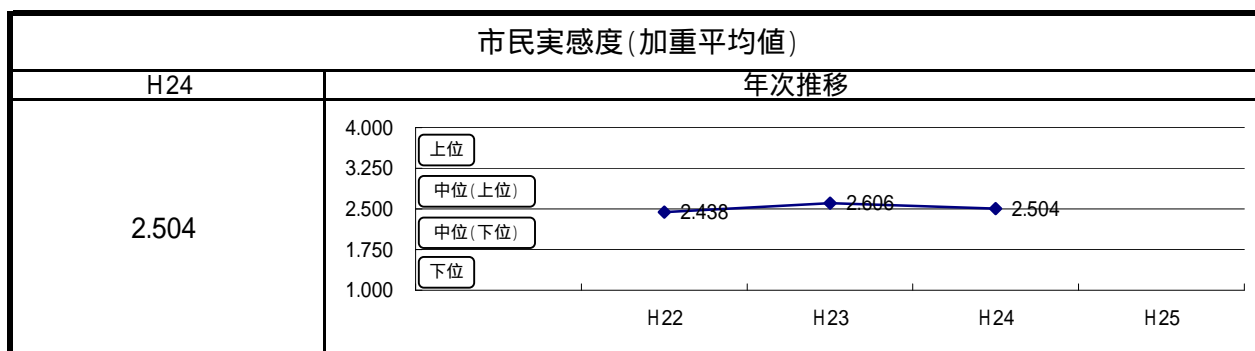


問32-B 市民と行政の協働による まちづくりがすすめられている

- 「ややそう思う」が41.9%（293人）、つづいて「あまりそう思わない」が32.6%（228人）となっています。
- 市民実感度は、2.504となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人309人のうち、305人がその理由を回答しており、理由として「議会での論議が分かりやすく情報提供されていないから」が最も多く、31.1%（95人）となっています。

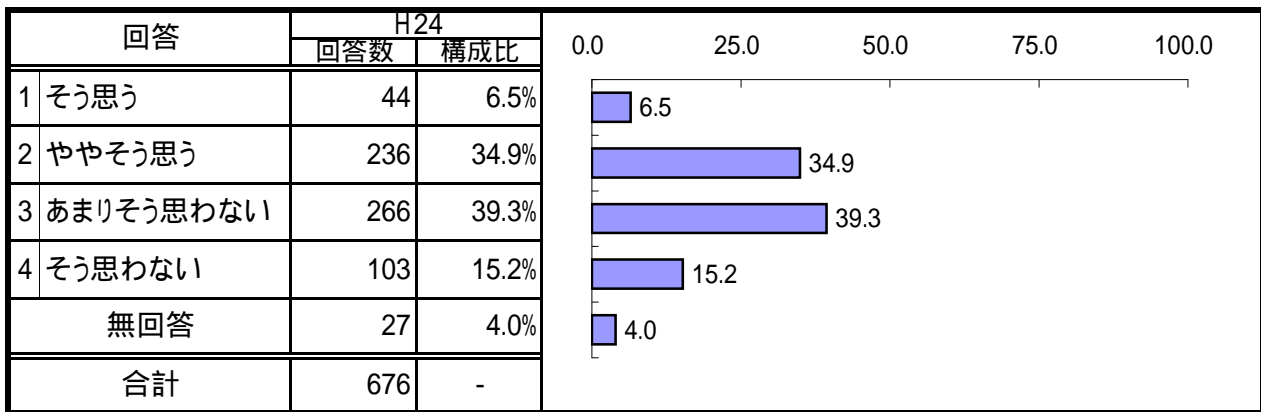


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 行政情報が分かりやすく提供されていないから	90	29.5%
b 市民意見が市政に反映されていないから	69	22.6%
c 市民のまちづくり活動への支援が十分でないから	39	12.8%
d 議会での論議が分かりやすく情報提供されていないから	95	31.1%
e その他	12	3.9%
有効回答数	305	-

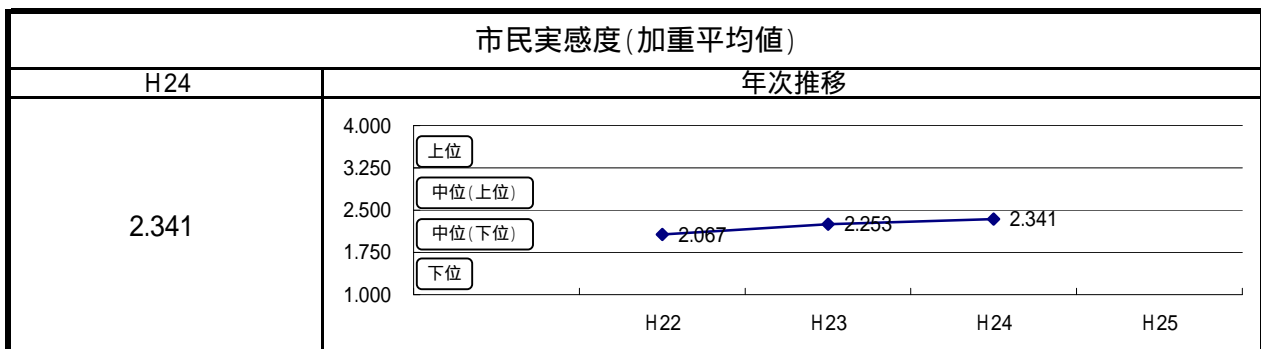


問33-A 健全な財政運営や効果的・効率的な行政運営が行われている

- 「あまりそう思わない」が39.3%（266人）、つづいて「ややそう思う」が34.9%（236人）となっています。
- 市民実感度は、2.341となっており、中位（下位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人369人のうち、357人がその理由を回答しており、理由として「市の財政状況に不安があるから」が最も多く、42.3%（151人）となっています。

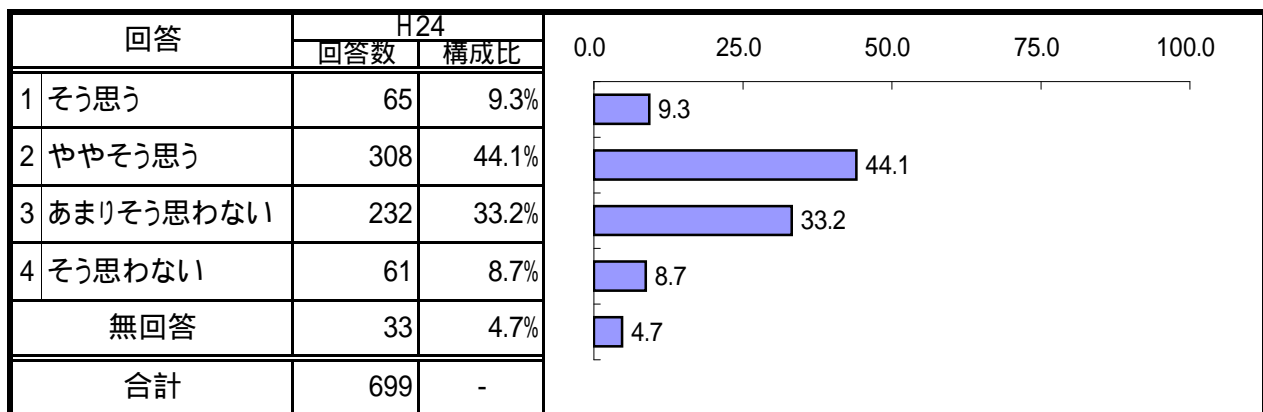


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 市の財政状況に不安があるから	151	42.3%
b 行政運営の効率化がすすんでいないから	53	14.8%
c 事業の効果やコストが分からないから	137	38.4%
d その他	16	4.5%
有効回答数	357	-

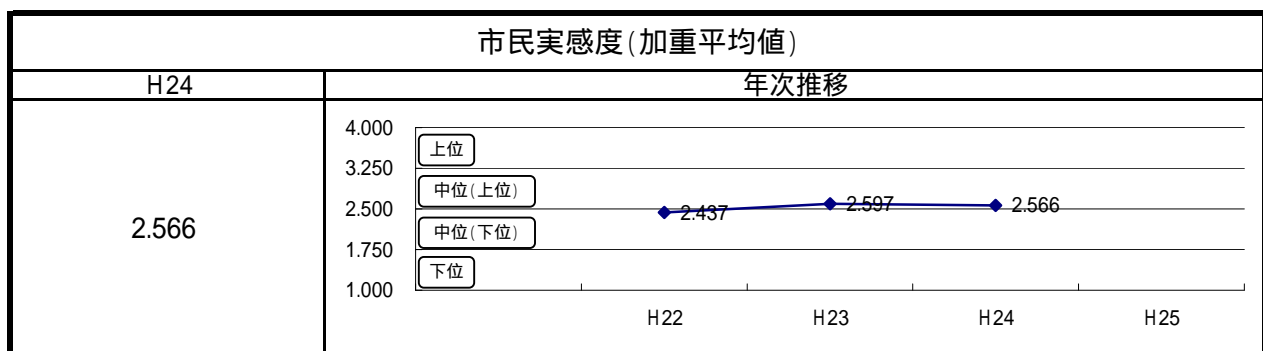


問33-B 十勝管内町村との広域事業や、道内各都市と連携・交流が行われている

- 「ややそう思う」が44.1%（308人）、つづいて「あまりそう思わない」が33.2%（232人）となっています。
- 市民実感度は、2.566となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人293人のうち、287人がその理由を回答しており、理由として「道内各都市と連携・交流している具体的な事例がよく分からないから」が最も多く、53.3%（153人）となっています。

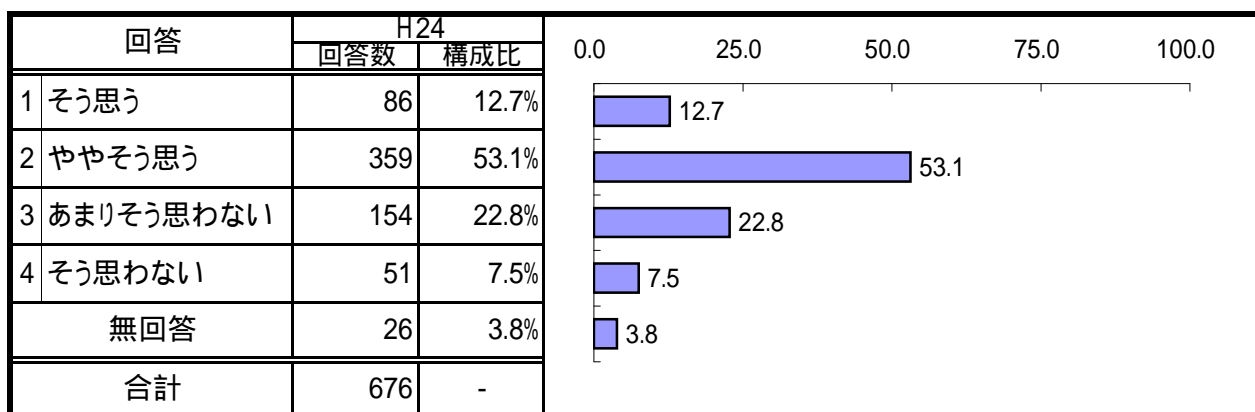


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 十勝管内で、市域を越えて利用できる行政サービスが少ないから	30	10.5%
b 十勝管内で、市域を越えて利用できる行政サービスがよく分からないから	99	34.5%
c 道内各都市と連携・交流している具体的な事例がよく分からないから	153	53.3%
d その他	5	1.7%
有効回答数	287	-

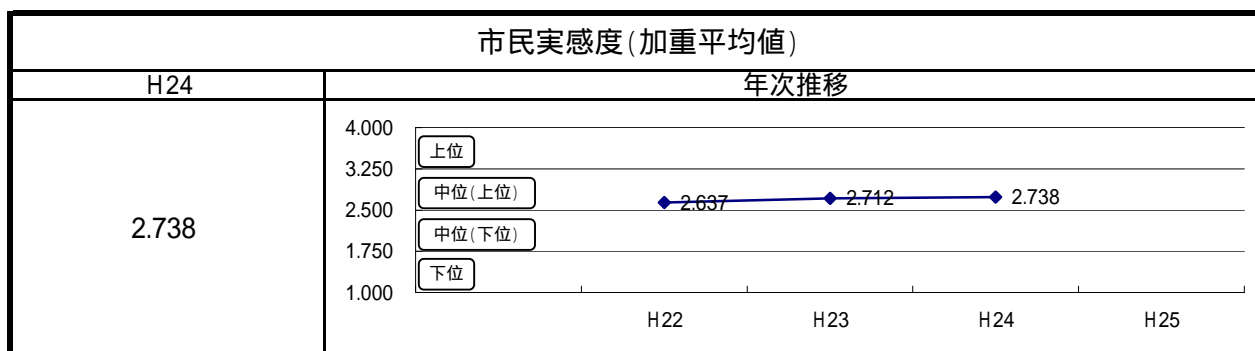


問34-A 市民が利用しやすく、満足できる行政サービスが提供されている

- 「ややそう思う」が53.1%（359人）、つづいて「あまりそう思わない」が22.8%（154人）となっています。
- 市民実感度は、2.738となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人205人のうち、197人がその理由を回答しており、理由として「市役所における各種事務手続きが分かりにくいから」が最も多く、49.7%（98人）となっています。

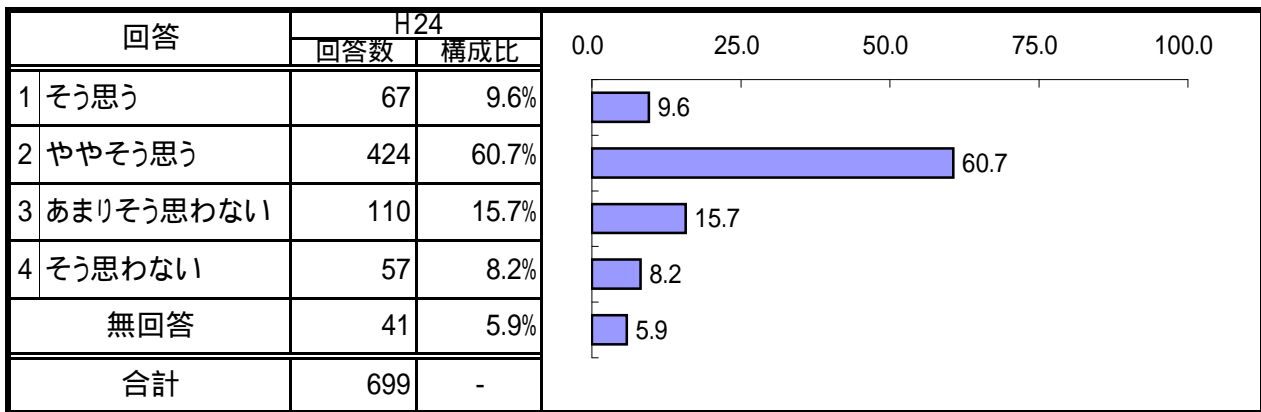


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 職員の対応が適切でないから	66	33.5%
b 市役所における各種事務手続きが分かりにくいから	98	49.7%
c コミュニティセンターやインターネットでできる行政手続きが少ないから	22	11.2%
d その他	11	5.6%
有効回答数	197	-

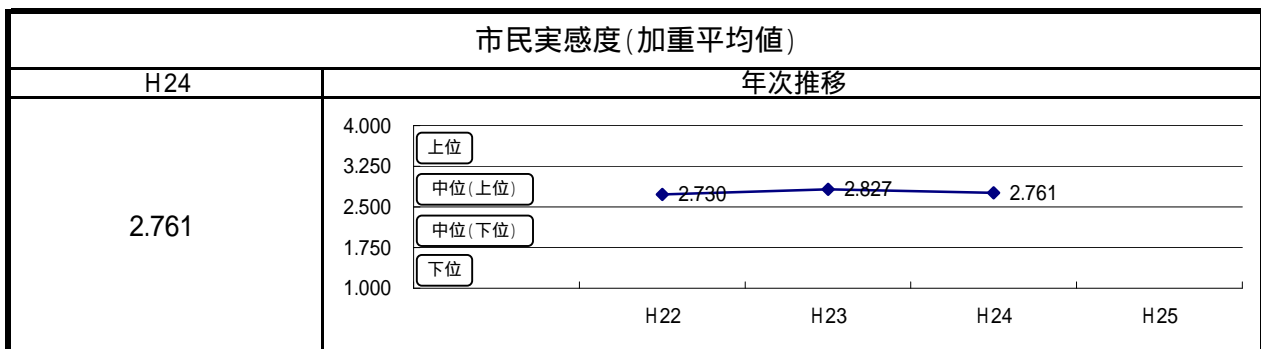


問34-B 市民に信頼される行政事務が行われている

- 「ややそう思う」が60.7%（424人）、つづいて「あまりそう思わない」が15.7%（110人）となっています。
- 市民実感度は、2.761となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人167人のうち、155人がその理由を回答しており、理由として「公共施設の管理が適切に行われていないから」が最も多く、34.8%（54人）となっています。



上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H24	
	回答数	構成比
a 事務処理が適切に行われていないから	38	24.5%
b 公共施設の管理が適切に行われていないから	54	34.8%
c 個人情報の保護が十分でないから	27	17.4%
d その他	36	23.2%
有効回答数	155	-

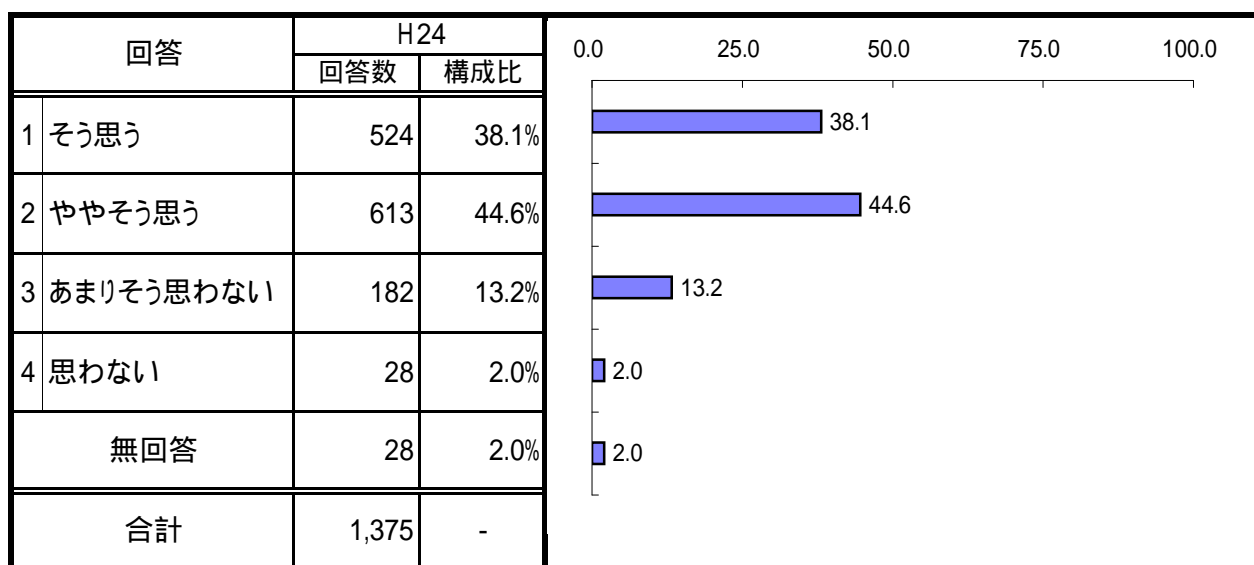


6

防災の取り組み

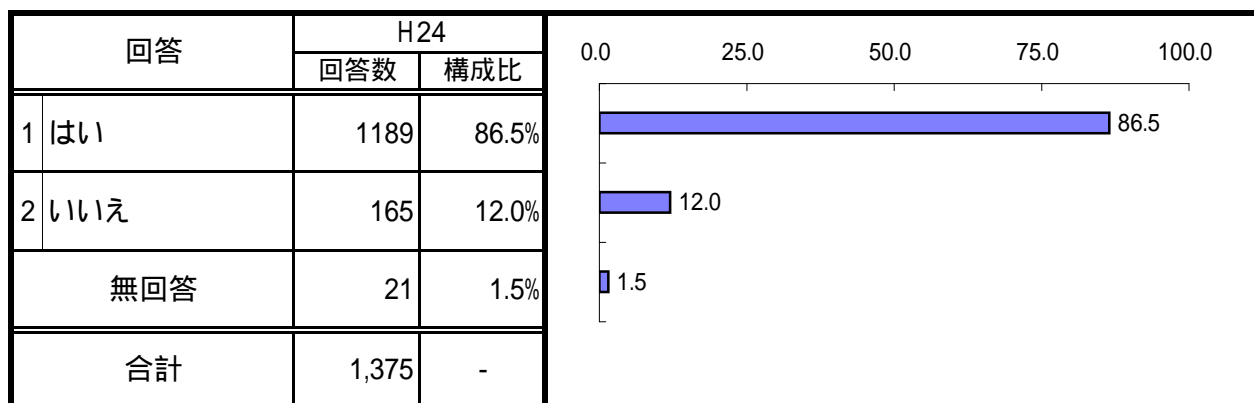
問35 あなたは、東日本大震災の後、自ら災害に備えることについて、意識が変わりましたか。

☞ 「ややそう思う」が44.6%（613人）、つづいて「そう思う」が38.1%（524人）となり、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は、約8割となっています。



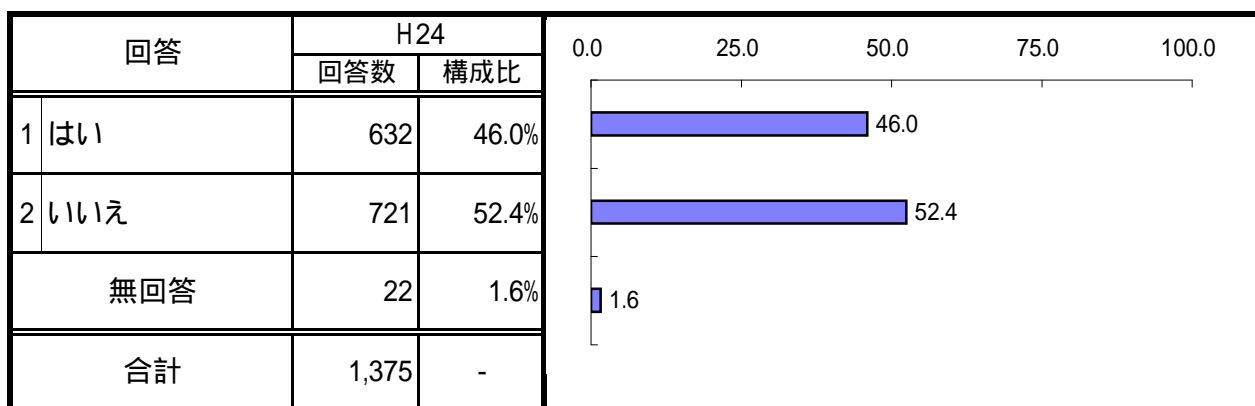
問36 あなたは、お住まいの地域の災害時避難場所を知っていますか。

☞ 「はい」が86.5%（1189人）、「いいえ」が12.0%（165人）となり、災害時避難場所を知っている方は、約9割となっています。



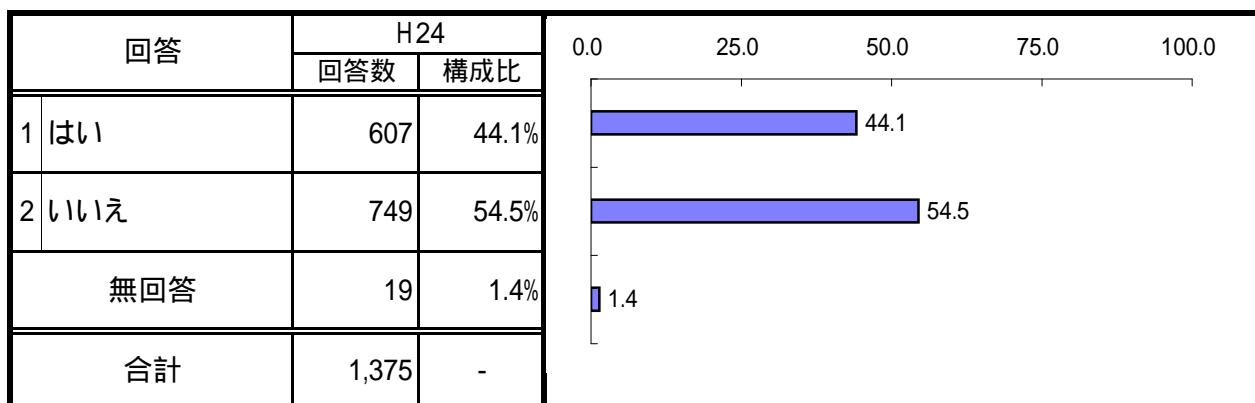
**問37 あなたは、災害時の避難経路について、
家族や近所の方々と話し合ったことがありますか。**

☞ 「はい」が46.0%（632人）、「いいえ」が52.4%（721人）となり、家族や近所の方々と話し合ったことがない割合の方が高くなっています。



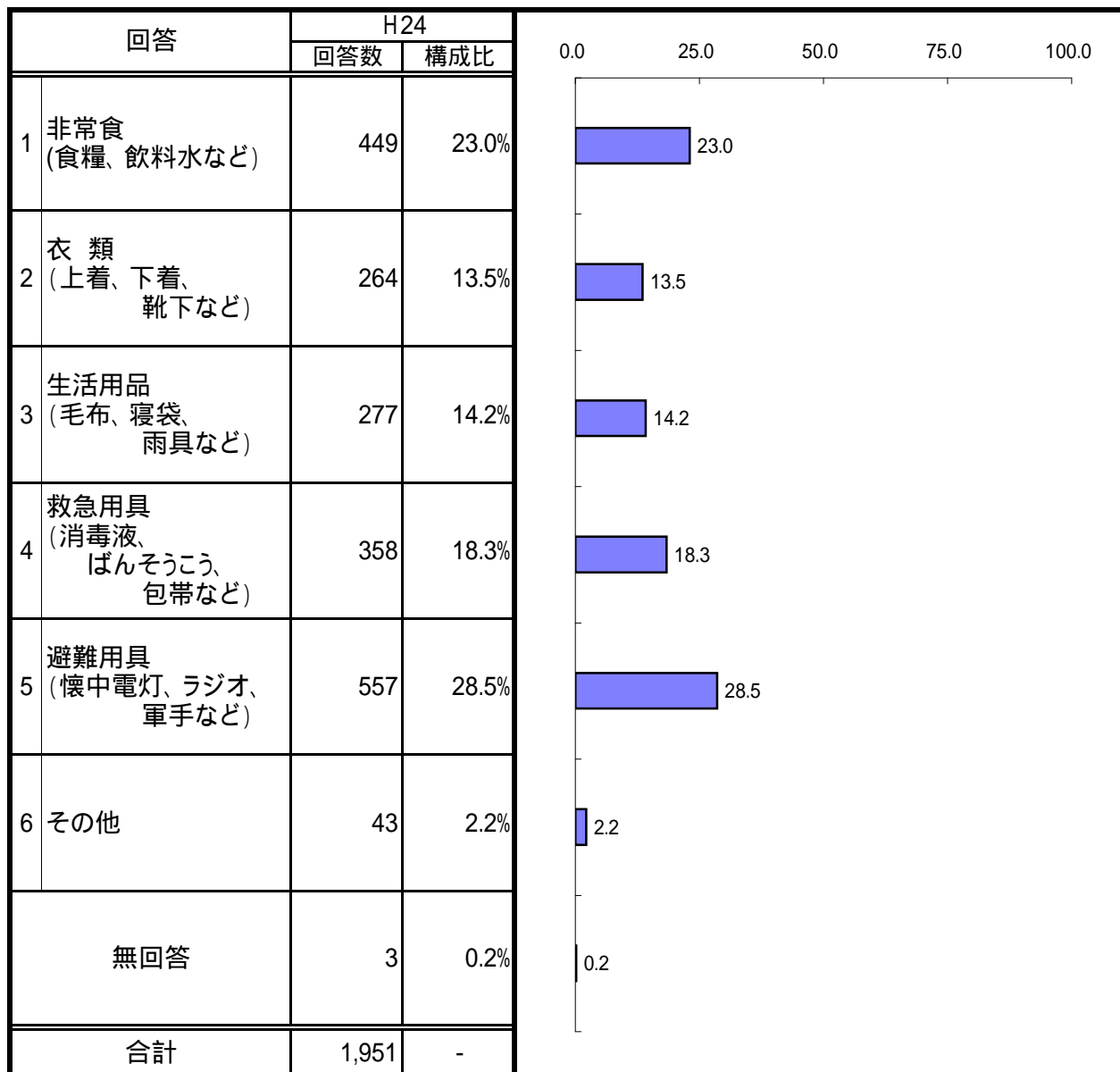
問38 あなたは、ご家庭で、災害備蓄品を用意していますか。

☞ 「はい」が44.1%（607人）、「いいえ」が54.5%（749人）となり、災害備蓄品を用意していない割合の方が高くなっています。



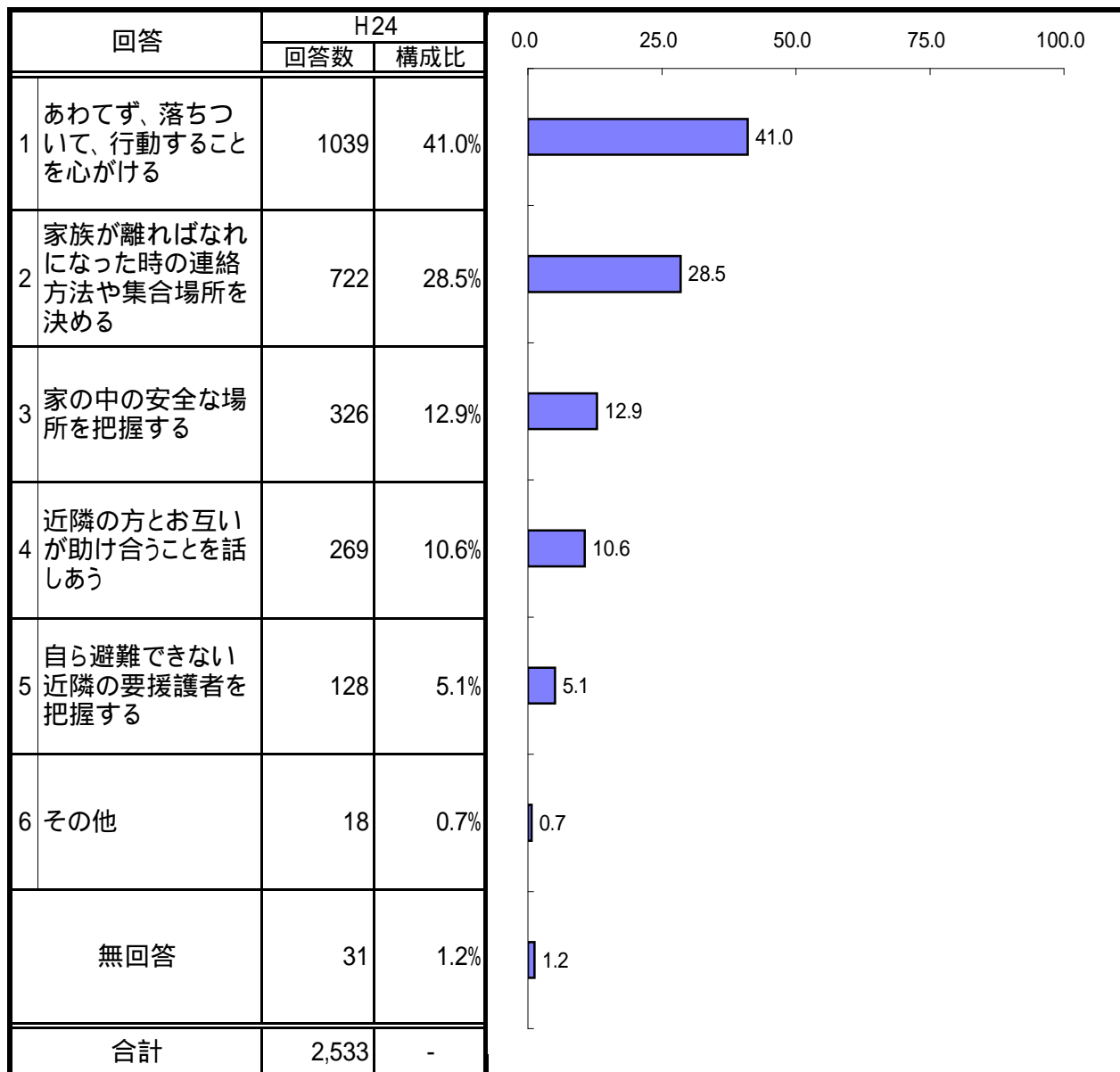
問39 設問38で、「はい」と答えた方にお聞きします。
ご家庭で用意している品について、
あてはまるものすべてに をつけてください。

設問38で、「はい」と答えた方(607人)のうち、「避難用具(懐中電灯、ラジオ、軍手など)が28.5%(557人)と最も多く、つづいて非常食(食糧、飲料水など)が23.0%(449人)となっています。



問40 あなたは、普段から、災害の発生に備えるには、
 どのようなことが重要であると考えますか。
 2つまで選んで をつけてください。

「あわてず、落ちついて、行動することを心がける」が41.0%（1,039人）と最も多く、つづいて「家族が離ればなれになった時の連絡方法や集合場所を決める」が28.5%（722人）となっています。



7 自由記述意見（まちづくりに対する意見・提案）

アンケート用紙の最後のページに、まちづくりに対するご意見・ご提案を自由に記述していただきました。

その結果、458人の方から、697件のまちづくりに関する様々なご意見・ご提案をいただきました。（お1人で複数の項目に関するご意見などをいただいていることがあるため、ご記入いただいた方の人数とご意見などの件数とは一致しません）

いただいたご意見・ご提案を、内容に応じて、項目別に分類して集計すると、以下のとおりとなります。今後のまちづくりの参考となる資料として、活用させていただきます。

項目	件数	
産業・にぎわいに関すること	117	件
まちづくり全般に関すること	100	件
道路環境・交通ネットワークに関すること	92	件
社会保障と税に関すること	44	件
行政事務・サービスに関すること	38	件
教育や生涯学習・スポーツに関すること	37	件
環境保全・廃棄物に関すること	36	件
公園・緑地に関すること	35	件
交通安全・防犯に関すること	32	件
子育て支援・青少年に関すること	25	件
高齢者福祉に関すること	23	件
アンケートに関すること	19	件
防災に関すること	18	件
雇用に関すること	17	件
医療・保健に関すること	16	件
地域の活動・支えあいに関すること	14	件
住環境に関すること	11	件
水道・下水道に関すること	11	件
障害者福祉に関すること	6	件
その他	6	件
(計)	697	件

参考資料) 市民まちづくりアンケート票

アンケートは、大きく次の3区分について実施しています。

- (1) 帯広市の住みごち・定住意識について・・・(問 1～ 9)
- (2) 市民実感について・・・・・・・・・・・・(問10～34)
- (3) 防災の取り組みについて・・・・・・・・(問35～40)

アンケートは、市民実感の設問(問10～34)のみ2つに区分し、調査票をA票とB票の2つに分けて、実施しています。

地 区

A 票

平成24年度 市民まちづくりアンケート

1. 【あなたご自身に関すること】について、お聞きします。

問1～4について、あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

問1 あなたの性別は？

- A. 男 B. 女

問2 あなたの年齢は？（5月1日現在の年齢で記入してください。）

- A. 20歳代 B. 30歳代 C. 40歳代 D. 50歳代 E. 60歳代 F. 70歳以上

問3 あなたの職業は？（パートタイマーを含む）

- A. 会社員・店員 B. 商・工・サービス業等の自営業 C. 農・林・漁業 D. 公務員
E. 自由業 F. 主婦 G. 学生 H. 無職・退職 I. その他（ ）

問4 あなたは帯広市にお住まいになってどのくらいになりますか？

- A. 1年未満 B. 1年～5年未満 C. 5年～10年未満 D. 10年～20年未満
E. 20年以上

2. 【住みごこち】について、お聞きします。

問5～9について、あてはまるものに をつけてください。

問5 帯広市の住みごこちについて、どう感じていますか？（1つ選んでください）

- A. 住みやすい B. どちらかといえば住みやすい C. どちらともいえない
D. どちらかといえば住みにくい E. 住みにくい

問6 これからも帯広市に住み続けたいと思いますか？（1つ選んでください）

- A. 住み続けたい B. できれば他の市町村に移りたい C. どちらともいえない



問7へすすむ



問8・9へすすむ



問10へすすむ

問7 問6で「A.住み続けたい」とお答えの方にお聞きします。
その理由は何ですか？（2つまで選んでください）

- A．広々としているから B．自然に恵まれているから C．気候が好きだから
D．家族の都合で E．人情が厚く、親切だから F．親戚や知人が多いから
G．教育上の理由から H．まちに魅力があるから I．仕事上の理由から
J．都市的な便利さがあるから K．生活費が安いから L．わからない
M．その他（

問8 問6で「B.できれば他の市町村に移りたい」とお答えの方にお聞きします。
どこに移りたいですか？（1つ選んでください）

- A．帯広圏の3町（音更町・芽室町・幕別町） B．十勝管内の町村（帯広圏の3町以外）
C．札幌市 D．道内他市町村（札幌市及び十勝管内以外）
E．首都圏（東京都・埼玉県・神奈川県・千葉県） F．中部圏（愛知県）
G．近畿圏（大阪府・兵庫県・京都府） H．他県（
I．その他（

問9 問6で「B.できれば他の市町村に移りたい」とお答えの方にお聞きします。
その理由は何ですか？（2つまで選んでください）

- A．仕事上の理由から B．家族の都合から C．気候がきらいだから
D．住宅地が少ないから E．宅地価格が高いから F．教育上の理由から
G．生活費が高いから H．まちに魅力が少ないから I．自然が少ないから
J．知人や親戚が少ないから K．人情が薄く、不親切だから
L．都市的な便利さが不足しているから M．わからない
N．その他（

3. 【市民実感】について、お聞きします。

問10～34について、あなたの実感（イメージでもかまいませんので）に最も近い選択肢を必ず1つ選んで番号に をつけてください。

3（あまりそう思わない）と4（そう思わない）を選択した場合は、その理由として最も近い選択肢を1つ選んで記号に をつけてください。

「その他」の場合は、（ ）内にその理由をお書きください。

問10. 地震や水害など、災害への備えが整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

防災訓練の実施
 防災講座・講演会の開催
 災害用備蓄品の整備
 避難所の耐震化
 木造住宅の耐震改修に対する補助・貸付
 自主防災組織の育成 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a. 防災に関する意識が低いから
- b. 行政の取り組みや周知が十分でないから
- c. 食料の備蓄や避難経路の確認など、自らの災害への備えができていないから
- d. 災害時に地域で助け合う仕組みが整っていないから
- e. 自宅や避難所の耐震性が不安だから
- f. その他()

問11. 日常生活において、犯罪にあうことなく安心して暮らせる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

公用車による防犯パトロールの実施
 防犯関係団体活動への支援
 防犯灯の設置支援
 ホームページ等による防犯情報の提供 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a. 防犯に関する意識が低いから
- b. 暗がりや人目につきにくい場所があるから
- c. 身近なところで不審者や空き巣などが発生しているから
- d. 地域で見守る防犯活動が十分でないから
- e. その他()

問12．悪質な訪問販売や契約トラブルなどにあうことなく、安全に消費生活を送れる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

消費生活アドバイスセンターの運営
消費者相談の実施
消費者講座・講演会の開催 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．消費生活に関する情報提供が十分でないから
- b．消費者トラブルなどを相談できる場所を知らないから
- c．消費者トラブルの際の対処方法が分からないから
- d．その他()

問13．ケガや病気の際に安心して医療を受けられる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

在宅当番医体制の維持、夜間・休日の救急医療体制の確保
夜間急病センターの運営
急病テレホンセンターによる救急医療情報の提供
看護師・准看護師養成機関への支援 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．近くに病院や診療所がないから
- b．診療科目が不足しているから
- c．高度な医療を受けることができないから
- d．緊急時の医療機関の情報が十分でないから
- e．その他()

問14．高齢者が地域で生き生きと暮らせる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

高齢者バス無料乗車証の交付
敬老祝金の支給
介護予防事業の実施
ひとり暮らし高齢者の訪問活動の実施
介護老人福祉施設の整備、生活支援ハウスの運営 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．社会参加の機会が少ないから
- b．在宅の福祉サービスが利用しにくいから
- c．老人ホームなどの施設が不足しているから
- d．高齢者を地域で支える環境が整っていないから
- e．その他()

問15．社会保障制度の周知や適切な運用が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

国民健康保険料の負担軽減、特定健診の実施
 介護保険制度の周知
 生活保護を受けている人の就労支援
 国民年金の制度周知 など



社会保障制度
 国民健康保険、介護保険、生活保護、国民年金などの制度をさします。

3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．制度のしくみに疑問を感じるから
- b．給付が増大していて、安定的な運営に不安を感じるから
- c．社会保障にかかる家計の負担が大きいから
- d．制度の周知が十分でないから
- e．その他()

問16．青少年が健全に育つ環境が整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

青少年リーダーや青少年団体の育成
 青少年育成活動の実施
 放課後などに子どもが安心して過ごせる居場所づくり
 非行防止のための街頭巡回指導
 成人の集いなどの社会参加促進活動の実施
 児童会館における体験活動の実施 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．家庭や地域における子どものしつけが不足しているから
- b．家庭、地域、学校が連携した活動が不足しているから
- c．青少年の体験活動や社会参加する機会が不足しているから
- d．有害な情報が氾濫するなど、子どもを取り巻く社会環境が悪化しているから
- e．その他()

問17．ものづくり産業に活気がある

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

(財)十勝圏振興機構による研究開発支援
 製品開発や売れる商品づくり、販路開拓等への支援
 知的財産の活用促進をはかるための相談会、セミナー等の実施
 企業立地の促進 など

3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．地元の資源を活かした新製品の開発が少ないから
- b．地元製品の市場拡大がすすんでいないから
- c．製造業の設備投資、企業立地がすすんでいないから
- d．その他()

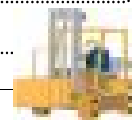


問18．地元の企業に活気がある

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

経営相談の実施
 中小企業の人材育成の支援
 起業・創業への支援
 雇用創出事業の実施
 中小企業振興融資の貸付、信用保証料の支援 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．地元企業の経営が悪化しているから
- b．中小企業を支える人材が育成されていないから
- c．地元企業の創業・起業や新分野への進出が少ないから
- d．その他()

問19．意欲と能力に応じて、生き生きと働くことができる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

求職者の就業支援相談の実施、合同企業説明会の開催
 季節労働者の雇用・生活相談の実施、生活資金の貸付
 シルバー人材センターへの支援
 とち勤労者共済センターへの支援 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．若い人の働く場が少ないから
- b．女性や高齢者の働く場が少ないから
- c．能力や経験を活かせる職場が少ないから
- d．会社の福利厚生が整っていないから
- e．その他()

問20．自然や特産物など、地域の魅力を活かした観光振興が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

帯広三大まつりの開催支援
 コンベンション(会議や大会)の誘致・開催支援
 物産展の開催、とち物産センターへの支援
 とち観光情報センターの運営 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．魅力ある観光地が少ないから
- b．観光イベントに魅力がないから
- c．観光情報の発信やPRが不足しているから
- d．その他()

問21．ごみの減量やリサイクルなど、廃棄物の資源化や適正な処理が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

巡回パトロールの実施
町内会等の資源集団回収の支援
生ごみ堆肥化容器・電動生ごみ処理機の購入支援
ごみ懇談会の開催
リサイクルまつりの開催 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

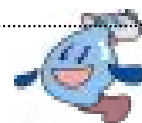
- a．ごみの分別や排出日が守られていないから
- b．再利用や資源化に関する意識が低いから
- c．事業者のごみ減量や資源再生利用の意識が低いから
- d．その他()

問22．おいしい水道水が、いつでも安心して利用できる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

札内川等の水質調査
水道メータの更新、漏水調査
老朽化した配水管の更新
稲田浄水場等の改修や耐震化 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．水道水がおいしいと感じないから
- b．断水や濁水などが発生したことがあるから
- c．災害時の不安があるから
- d．その他()

問23．快適で住みやすい居住空間が確保されている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

市街地・公営住宅の整備
民間事業者による小規模な開発行為に対する支援
若年世帯の住宅取得に対する支援
住宅リフォームに対する支援
住まいに関する情報の提供 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

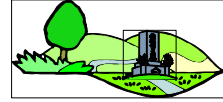
- a．住宅地の価格が高いから
- b．住宅や住宅地に関する情報が少ないから
- c．公営住宅を希望しても入れないから
- d．その他()

問24．墓地の整備や火葬場の管理運営が適切に行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

中島霊園の整備
火葬場の管理・運営
既存墓地の管理・運営 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．市民ニーズに対応した墓地が提供されていないから
- b．墓地の管理が十分でないから
- c．火葬場の管理が十分でないから
- d．その他()

問25．空港、バス、高速道路など、交通の利便性が確保されている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

とちかち帯広空港の施設整備、空港路線の充実
乗合方式のバス・タクシーの運行
道東自動車道、帯広・広尾自動車道の整備・利用促進
石勝線・根室線の高速化の促進
十勝港の利活用促進 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．航空の利便性が良くないから
- b．鉄道の利便性が良くないから
- c．バスの利便性が良くないから
- d．高速道路の利便性が良くないから
- e．その他()

問26．小学校・中学校において充実した教育が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

各学校が取り組む特色ある教育活動の支援
郷土体験学習・自然体験学習などの実施
リーダーとなる教師の育成
地域特性を活かした教材の研究 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．子どもの学力が低下しているから
- b．子どもの体力が低下しているから
- c．子どもの道徳心が育っていないから
- d．教師の指導力が不足しているから
- e．その他()

問27. 高等学校において充実した教育が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

私立高等学校の教材整備等への支援
南商業高校での外部講師を活用した専門教育の実施 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a. 特色ある教育が行われていないから
- b. 学習内容が身につけていないから
- c. 社会性を育む教育が行われていないから
- d. その他()

問28. 生涯にわたって学ぶことができる環境が整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

各種講座の開催
自主的学習活動の支援、学習情報の提供
社会教育施設 での展示・貸出を通じた学習機会の提供
百年記念館や動物園など社会教育施設の改修 など

社会教育施設
百年記念館、動物園、図書館、とかちプラザなど



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a. 参加したいと思う講座が少ないから
- b. 学習に関する情報が少ないから
- c. 社会教育施設に魅力がないから
- d. 学習成果を活かす機会が少ないから
- e. その他()

問29. スポーツを楽しむことができる環境が整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

各種スポーツ教室・スポーツ大会の開催
スポーツ少年団への支援、指導者育成の支援
プロスポーツや全国・全道大会の誘致、開催支援 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

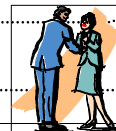
- a. スポーツに親しむことができる機会が少ないから
- b. スポーツ教室・講習会などに魅力がないから
- c. スポーツ施設が利用しにくいから
- d. 一流選手が出場する大会などが少ないから
- e. その他()

問30．男女が互いに尊重し合い、個性や能力を發揮できる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

男女共同参画セミナー・講座等の開催
 各種審議会等への女性の登用推進
 育児・介護休業制度の周知
 交際相手からの暴力(デートDV)予防講座の開催
 配偶者等からの暴力被害者への支援 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．性別による固定的な役割分担意識や社会慣行が残っているから
- b．仕事と家庭が両立できる環境が整備されていないから
- c．女性の社会参画がすすんでいないから
- d．その他()

問31．アイヌ民族の歴史や文化などへの理解が深まり、アイヌの人たちの誇りが尊重されている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

アイヌ民族に関する教材の作成・提供
 アイヌ文化についての展示会の開催
 アイヌ古式舞踊保持団体への支援
 アイヌの人たちの生活相談・教育相談の実施 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．アイヌ民族の歴史や文化に関する市民理解がすすんでいないから
- b．アイヌ民族の歴史や文化にふれる機会が少ないから
- c．アイヌの人たちの生活や教育に対する支援が十分でないから
- d．その他()

問32．国内や国外の都市と人や文化の交流が活発に行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

大分市・徳島市・松崎町との交流
 (アメリカ)スワード市・マディソン市、(中国)朝陽市との交流
 東京帯広会・関西帯広会との交流
 国際交流員や外国人講師による異文化紹介
 森の交流館・十勝における国際交流イベントの実施 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．国内や国外の各都市との交流が活発でないから
- b．国内や国外の各都市との交流に関する内容がよく分からないから
- c．参加したい異文化交流の機会が少ないから
- d．異文化交流の機会を知らないから
- e．その他()

問33．健全な財政運営や効果的・効率的な行政運営が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

新たな自主財源確保の検討
市税等の収納率向上対策の実施
市民向け台所事情の作成・公表
民間委託等の推進、指定管理者制度の活用
行財政改革の推進 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．市の財政状況に不安があるから
- b．行政運営の効率化がすすんでいないから
- c．事業の効果やコストが分からないから
- d．その他()

問34．市民が利用しやすく、満足できる行政サービスが提供されている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

接遇の向上や事務改善の推進
市民相談の実施
公共施設予約システム・電子申請システムの運用
コミュニティセンターでの証明書の一部発行 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．職員の対応が適切でないから
- b．市役所における各種事務手続きが分かりにくいから
- c．コミュニティセンターやインターネットでできる行政手続きが少ないから
- d．その他()

4 . 【防災の取り組み】について、お聞きします。

問35 . あなたは、東日本大震災の後、自ら災害に備えることについて、意識が変わりましたか。

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	思わない

問36 . あなたは、お住まいの地域の災害時避難場所を知っていますか。

1	はい
2	いいえ

問37 . あなたは、災害時の避難経路について、家族や近所の方々と話し合ったことがありますか。

1	はい
2	いいえ

問38 . あなたは、ご家庭で、災害備蓄品を用意していますか。

1	はい
2	いいえ

問39 . 設問38で、「はい」と答えた方にお聞きします。ご家庭で用意している品について、あてはまるものすべてに をつけてください。

1	非常食（食糧、飲料水など）
2	衣類（上着、下着、靴下など）
3	生活用品（毛布、寝袋、雨具など）
4	救急用具（消毒液、ばんそうこう、包帯など）
5	避難用具（懐中電灯、ラジオ、軍手など）
6	その他（ ）

問40 . あなたは、普段から、災害の発生に備えるには、どのようなことが重要であると考えますか。2つまで選んで をつけてください。

1	あわてず、落ちついて、行動することを心がける
2	家族が離ればなれになった時の連絡方法や集合場所を決める
3	家の中の安全な場所を把握する
4	近隣の方とお互いが助け合うことを話しあう
5	自ら避難できない近隣の要援護者を把握する
6	その他（ ）

地区

B 票

平成24年度 市民まちづくりアンケート

1. 【あなたご自身に関すること】について、お聞きします。

問1～4について、あてはまるものを1つ選んで をつけてください。

問1 あなたの性別は？

- A. 男 B. 女

問2 あなたの年齢は？（5月1日現在の年齢で記入してください。）

- A. 20歳代 B. 30歳代 C. 40歳代 D. 50歳代 E. 60歳代 F. 70歳以上

問3 あなたの職業は？（パートタイマーを含む）

- A. 会社員・店員 B. 商・工・サービス業等の自営業 C. 農・林・漁業 D. 公務員
E. 自由業 F. 主婦 G. 学生 H. 無職・退職 I. その他（ ）

問4 あなたは帯広市にお住まいになってどのくらいになりますか？

- A. 1年未満 B. 1年～5年未満 C. 5年～10年未満 D. 10年～20年未満
E. 20年以上

2. 【住みごこち】について、お聞きします。

問5～9について、あてはまるものに をつけてください。

問5 帯広市の住みごこちについて、どう感じていますか？（1つ選んでください）

- A. 住みやすい B. どちらかといえば住みやすい C. どちらともいえない
D. どちらかといえば住みにくい E. 住みにくい

問6 これからも帯広市に住み続けたいと思いますか？（1つ選んでください）

- A. 住み続けたい B. できれば他の市町村に移りたい C. どちらともいえない


問7へすすむ


問8・9へすすむ


問10へすすむ

問7 問6で「A.住み続けたい」とお答えの方にお聞きします。
その理由は何ですか？（2つまで選んでください）

- A. 広々としているから B. 自然に恵まれているから C. 気候が好きだから
D. 家族の都合で E. 人情が厚く、親切だから F. 親戚や知人が多いから
G. 教育上の理由から H. まちに魅力があるから I. 仕事上の理由から
J. 都市的な便利さがあるから K. 生活費が安いから L. わからない
M. その他（

問8 問6で「B.できれば他の市町村に移りたい」とお答えの方にお聞きします。
どこに移りたいですか？（1つ選んでください）

- A. 帯広圏の3町（音更町・芽室町・幕別町） B. 十勝管内の町村（帯広圏の3町以外）
C. 札幌市 D. 道内他市町村（札幌市及び十勝管内以外）
E. 首都圏（東京都・埼玉県・神奈川県・千葉県） F. 中部圏（愛知県）
G. 近畿圏（大阪府・兵庫県・京都府） H. 他県（
I. その他（

問9 問6で「B.できれば他の市町村に移りたい」とお答えの方にお聞きします。
その理由は何ですか？（2つまで選んでください）

- A. 仕事上の理由から B. 家族の都合から C. 気候がきれいだから
D. 住宅地が少ないから E. 宅地価格が高いから F. 教育上の理由から
G. 生活費が高いから H. まちに魅力が少ないから I. 自然が少ないから
J. 知人や親戚が少ないから K. 人情が薄く、不親切だから
L. 都市的な便利さが不足しているから M. わからない
N. その他（

3. 【市民実感】について、お聞きします。

問10～34について、あなたの実感（イメージでもかまいませんので）に最も近い選択肢を必ず1つ選んで番号に をつけてください。

3（あまりそう思わない）と4（そう思わない）を選択した場合は、その理由として最も近い選択肢を1つ選んで記号に をつけてください。

「その他」の場合は、（ ）内にその理由をお書きください。

問10. 消火活動や救急活動が迅速に行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

消火栓・防火水槽の整備
AED(自動体外式除細動器)の設置促進
応急手当普及講習の開催
災害弱者世帯への防火訪問 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a. 消火や防火の取り組みが十分でないから
- b. 救急車や消防車の到着時間が遅いから
- c. 救急車による病院までの搬送がスムーズでないから
- d. 応急手当ができる市民が少ないから
- e. その他（ ）

問11. 日常生活において、交通事故にあうことなく安心して暮らせる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

交通安全教室の開催
交通安全街頭啓発
歩道の整備 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a. 交通ルールを守らない歩行者がいるから
- b. 車や自転車を運転する人のマナーが悪いから
- c. 危ない道路や交差点があるから
- d. その他（ ）

問12. 各種検診の受診や保健指導などにより、健康に暮らせる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

各種がん検診・肝炎ウイルス検診・骨粗しょう症検診の実施
 託児付き検診(子宮がん・乳がん)の実施
 健康相談などの保健指導の実施
 麻しん・風しん・BCGなどの予防接種の実施
 インフルエンザなどの任意の予防接種費用の助成 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a. 健康づくりに関する意識が低いから
- b. 各種検診や健康診査を受診しやすい環境が整っていないから
- c. 予防接種が受けやすい環境が整っていないから
- d. 気軽に健康相談できるところがないから
- e. その他 ()

問13. 地域の支え合いにより、安心して暮らせる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

成年後見制度の利用支援
 民生委員・児童委員の活動支援
 ボランティアの養成・活動支援
 地域福祉事業を担う社会福祉協議会の支援 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a. 地域住民の互いに支え合う意識が低いから
- b. 不安や心配事を地域で相談できるところがないから
- c. 福祉ボランティアの活動が活発でないから
- d. その他 ()

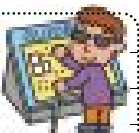
問14. 障害のある人が地域で生き生きと暮らせる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

「ノーマライゼーション」理念の推進
 手話・要約筆記通訳者などの派遣
 自動車改造・自動車運転免許取得への支援
 訪問入浴など各種デイサービスの提供
 障害者生活支援センターの運営 など

ノーマライゼーション
 地域の中で、障害をもつ人ももたない人も、お年寄りも若い人も区別なく
 ともに笑い、ともに語り、ともに歩いていくことのできる社会を作ること



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a. 障害や障害のある人に対する理解が十分でないから
- b. 障害のある人を地域で支え合う意識が低いから
- c. 障害者福祉サービスが十分でないから
- d. 障害のある人が働くことができる環境が整っていないから
- e. その他 ()

問15. 安心して子どもを生み育てることができる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

妊婦・乳幼児健康診査の実施、訪問指導の実施
 特定不妊治療費の助成
 子育て支援センターでの育児相談の実施や遊び場の提供
 延長・休日・一時保育など保育サービスの実施
 児童保育センターでの保育サービスの実施
 幼稚園の教育環境の充実、保育料・入園料に対する支援
 乳幼児等医療費・ひとり親家庭等医療費の給付 など

3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a. 利用したい保育サービスが受けられないから
- b. 子育てに関する情報が不足しているから
- c. 子育てと仕事を両立できる職場環境が整っていないから
- d. 経済的な不安があるから
- e. その他 ()



問16. 安全で良質な農畜産物が生産され、農業に活気がある

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

クリーン農業技術等の普及
 農業生産基盤の整備促進
 農業後継者・新規就農者の支援
 地場農畜産物の消費拡大 など

3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a. 安全で良質な地場農畜産物が地元で手に入りにくいから
- b. 地場農畜産物の加工・販売や地域ブランドづくりがすすんでいないから
- c. 農業や農村に対する理解が促進されていないから
- d. その他 ()



問17. 商店や商店街に活気がある

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

商店街が行うにぎわいづくりへの支援
 商店街の街路や街路灯などの環境整備に対する支援 など

3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a. 商店の商品やサービス、設備に魅力がないから
- b. 商店街の道路や歩道、街路灯などの整備が十分でないから
- c. 商店街のイベントに魅力がないから
- d. 車を利用して、商店や商店街に行くのが不便だから
- e. その他 ()



問18．企業が大学などと連携し、新たな製品開発が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

企業間のコーディネート、資金貸付など企業の新製品開発への支援(とち牛じゃん麺、抹茶オーレH&S等)
 大学等の研究成果を活用した新たな事業の創出支援
 地場農産物の付加価値向上の促進
 大学の研究開発への支援 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．地元の農業者と商工業者等との連携がすすんでいないから
- b．地元の企業と大学の連携がすすんでいないから
- c．新たに開発された地元製品のPRが不足しているから
- d．具体的な取り組み内容が分からないから
- e．その他()

問19．中心市街地に魅力とにぎわいがある

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

歩行者天国・イルミネーションなどのにぎわい創出の支援
 市民活動交流センターなど都市機能の集積
 市営駐車場の管理運営 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．魅力ある店舗が少ないから
- b．中心市街地への交通の利便性が悪いから
- c．各種イベントに魅力がないから
- d．その他()

問20．自然環境が保全され、環境への負荷を低減する取り組みが行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

太陽光発電システム等の新エネルギー導入助成
 自然環境の保全
 公害の監視、立入検査や指導の実施
 環境教育学習の推進 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．環境保全に関する意識が低いから
- b．新エネルギー・省エネルギー機器の導入がすすんでいないから
- c．騒音や悪臭が気になるから
- d．市内の良好な自然環境が守られていないから
- e．その他()

問21. 公園、街路樹などが良好に管理され、身近に緑や花に親しむことができる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

公園・緑地の整備
 帯広の森の整備及び利活用
 公園の維持管理、街路樹の剪定、植樹マスの草刈
 緑化キャンペーン、花壇コンクール事業の実施 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a. 身近なところに公園が少ないから
- b. 身近なところに緑が少ないから
- c. 公園の管理が十分に行われていないから
- d. 街路樹の管理が十分に行われていないから
- e. 緑化に関する意識が低いから
- f. その他 ()

問22. 生活廃水や雨水が適切に処理されている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

汚水管・合併浄化槽・雨水管の整備
 帯広川下水終末処理場の改修や耐震化
 下水道接続の普及啓発 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

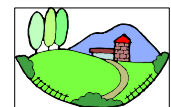
- a. 下水道が普及していないところがあるから
- b. 降雨時に浸水するところがあるから
- c. 災害時の不安があるから
- d. その他 ()

問23. 都市部や農村部において、帯広・十勝らしい景観が形成されている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

まちづくりデザイン賞などによる景観意識の啓発
 十勝大橋ライトアップなど帯広らしい景観の形成
 耕地防風林の整備支援 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

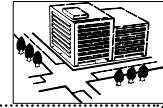
- a. 駅周辺の景観が損なわれているから
- b. 駅周辺以外の市街地の景観が損なわれているから
- c. 農村部・山林部の景観が損なわれているから
- d. 景観を見て楽しめる場所が少ないから
- e. その他 ()

問24．幹線道路や生活道路が整備されており、安全に通行できる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

幹線道路・生活道路の整備
 特殊舗装道路の改良、道路側溝の整備
 自転車・歩行者道の利用環境の整備
 道路除雪・凍結路面对策の実施 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．整備されていない道路があるから
- b．道路が適切に維持管理されていないから
- c．道路や歩道の除雪が十分でないから
- d．その他()

問25．高速インターネットなど、情報通信サービスを日常生活や仕事に活用できる環境が整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

情報通信基盤の整備促進
 高齢者向けパソコン講座の開催 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．高速インターネットを利用できる環境が整っていないから
- b．パソコンやインターネットの使い方が分からないから
- c．利用したい情報サービスが少ないから
- d．その他()

問26．子どもたちが安心して学べる教育環境が整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

学校施設の耐震化、大規模改修
 特別支援教育に関する助手・補助員・生活介助員の配置
 子どもの見守り活動の推進
 小中学校の適正配置
 学校給食調理場の改築 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．学校施設の改修や耐震化がすすんでいないから
- b．特別な支援が必要な子どもたちの教育環境が十分でないから
- c．教育に関する情報が、保護者に十分に提供されていないから
- d．その他()

問27. 大学や専修学校など、高度な教育を受けることができる環境が整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

地域発展に必要な高等教育機関の整備・充実
帯広畜産大学の整備・拡充の促進
大学の研究・教育機能の活用 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a. 大学や短大、資格を取得できる専修学校が少ないから
- b. 働きながら大学などの専門的な教育を受けることができる環境が整っていないから
- c. 大学などを活用した市民の生涯学習機会が充実していないから
- d. その他 ()

問28. 芸術や文化に親しむことができる環境が整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

市民芸術祭の開催、市民文藝の発行
芸術・文化鑑賞機会の提供
北海道立美術館と連携した企画展の開催
芸術・文化活動を支える人や団体への支援 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a. 芸術・文化の発表や活動の場が少ないから
- b. 芸術・文化に接する機会の情報が十分でないから
- c. 芸術・文化に接する機会の日程があわないから
- d. 芸術・文化に関する指導者が少ないから
- e. その他 ()

問29. 平和で差別や虐待がなく、市民一人ひとりが互いに人権を尊重している

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

核兵器廃絶平和展の開催、平和カレンダーの作成
高齢者・児童虐待防止の推進
配偶者等からの暴力被害者への支援 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a. 平和の大切さを知る機会が少ないから
- b. 差別や偏見があるから
- c. 子どもや高齢者の虐待、配偶者等への暴力事件が起きているから
- d. その他 ()

問30．誰もが利用しやすいユニバーサルデザイン（UD）によるまちづくりが行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

UD教室・講座の開催
UDの考え方に基づいた公共施設の整備
UD住宅の建設・改造に対する助成 など
ユニバーサルデザイン(UD)



年齢、性別、身体的能力、障害の有無、国籍など、人の持つ様々な違いに関わらず、はじめから、できる限り多くの人にとって利用しやすいように、まち・もの・環境などをつくること。手すりの設置や段差の解消など、社会の中の様々な障害を取り除く「バリアフリー」も含まれます。

3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．道路や公園、市役所などの公共施設のUD化がすすんでいないから
- b．住宅や店舗などの民間施設のUD化がすすんでいないから
- c．市民一人ひとりのUDに関する意識が低いから
- d．障害のある人や高齢者などに配慮した行政サービスの提供が行われていないから
- e．その他（ ）

問31．町内会やNPO・ボランティアなどによる地域活動が活発に行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

町内会自治活動への助成
町内会への加入促進
ボランティア・NPO活動の支援
福祉センターの整備 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

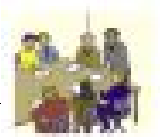
- a．町内会への加入者が減少しているから
- b．地域活動の担い手が少ないから
- c．コミュニティ施設が利用しにくいから
- d．気軽に地域活動に参加できる機会が少ないから
- e．その他（ ）

問32．市民と行政の協働によるまちづくりがすすめられている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

広報紙の発行
市長への手紙の実施
計画策定等におけるパブリックコメントの実施
審議会委員等への女性・若者の登用や一般公募の推進
市民からの提案事業の支援 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．行政情報が分かりやすく提供されていないから
- b．市民意見が市政に反映されていないから
- c．市民のまちづくり活動への支援が十分でないから
- d．議会での論議が分かりやすく情報提供されていないから
- e．その他（ ）

問33．十勝管内町村との広域事業や、道内各都市と連携・交流が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

管内町村と連携した下水道やゴミ処理などの広域事業の推進
 管内町村と連携した十勝圏の振興(フードバレーとかち等)
 管内町村や道内各都市連携した要望活動
 道内観光地との連携 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．十勝管内で、市域を越えて利用できる行政サービスが少ないから
- b．十勝管内で、市域を越えて利用できる行政サービスがよく分からないから
- c．道内各都市と連携・交流している具体的な事例がよく分からないから
- d．その他()

問34．市民に信頼される行政事務が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

公有財産の管理
 公文書などの管理
 個人情報保護制度の推進
 監査等の実施 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで をつけてください。

- a．事務処理が適切に行われていないから
- b．公共施設の管理が適切に行われていないから
- c．個人情報の保護が十分でないから
- d．その他()

4 . 【防災の取り組み】について、お聞きします。

問35 . あなたは、東日本大震災の後、自ら災害に備えることについて、意識が変わりましたか。

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	思わない

問36 . あなたは、お住まいの地域の災害時避難場所を知っていますか。

1	はい
2	いいえ

問37 . あなたは、災害時の避難経路について、家族や近所の方々と話し合ったことがありますか。

1	はい
2	いいえ

問38 . あなたは、ご家庭で、災害備蓄品を用意していますか。

1	はい
2	いいえ

問39 . 設問38で、「はい」と答えた方にお聞きします。ご家庭で用意している品について、あてはまるものすべてに をつけてください。

1	非常食（食糧、飲料水など）
2	衣類（上着、下着、靴下など）
3	生活用品（毛布、寝袋、雨具など）
4	救急用具（消毒液、ばんそうこう、包帯など）
5	避難用具（懐中電灯、ラジオ、軍手など）
6	その他（ ）

問40 . あなたは、普段から、災害の発生に備えるには、どのようなことが重要であると考えますか。2つまで選んで をつけてください。

1	あわてず、落ちついて、行動することを心がける
2	家族が離ればなれになった時の連絡方法や集合場所を決める
3	家の中の安全な場所を把握する
4	近隣の方とお互いが助け合うことを話しあう
5	自ら避難できない近隣の要援護者を把握する
6	その他（ ）

平成24年度市民まちづくりアンケート

(集計結果)



平成24年 7月

帯 広 市

政策推進部 企画課

〒 080-8670

帯広市西5条南7丁目1番地

TEL 0155-65-4105

FAX 0155-23-0151

E-Mail plan@city.obihiro.hokkaido.jp